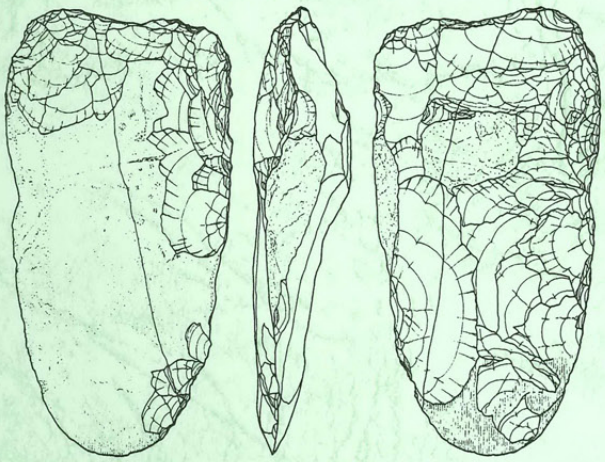
信濃町の埋蔵文化財

長野県上水内郡信濃町

上ノ原遺跡・東裏遺跡・裏ノ山遺跡

―帝国石油天然ガスパイプライン敷設事業に伴う発掘調査報告書―



2007

信濃町教育委員会

信濃町の埋蔵文化財

長野県上水内郡信濃町

上ノ原遺跡・東裏遺跡・裏ノ山遺跡

（うえのはら・ひがしうら・うらのやま）

—帝国石油天然ガスパイプライン敷設事業に伴う発掘調査報告書—

2007

信濃町教育委員会

例　　言

1．本書は平成９年度に実施した長野県上水内郡信濃町大字柏原に所在する上ノ原遺跡、東裏遺跡、裏ノ山遺跡の発掘調査の内容を記録した報告書である。
2．発掘調査は帝国石油株式会社による天然ガスパイプライン（新東京ライン）敷設工事に伴い、信濃町教育委員会が帝国石油株式会社新東京ライン建設部から受託して実施した。
3．本書の執筆、編集は渡辺哲也がおこなった。編集の補佐を藤田桂子がおこなった。
4．本調査の出土遺物と調査及び整理作業に係る資料はすべて信濃町教育委員会が保管・管理している。遺物の注記記号は上ノ原遺跡「97UH(6)」、東裏遺跡が「97HU(T)」、裏ノ山遺跡が「97UY」である。
5．石器石材については一部を中村由克氏（野尻湖ナウマンゾウ博物館）から鑑定していただいた。
6．調査にあたり、帝国石油株式会社及び新日本製鉄株式会社には多大なるご協力をいただいた。感謝申し上げる次第である。

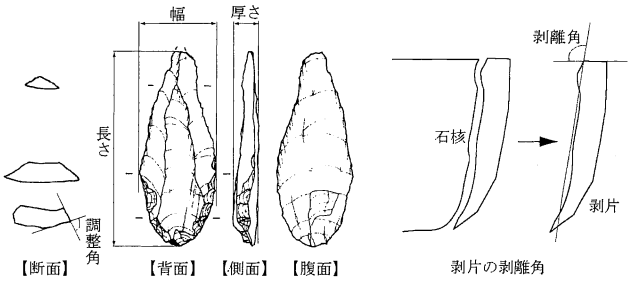
凡　　例

1．出土した石器については器種名及び石材名に対し略号を用いた。本文中に用いた略号は以下の通りである。

略号	器種	略号	器種	略号	器種	略号	器種	略号	器種
Kn	ナイフ形石器	ES	掻器	Sc	削器	Gr	彫器	RF	二次加工のある剥片
MC	細石刃核	Co	石核	AF	局部磨製石斧	Ax	斧形石器	Fl	剥片
AH	石鏃	PS	凹石	GS	磨石				

略号	石材	略号	石材	略号	石材	略号	石材	略号	石材
Ch	チャート	An	無斑晶質安山岩	Tu	凝灰岩	Ob	黒曜石	Rh	流紋岩
TS	凝灰質頁岩	Ag	玉髄	Se	蛇紋岩	GT	緑色凝灰岩	And	安山岩

2．石器の計測は右の図のようにおこなった。また、石器を説明する際に用いる用語についても右の図に準じている。
3．発掘時に移植ゴテ等により付けてしまった新しい剥離面（ガジリ）の部分は、実測図では黒く塗りつぶして表現した。



目　　次

Ⅰ　調査の概要……1
　1．調査に至る経緯……1
　2．調査体制と調査期間……2
　3．遺跡周辺の環境……2
　4．調査の方法……4
　5．基本層序……4
Ⅱ　上ノ原遺跡（帝石パイプライン地点）……5
　1．調査の概要……5
　2．旧石器時代……6
　3．縄文時代以降……18
Ⅲ　東裏遺跡（帝石パイプライン地点）……22
　1．調査の概要……22
　2．出土層位と遺物の分布……26
　3．遺物……26
Ⅳ　裏ノ山遺跡（帝石パイプライン地点）……26
　1．調査の概要……26
　2．出土層位と遺物の分布……27
　3．遺物……27
Ⅴ　まとめ……28
写真図版……34

Ⅰ　調査の概要

1．調査に至る経緯

本調査は帝国石油株式会社による天然ガスパイプライン（新東京ライン）敷設工事に伴いおこなったものである。帝国石油株式会社は1962（昭和37）年に新潟県内で産出する天然ガスを公益事業者である都市ガス事業者に対し、原料卸供給を目的で管径300㎜、延長304㎞の東京ラインを敷設し、以来、沿線の新潟、長野、群馬、栃木、埼玉の都市ガス事業者を通じ、一般家庭を中心に約40万件へ天然ガスの供給をおこなってきた。しかし、ガスの需要が増える中、送ガス能力が限界に達したために、新たに管径500㎜のパイプライン（新東京ライン）を敷設することになった。その第一期工事として、新潟県頸城村（現在は上越市）の頸城圧力調整所から信濃町柏原の既設東京ライン柏原遮断バルブ付近に接続し、信濃町富濃までの延長約55㎞を平成９年末までに完成させたいということであった。

この新東京ラインは建設中の上信越自動車道に沿って敷設される計画であったため、上信越自動車道建設に伴い実施された長野県埋蔵文化財センター（以下、県埋文センターと記述する）による発掘調査の状況から判断して、調査対象となる遺跡とその面積を割り出し、開発側の工事計画との調整をして、調査の時期と期間を決めた。

信濃町においてこの工事によって調査が必要な遺跡は北から星光山荘遺跡、貫ノ木遺跡、上ノ原遺跡、東裏遺跡、裏ノ山遺跡である。この内、本書は上ノ原遺跡、東裏遺跡、裏ノ山遺跡について報告する。新東京ラインの敷設ルート及び、本報告書で扱う遺跡の位置は図１に示した。図１の遺跡のポイント（点の位置）は今回の調査範囲のほぼ中央を示している。

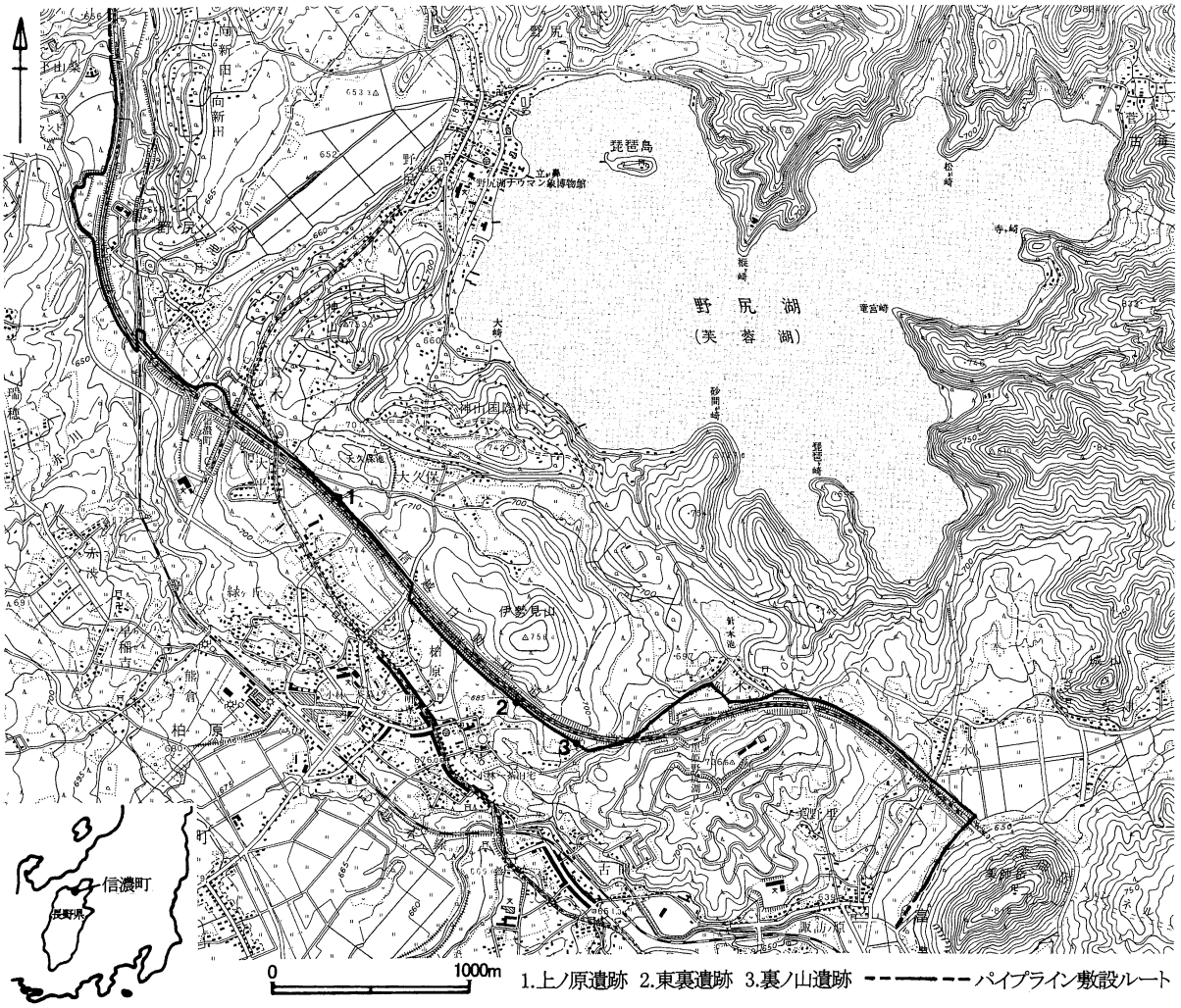


図１　調査地の位置（信濃町役場平成15年12月製作1/25,000地形図を使用）

2．調査体制と調査期間

発掘調査は平成９年度に実施し、出土遺物の水洗、注記などの遺物整理を同年度におこなった。報告書作成については平成18年度におこなった。調査体制及び調査期間は以下の通りである。

A．発掘調査

事務局　信濃町教育委員会　教育長　小林豊雄
総務教育課長　北村敦博
総務教育係長　北村恭一
総務教育係　中村由克（野尻湖ナウマンゾウ博物館学芸員）
総務教育係　渡辺哲也
総務教育係　池田昭博

【上ノ原遺跡】

調査期間：平成９年６月21日～同年９月２日
調査面積：720㎡
調査担当：中村由克
調査参加者：麻田紀子、池田か己子、石田和子、今井美枝子、大久保孝子、荻原敬蔵、落合春人、小日向キヨ子、片山トヨ、金子シズイ、金子房江、木下絹栄、木下浩一、木村キミ子、小林栄子、小林節子、小林正義、駒村幸男、佐藤清子、佐藤ユキ子、佐藤儀信、渋沢ユキ子、高野孝司、高橋是清、竹内長子、竹内百枝、竹内ゆき子、中村昭子、中村浪江、東貢、平塚せつ子、深沢政雄、巻柄恵子、松岡さとみ、松木由美子、宮川あさ子、山田啓子、横山真理子、吉川栄子

【東裏遺跡・裏ノ山遺跡】

調査期間：平成９年５月６日～同年６月27日
調査面積：159㎡
調査担当：渡辺哲也
調査参加者：青柳成子、荒井時子、石田尋子、小日向キヨ、小林ヨシエ、佐藤チエ子、菅谷澄子、玉井真生、中村栄子、藤田桂子、藤本君男、藤本正明、湯井京子

B．整理作業

実施期間：平成９年12月10日～平成10年３月31日
担当者：中村由克、渡辺哲也
整理参加者（遺物整理）：青柳成子、池田か己子、今井美枝子、小日向キヨ子、北村フク子、佐藤美佐江、佐藤道子、佐藤ユミ子、菅谷澄子、長谷川悦子、万場弘美、藤田桂子、松岡さとみ、湯井京子、横山真理子

C．報告書作成事業

事務局　信濃町教育委員会　教育長　小林豊雄
教育次長　静谷一男
生涯学習係長　丸山茂幸
生涯学習係　渡辺哲也

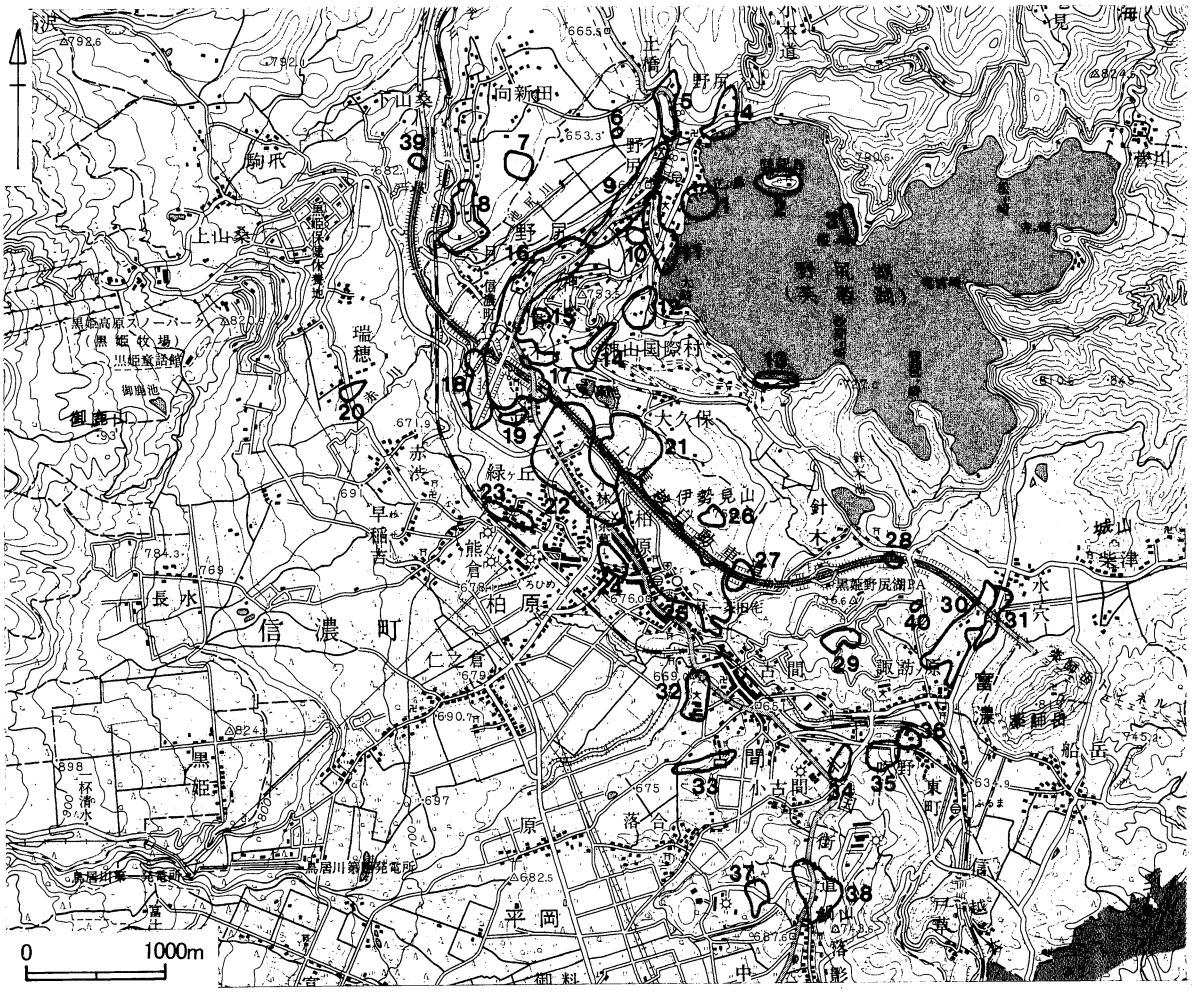
実施期間：平成18年６月10日～平成19年３月31日
担当者：渡辺哲也
整理参加者（報告書作成）：篠崎和美、藤田桂子

3．遺跡周辺の環境

A．地理的環境

信濃町は長野県の北端に位置し、新潟県妙高市と県境を接している。町域は東西方向に概ね３つの地形に分けられる。東部は第三紀鮮新世から第四紀前期更新世の堆積岩を主体とする基盤山地が占め、それらの上を斑尾山起源の安山岩溶岩が覆っている。野尻湖はこの基盤山地の中にあり、およそ７万年前にその原形ができたとされる。西部は第四紀中・後期更新世の飯縄山、黒姫山の火山地形が占める。この東西の山地に挟まれた中央部に低地帯があり、主に後期更新世から完新世の湖沼・河川堆積物からなる丘陵、段丘、低湿地などになっている。

野尻湖を水源とする池尻川は関川水系に属し、北方へと流下する。一方、長野市戸隠を水源とする鳥居川は千曲川（信濃川）水系に属し、南東方向へ流下する。この二つの水系の分水嶺は柏原地区に位置し、その辺りはなだらかな高原状の地形となっている。こうした平坦な地形は内陸部と日本海側をつなぐルートとして古くから利用されてきたものと考えられる。



No.	遺跡名	過去の調査記録 ※( )内は調査者
1	立が鼻	1962・1963・1964・1965・1973・1975・1978・1981・1984・1987・1990 1993・1997・2000・2003・2006野尻湖発掘(野)
2	琵琶島	
3	樅ヶ崎	
4	杉久保	1962～1965野尻湖発掘(野),1966駐車場(町),1990トイレ(町) 2004個人住宅(町)
5	川久保	1999・2000国道18号野尻バイパス(県),2001・2002下水道(町)
6	小丸山	
7	向新田	1982・1985陸上発掘(野)
8	清明台	2006個人住宅(町)
9	仲町	1976・1979・1982・1991・1994・1998陸上発掘(野),1977水道(町) 1994下水道(町),1999個人住宅(町), 1999～2001国道18号野尻バイパス(県・町),2000店舗(町) 2001個人住宅(町)
10	神山北	1993試掘調査(野)
11	海端	1992下水道(町),2007個人住宅(町)
12	狐久保	1967県道(町),2002・2005個人住宅(町)
13	砂間	
14	神山A	
15	神山C	
16	照月台	1985陸上発掘(野), 1997店舗(町),1999国道18号野尻バイパス(県)
17	貫ノ木	1985・1988陸上発掘(野), 1991・1992保養施設(町) 1993～1995上信越自動車道(県), 1997道路改良(町) 1994～1996・1999国道18号野尻バイパス(県) 1995～1997帝国石油パイプライン(町)
18	西岡A	1994・1995上信越自動車道(県),1994国道18号野尻バイパス(県) 1995帝国石油パイプライン(町), 1996水生植物園(町),1998道の駅(町)
19	西岡B	1993高速道代替地造成(町),1996電話アンテナ(町)
20	瑞穂A	
21	大久保南	1985土取り(町),1995・1996県道(町),1995上信越自動車道(県) 1998個人住宅(町)
22	上ノ原	1990開墾(町),1993町道(町),1994～1995上信越自動車道(県) 1995店舗兼住宅(町),1995個人住宅(町),1995消防署(町), 1995～1997県道(町),1996交番(町),1996舗装プラント(町) 1996～1998町道(町),1997帝国石油パイプライン(町),1998車庫(町) 2006研究所(町),2006下水道(町)
23	緑ヶ丘	
24	小丸山公園	
25	東裏	1992町道(町),1992・1993特別養護老人ホーム(町),1993宅地造成(町) 1993～1995上信越自動車道(県),1994町道(町),1995県道(町) 1995個人住宅(町),1996・1997町道(町),1996バスストップ(町) 1996個人住宅(町),1997帝国石油パイプライン(町),1998病院改修(町) 1999個人住宅(町),1999役場改修(町),1999町道(町),2002個人住宅(町) 2004事務所(町),2006個人住宅(町)
26	伊勢見山	1963学術調査(國學院大學)
27	裏ノ山	1994上信越自動車道(県),1995スキー場(町) 1997帝国石油パイプライン(町)
28	大平B	1994上信越自動車道(県)
29	大平A	
30	日向林B	1994個人住宅(町),1993～1995上信越自動車道(県) 1996・2004個人住宅
31	七ッ栗	1993～1995上信越自動車道(県),1994県道(町),1996町道(町)
32	柳原	2006学校(町)
33	陣場A	
34	清水東	
35	吹野原A	1996・1997・1999・2000広域農道(町),1997土取り(町),2001県道(県)
36	吹野原B	
37	丸谷地	1989・1990町道(町),1991資材置場(町),1998工場(町)
38	大道下	1989町道(町),1990工場(町),1991土取り(町),1996埋立(町)
39	星光山荘B	1995上信越自動車道(県)
40	大平C	

※調査者の略号:(野)－野尻湖発掘調査団、(町)－信濃町教育委員会、(県)－長野県埋蔵文化財センター

図2　野尻湖遺跡群の遺跡と過去の調査

現在人々が暮らす居住域は標高700m前後の地域で、日本海側の気候に属し、冬期は寒冷で多雪、夏期は比較的冷涼で、避暑地として利用されている。

B．歴史的環境

信濃町は前述のような地形の特徴により、日本海側と内陸部をつなぐ交通の要所にあたるため、古くから人々の往来が盛んであったと推測できる。野尻湖の西側の湖底に広がる立が鼻遺跡はおよそ4万年前の狩猟・解体場遺跡（キルサイト）と考えられており、ここがゾウの通り道であったことがうかがえる。国内有数の後期旧石器時代の遺跡が集中する地域であることからも、遊動する旧石器人にとって交通の要所であったことは明らかである。野尻湖の西岸から南西側に連なる丘陵上に、旧石器時代から縄文時代草創期の遺跡が密に分布しており、野尻湖遺跡群と呼ばれている（野尻湖人類考古グループ　1994)。野尻湖遺跡群を構成する遺跡とそこで平成18年度までにおこなわれた発掘調査については図2に示したが、これらの遺跡はそれぞれ範囲が広いという特徴をもっている。これは丘陵の平坦地および緩傾斜地にはほとんど途切れることなく遺物が広く分布する状況があるためで、遺跡の数が多いということだけでなく、その密度が高いという点も野尻湖遺跡群の特徴と言えよう。

さらに古代では東山道支道が通っていたと推定され、また、江戸時代には北国街道が整備された。関川を境として信濃と越後の国ざかいがあったため、こうした歴史的な地理的条件も備えた地域でもある。中世の山城が多いことも、交通の要所として争奪戦がおこなわれた地であることを物語っている。

信濃町には現在までに173ヶ所の遺跡が知られているが、時代により遺跡数の変遷にその特徴が見出せる。①旧石器時代の遺跡が集中する。②縄文時代では草創期、早期の遺跡数が多く、前期以降の遺跡数は少なくなる。特に中期が少ない。③弥生時代、古墳時代の遺跡数は少なく、平安時代になると遺跡数が増える。

4．調査の方法

A．調査

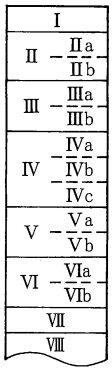
ガスパイプラインの敷設場所はそのほとんどが上信越自動車道に沿っていたため、県埋文センターによる発掘調査の結果を参考にし、遺物が多く出土した地点の周辺では特に注意を払って調査した。東裏遺跡、裏ノ山遺跡は試掘調査を実施し、遺物が出土した地点を中心に周辺を広げた。発掘は移植ゴテおよび草かき鎌によって手掘りでおこない、遺物が出土しなくなる地層まで掘り下げた。遺物の位置の測定は測量業者に委託し、光波トランシットによる単点測量をおこない、位置及び標高のデータを記録した。その際には遺物番号とともに遺物の種別と出土層位のデータを記録した。また、発掘調査範囲についても測量業者に位置の記録を依頼した。

B．調査の位置とグリッドの設定

調査位置は測量業者による測量によって国家座標上に示すことができた。また、上ノ原遺跡については県埋文センターの調査位置との関係が容易に把握できるように、県埋文センターによる上信越自動車道の調査用に設定されたグリッドを用いた。

5．基本層序

ここで扱う3遺跡の土層は野尻湖発掘調査団（野尻湖地質グループ　1990）による野尻湖周辺の風成の層序で示された土層とほぼ同じことが確認できたので、その区分に従い、上の層からローマ数字をつけた。Ⅰ層は表土、Ⅱ層は柏原黒色火山灰層、Ⅲ層はモヤ、Ⅳ層は上部Ⅱ（上部野尻ローム層Ⅱの略）上部～下部、Ⅴ層は上部Ⅱ最下部、Ⅵ層は黒色帯、Ⅶ層は上部Ⅰ（上部野尻ローム層Ⅰの略)、Ⅷ層は中部Ⅲ（中部野尻ローム層Ⅲの略）である。上Ⅱ最下部には［ヌカⅠ］とよばれる火山灰が含まれ、これが広域火山灰である姶良丹沢火山灰（AT）に対比されている（野尻湖火山灰グループ　1993)。層序と包含される遺物については、概ね、Ⅱ層に縄文時代早期以降、Ⅲ層に後期旧石器時代細石器文化と縄文時代草創期、上Ⅱ上部～黒色帯に後期旧石器時代の遺物が出土する関係にある（野尻湖人類考古グループ　1987)。調査地はパイプライン敷設という工事の性格上、調査範



Ⅰ:表土
Ⅱ:柏原黒色火山灰層
黒褐色土　粘性なし、しまりあり
Ⅱa:柏原黒色火山灰層
黒褐色土　粘性なし、しまりなし
Ⅱb:柏原黒色火山灰層
暗褐色土　粘性なし、しまりあり
Ⅲ:モヤ
黒褐色土　粘性ややあり
Ⅲa:モヤ
黒褐色土　粘性ややあり
Ⅲb:モヤ
暗褐色土　粘性ややあり
Ⅳ:上部Ⅱ上部～下部
黄褐色土　粘性あり、しまりあり
Ⅳa:上部Ⅱ上部
黄褐色土　粘性あり、しまりあり
Ⅳb:上部Ⅱ中部
黄褐色土　粘性あり、しまりあり
Ⅳc:上部Ⅱ下部
黄褐色土　粘性あり、しまりあり
Ⅴ:上部Ⅱ最下部
暗褐色土　粘性あり、しまりあり
Ⅴa:上部Ⅱ最下部
暗褐色土　粘性あり、しまりあり
Ⅴb:上部Ⅱ最下部
暗褐色土　粘性あり、しまりあり
Ⅵ:黒色帯
暗褐色土　粘性あり、しまりあり硬い
Ⅵa:黒色帯
暗褐色土　粘性あり、しまりあり硬い
Ⅵb:黒色帯
暗褐色土　粘性あり、しまりあり硬い
Ⅶ:上部Ⅰ
褐色土
Ⅷ:中部Ⅲ[赤スコ]
黄橙色スコリア層

図3　基本土層

囲が細長く、地形の起伏が大きいところを通しているため、地層の厚さが地点により大きく異なっている。そのため、地層が厚くて色の違いなどにより細分できるところは細分し、小文字のアルファベットを付けた。このようにして分層した基本層序が図3である。遺物はⅡ層からⅦ層まで出土している。

Ⅱ　上ノ原遺跡（帝石パイプライン地点）

1．調査の概要

上ノ原遺跡は野尻湖の南西1.3kmの丘陵上に位置する遺跡で、北西南東方向に1kmにわたって広がっている。この遺跡内では平成2年度に北部高校信濃町分校跡地で発掘調査がおこなわれ、旧石器時代細石器文化の石器群が検出されている（中村　1992a、1992b）。これが上ノ原遺跡第1次調査である。平成5年に町道建設に伴う発掘調査がおこなわれ（第2次調査）、旧石器時代尖頭器文化の石器群が検出されている（中村・中村　1994）。平成7年に店舗兼住宅建設に伴う調査（第3次調査）、個人住宅建設に伴う調査（第4次調査）、平成8年～10年には町道建設に伴う調査（第5次調査）がおこなわれており、この帝国石油パイプライン敷設工事に伴う発掘調査は第6次調査に位置づけられている。そのため遺物の注記は97UH(6)とした。上信越自動車道建設に伴って県埋文センターによって発掘調査がおこなわれたのは平成6年、7年の2ヵ年である（長野県埋蔵文化財センター　2000）。これら他の調査と区別するため、今回調査した範囲は帝石パイプライン地点と称することとする。今回の調査範囲は図4に示したように上信越自動車道の東側に道路に沿って敷設するというもので、県埋文センターで調査した遺跡の続きの調査とも言えるものである。今回の調査では平均幅3m弱で延長約340m、面積720㎡を調査し、595点の遺物を得た。遺物の内訳は石器が508点、礫が62点、縄文土器が3点、縄文時代の石器8点、須恵器・土師器14点である。全ての遺物のデータは表5、6及び表10～13に掲載した。なお、グリッドは県埋文センターで実施した上ノ原遺跡の発掘調査に準じており、一辺が40mとなっている（図5）。

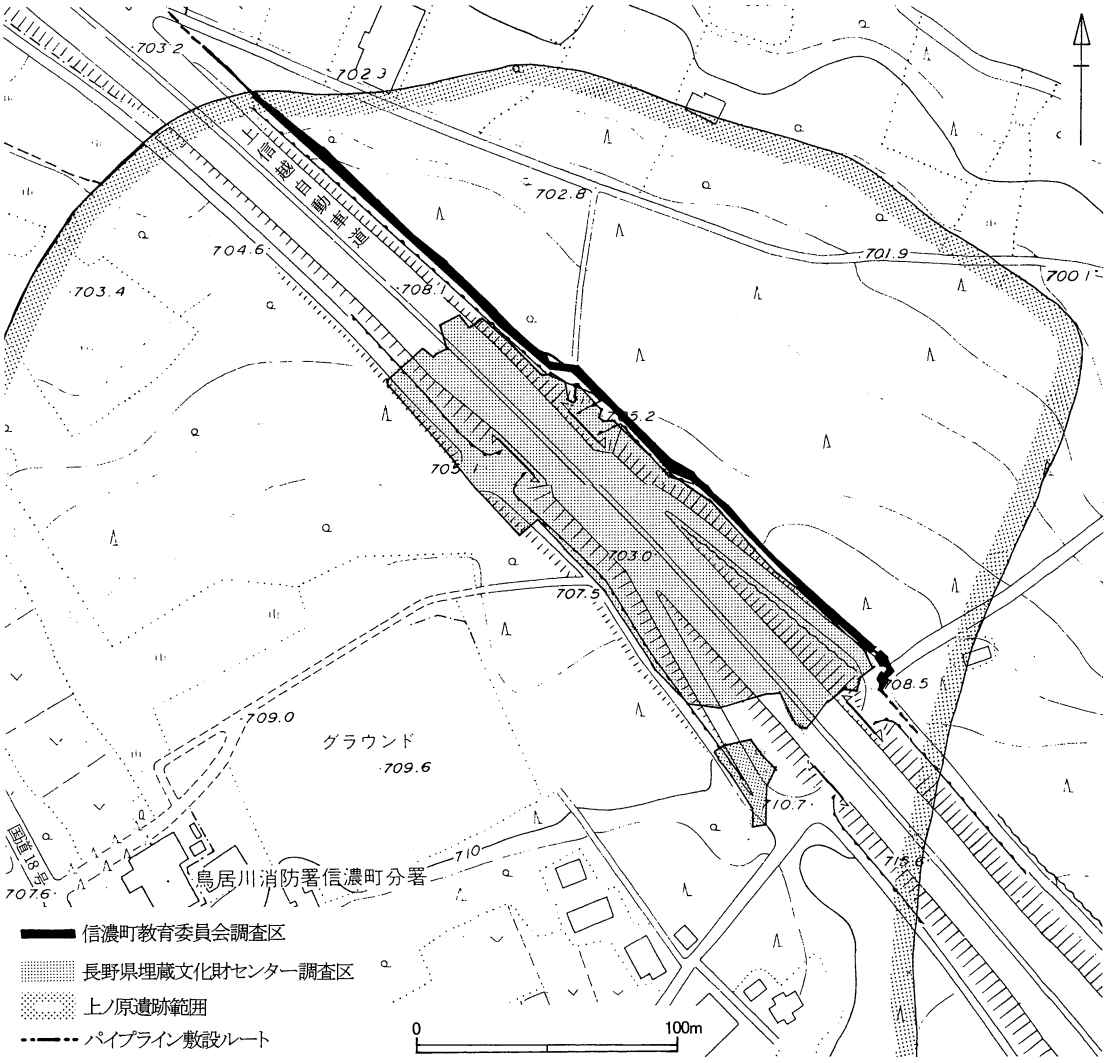


図4　上ノ原遺跡の範囲と調査地の位置

2．旧石器時代

A．出土層位と遺物の分布

調査地の土層柱状図は図6に示した。町内でこれまでに発掘調査をおこなった他の旧石器時代の遺跡と比較してそれぞれの層が薄い印象である。Ⅱ層は他の層に比して厚いがⅢ層以下は薄く、特にⅣGグリッド周辺（図7遺物分布6の周辺）では非常に薄い。このことから、地層間の遺物の移動が多くあることが予想され、遺跡が残された本来の面（生活面）の認定には出土状況や遺物群の状況など総合的に踏まえて決定する必要があると思われる。出土遺物の所属時期については、Dで述べる。

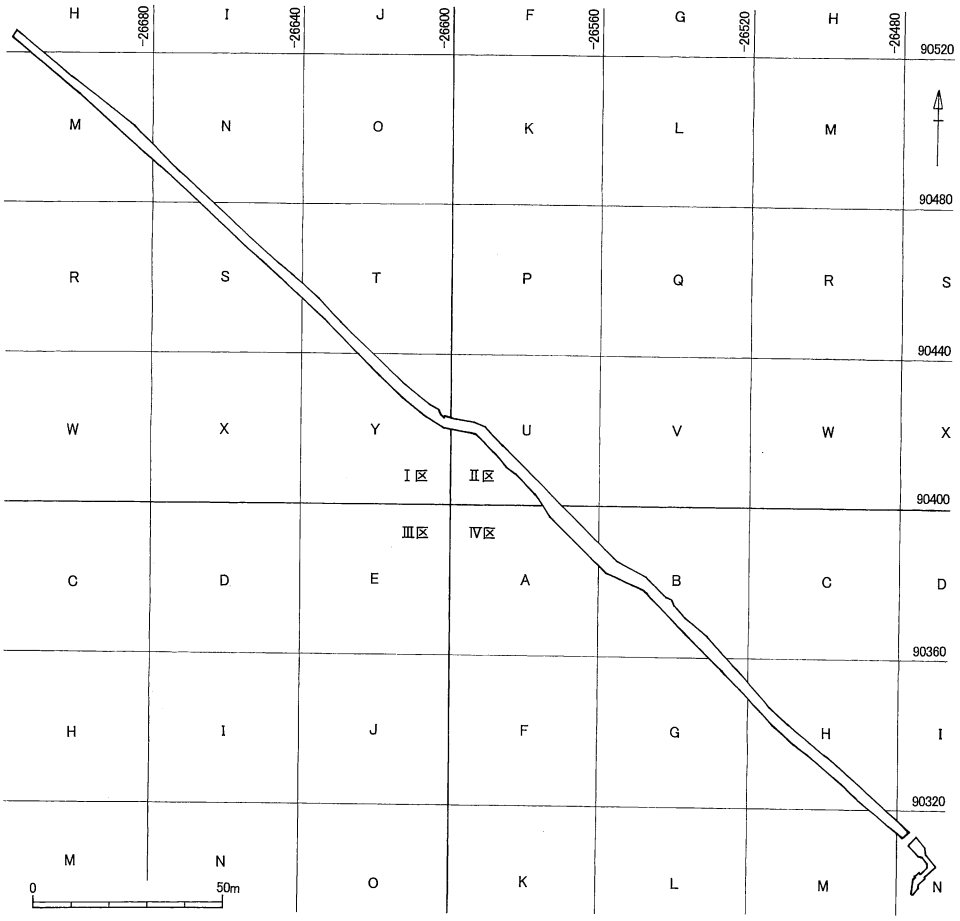


図5　上ノ原遺跡の調査範囲とグリッド設定図

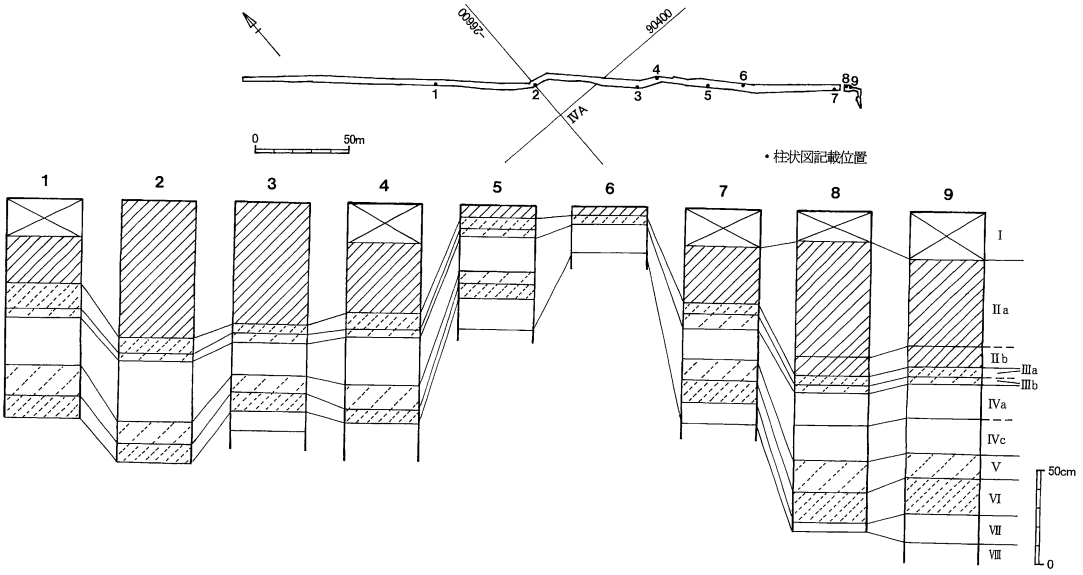


図6　上ノ原遺跡の土層

調査地全体の遺物の分布は図７で示した。西側のおよそ120mにはほとんど遺物は分布せず、また、地層が薄くなるⅣＧ、ⅣＨグリッドは遺物の分布が少ない。遺物の集中する地点がいくつかあるが、発掘区の幅が狭く、遺物集中の範囲を捉えきれていない状況から、ブロックの認定はおこなわず、遺物の分布状況のみを示すことにした（図８～15）。なお、図８の凡例が図15まで適用される。

遺物分布１の地点では出土した石器はわずかである。遺物分布２の地点では遺物の点数は少ないものの、局部磨製石斧と無斑晶質安山岩製の大型の石器が出土した。遺物分布３の地点では局部磨製石斧と縦長剥片のまとまりが見られた。また、大型で扁平な礫（石皿状礫）がⅤ層から出土した。遺物分布４の地点ではナイフ形石器と縦長剥片が出土した。遺物分布５の地点は今回の調査でもっとも遺物が集中し、石器や剥片のほか石核が多く出土した。石器製作の場であった可能性がうかがえる。遺物分布６の地点では細石刃核１点と大型の石核、大型の剥片が出土した。遺物分布７の地点では流紋岩製の剥片のまとまりが見られ、分布図８の地点では大型の石器類

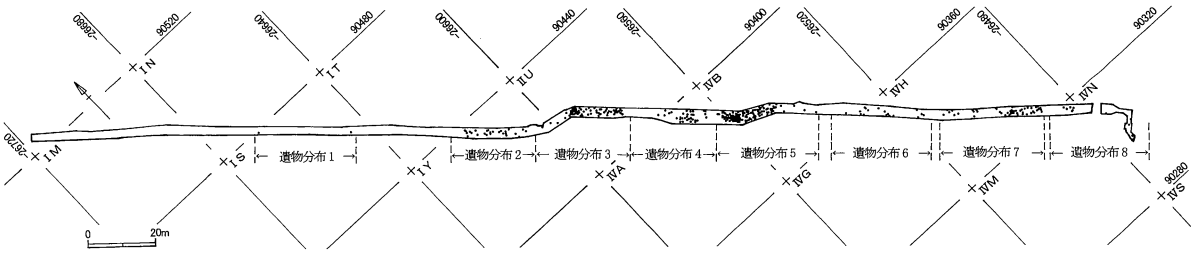


図７　上ノ原遺跡の遺物分布（全体）

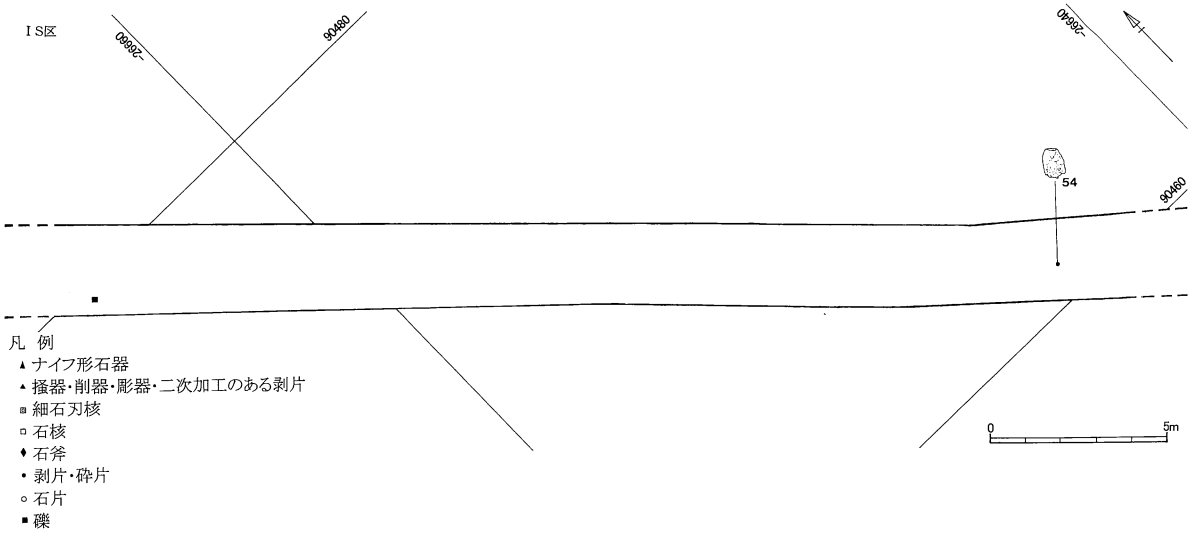


図８　上ノ原遺跡の遺物分布１（凡例は図８～15に共通する）

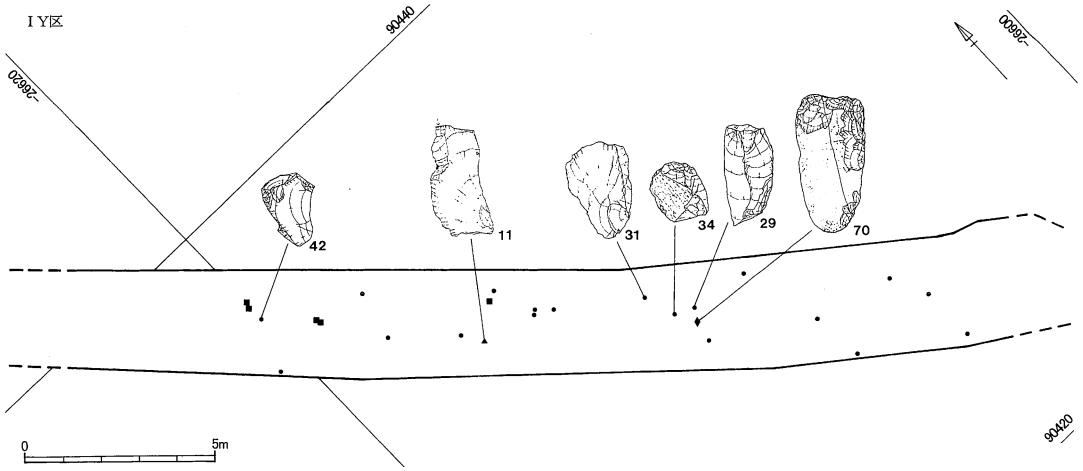


図９　上ノ原遺跡の遺物分布２

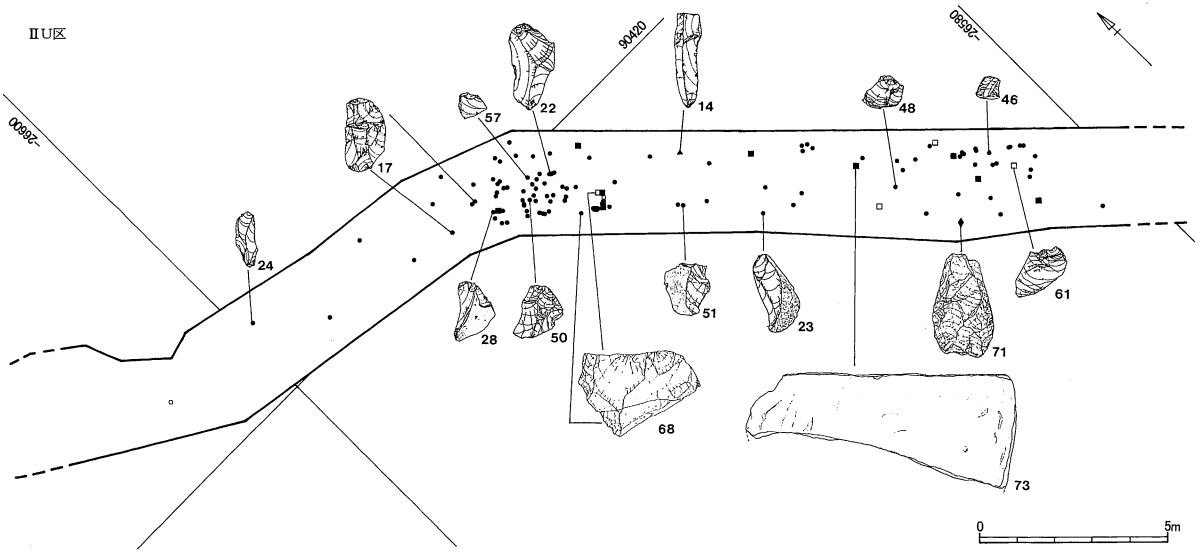


図10　上ノ原遺跡の遺物分布 3

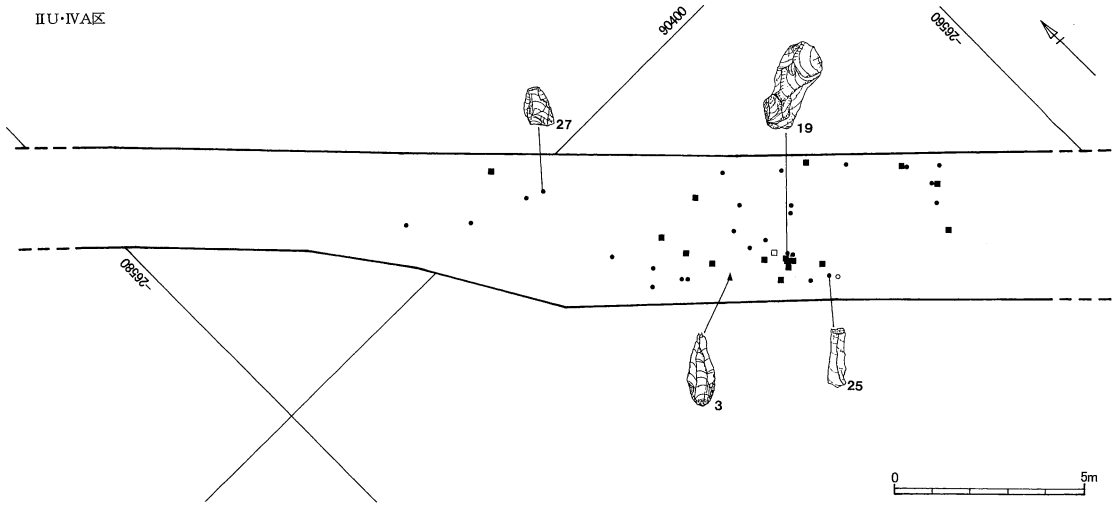


図11　上ノ原遺跡の遺物分布 4

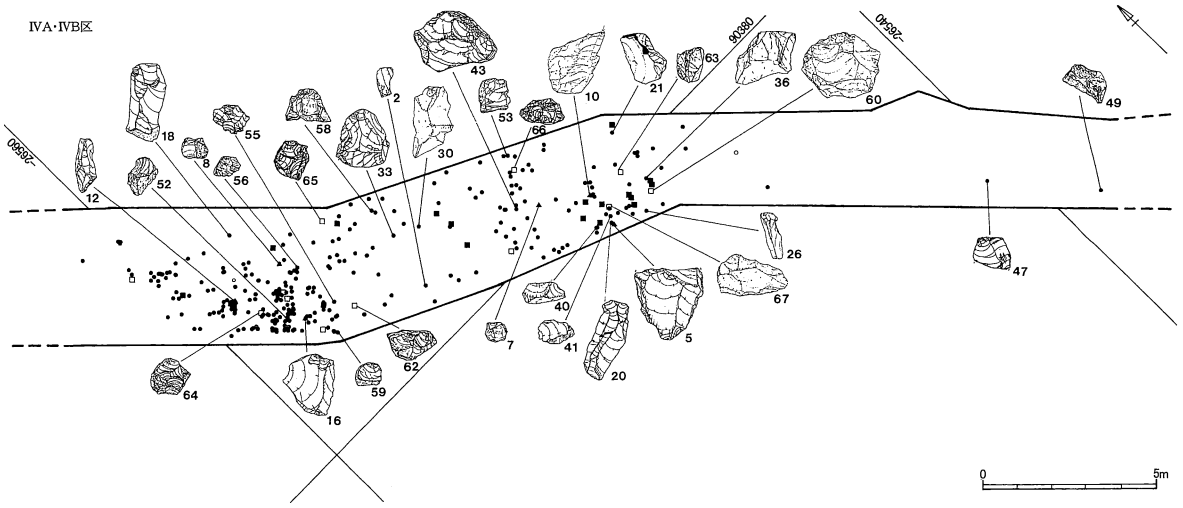


図12　上ノ原遺跡の遺物分布 5

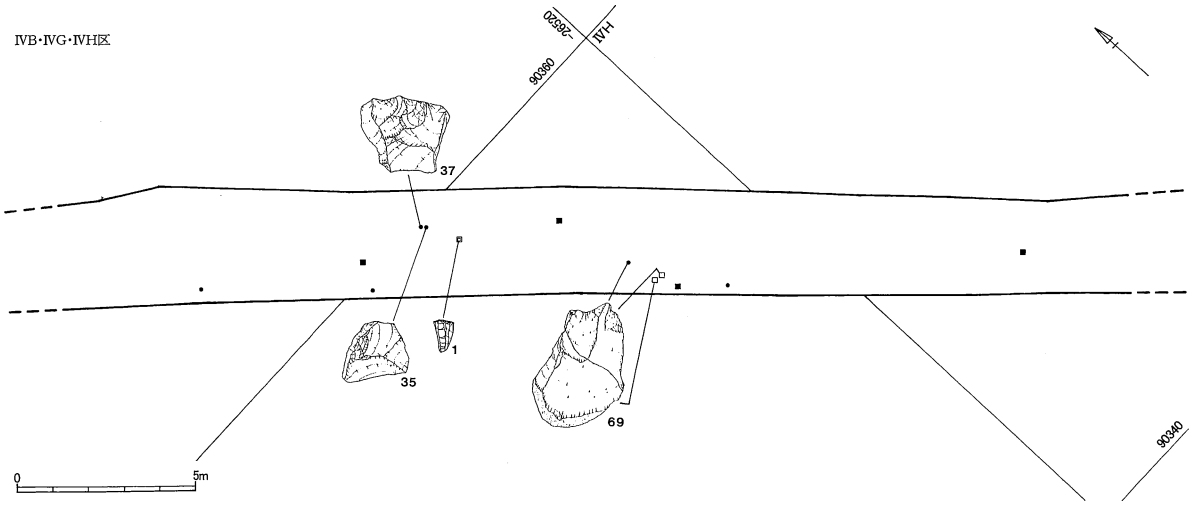


図13　上ノ原遺跡の遺物分布 6

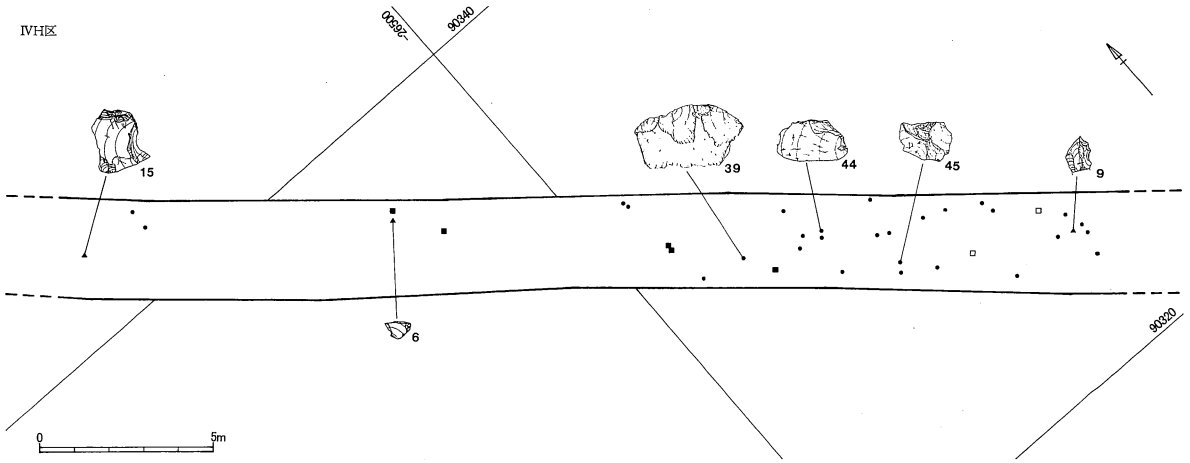


図14　上ノ原遺跡の遺物分布 7

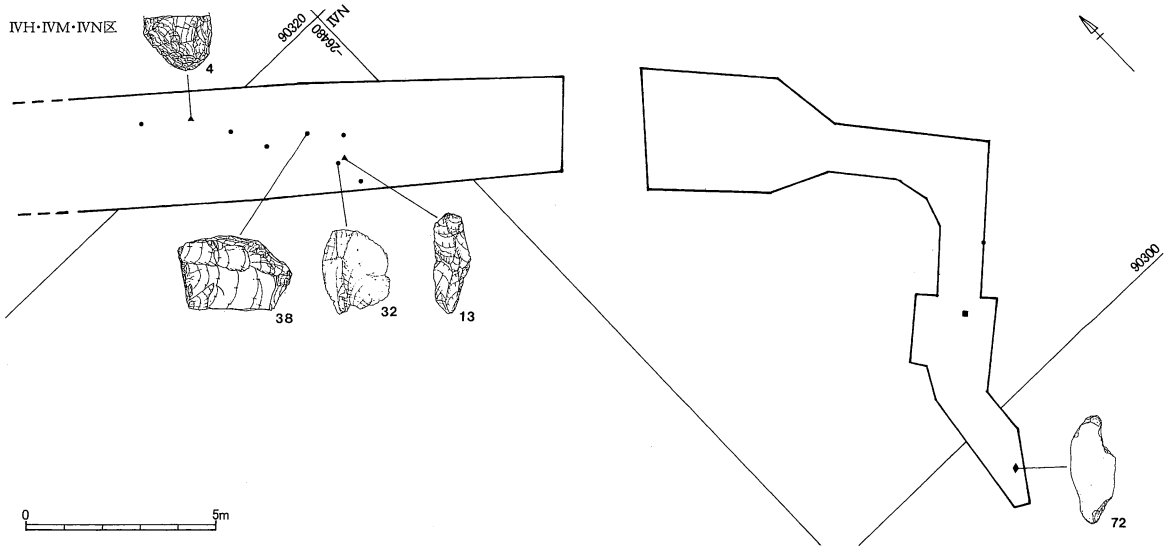


図15　上ノ原遺跡の遺物分布 8

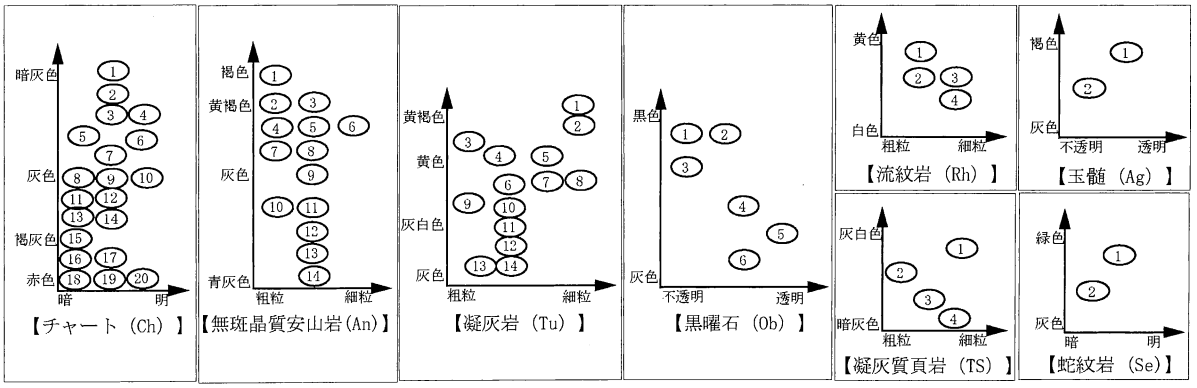
が出土した。

B．出土遺物のデータ分析

剥片石器については縄文時代の石器以外の508点を分析した。グリッドと出土層位との関係は表１に示した。遺物はⅣＢグリッドで最も多く出土し、次がⅡＵグリッドでこの２つのグリッドで全体76.9％を占める。出土層位はⅣ層全体で46.9％を占め、最も多かった層位はⅣａ層であった。次がⅤ層で、全体の20％を占める。Ⅳ層～Ⅴ層で全体の70％程度まで達していて、このような状況からⅣまたはⅤ層の中に生活面があったものと思われる。

表１　層準別石器の出土点数

層位＼グリッド		ＩＳ	ＩＹ	ⅡＵ	ⅣＡ	ⅣＢ	ⅣＧ	ⅣＨ	ⅣＭ	ⅣＮ	合計	比率(%)	層位別点数	比率(%)
Ⅱ層	Ⅱ		2			3	1	6			12	2.4%	39	7.7%
	Ⅱa				1						1	0.2%		
	Ⅱb		5	3	3	14		1			26	5.1%		
Ⅲ層	Ⅲa			6	3	12	4	5	2		32	6.3%	65	12.8%
	Ⅲb			2	2	25		2	2		33	6.5%		
Ⅳ層	Ⅳ						3				3	0.6%	238	46.9%
	Ⅳa	1	11	3	16	50		12			93	18.3%		
	Ⅳb			19	7	51		8			85	16.7%		
	Ⅳc			16	5	36					57	11.2%		
Ⅴ層	Ⅴ		1	18	1	56		2	2	1	81	15.9%	104	20.5%
	Ⅴa			10		1					11	2.2%		
	Ⅴb		1	10		1					12	2.4%		
Ⅵ層	Ⅵa			21	1	20			1	1	44	8.7%	59	11.6%
	Ⅵb			4	2	9					15	3.0%		
Ⅶ層	Ⅶa			1							1	0.2%	1	0.2%
不明			2								2	0.4%	2	0.4%
合計		1	22	113	41	278	8	36	7	2	508	100.0%	508	100.0%
比率(%)		0.2%	4.3%	22.2%	8.1%	54.7%	1.6%	7.1%	1.4%	0.4%	100.0%			



石材名	記号	番号 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
チャート	Ch	灰 (N5/)	オリーブ黒 (5Y3/1)	灰 (N4/)	灰 (N4/)	灰 (N5/)	灰 (N5/)	暗青灰 (10BG4/1)	灰 (10Y4/1)	オリーブ灰 (2.5GY5/1	灰 (10Y5/1)	灰オリーブ (7.5Y4/2)	灰オリーブ (7.5Y5/2)	黄灰 (2.5Y5/1)	灰黄褐 (10YR6/2)	褐灰 (5YR4/1)	暗赤褐 (5YR3/4)	暗赤褐 (2.5YR3/3)	極暗赤褐 (7.5R2/2)	暗赤褐 (2.5YR3/4)	暗赤 (10R3/4)
無斑晶質安山岩	An	暗灰黄 (2.5Y4/2)	オリーブ黒 (7.5Y3/1)	黄褐 (2.5Y5/3)	灰 (5Y4/1)	灰オリーブ (5Y5/2)	黄灰 (2.5Y4/1)	灰 (5Y6/1)	灰 (7.5Y5/1)	灰 (N5/)	灰 (N6/)	青灰 (5B6/1)	青灰 (5B5/1)	暗灰 (N3/)	暗青灰 (5B3/1)						
凝灰岩	Tu	にぶい黄褐 (10YR5/3)	黄褐 (2.5Y5/3)	にぶい黄褐 (10YR6/4)	浅黄 (2.5Y7/4)	淡黄 (2.5Y8/3)	灰黄 (2.5Y6/2)	灰黄 (2.5Y6/2)	灰黄 (2.5Y7/2)	浅黄 (2.5Y7/3)	灰白 (2.5Y8/2)	灰白 (7.5Y8/2)	灰白 (5Y7/2)	灰 (5Y6/1)	灰 (7.5Y6/2)						
黒曜石	Ob	黒 (N1.5/)	黒 (N1.5/)	黒 (N2/)	黒 (N2/)	黒 (N2/)	黒褐 (2.5Y3/1)														
流紋岩	Rh	灰白 (2.5Y8/1)	灰白 (5Y8/1)	灰白 (5Y8/2)	灰白 (7.5Y8/2)																
凝灰質頁岩	TS	灰 (10Y6/1)	灰 (N6/)	灰 (N4/)	暗灰 (N3/)																
玉髄	Ag	褐 (10YR4/4)	褐灰 (10YR6/1)																		
蛇紋岩	Se	オリーブ灰 (10Y5/2)	灰白 (7.5Y7/2)																		

図16　母岩別分類の方法

表２　石材別の石器出土点数及び重量

石材	Ch		An		Tu		Ob		Rh		TS		Ag		Se		GT		And		合計
点数	192	38.2%	170	33.8%	62	12.3%	34	6.7%	29	5.8%	6	1.2%	2	0.4%	2	0.4%	1	0.2%	5	1.0%	503
重量(g)	734.5	16.3%	2107.2	46.8%	751.6	16.8%	141.3	3.1%	402.5	8.9%	81.5	1.8%	5.5	0.1%	126.2	2.8%	138.6	3.1%	15.2	0.3%	4504.1
1点の平均重量	3.8		12.4		12.6		4.2		13.9		13.6		13.9		63.1		138.6		3.0		9.0

Se-2点、GT-1点は石斧　遺物不明5点

使用された石器の石材については表２に示した。数量ではチャート（Ch）が最も多く、次が無斑晶質安山岩（An）で、重量比では無斑晶質安山岩、凝灰岩（Tu）の順であった。無斑晶質安山岩は全体の半数近い重量を占めている。無斑晶質安山岩、チャートを主要石材として用い、凝灰岩、黒曜石、流紋岩などを用いている状況がうかがえる。なお、それぞれの石材については、肉眼の観察により母岩別分類を試みた。石材により色や粒度などの特徴を縦軸と横軸にとってその位置を決めて分類し、色の記述は土色帳に従い、図16に示した。出土石器の全てについてこの分類を行い、表10～12に示した。

礫は62点出土したが、出土地点と出土層位がともに散漫であり、礫群としては捉えなかった。礫は表13に示したように焼けている割合、割れている割合が高く、割れ面が焼けている礫が多いことからも、割れた礫を再利用していることがうかがわれ、調理等に使われた礫と推測できる。素材は安山岩の円礫で、地元の川原の石を用いているものと思われる。

C．出土遺物

遺物の総出土点数595点の内、旧石器時代の遺物としたものは570点である。遺物はⅡ層からⅥ層まで出土しているが、石器形態や剥片剥離技術、石材等について比較をおこなった結果、地層の違いによる遺物のかたよりが見られないことから、細石器文化の遺物（図17の１、２）を除き、旧石器時代のある一時期の遺物として一括して扱うことにした。以下に示す数字は図17～23と表３～４に示した通し番号である。１、２は旧石器時代の細石器文化の石器と思われ、３以降の遺物とは時期が異なると思われる。１は円錐形の細石刃核である。２は細石刃を多数剥離した痕跡が認められる剥片で、表裏で剥離方向が180度異なっている。３は唯一のナイフ形石器で両側縁に基部加工が施されている。４～８は掻器である。４、５はいずれも大型の剥片を素材とするが、４は平坦剥離を多用し、石斧状の加工が見られるが、５は両側縁に沿って連続した剥離で刃部の加工を施している。６は90度前後の急角度の剥離が施されている。７、８は幅広の剥片の末端部に刃部が設けられている。９は削器で、素材の剥片の一側縁に刃部加工を施している。先端を尖らせる加工も見られることから、ナイフ形石器の可能性も考えておきたい。10、11は彫器で、いずれも素材の一端の平坦面を加撃して、彫刃面をつくり出している。12～16は二次加工のある剥片である。12～14は石刃状の縦長剥片末端部の一部に急角度の剥離によって二次加工が施されている。15、16は剥片の一部の狭い範囲に二次加工が施されている。17～59は剥片で、刃こぼれ状の微細剥離痕が見られるものも含んでいる。17～28は縦長の剥片で、打面は単剥離面打面のものが多く、打面調整はほとんどおこなわれていないものと思われる。剥離角は110度前後である。29～41は無斑晶質安山岩製の剥片である。29～34は比較的大型の縦長の剥片である。35、36は幅広の剥片、37～39は大型の横長の剥片で、38には微細な剥離痕が見られる。40、41は小型の横長の剥片で、底面を持つことから板状の剥片を石核として用いて剥離された可能性がある。42～59は打面が残る剥片を中心に、石材別に図示した。石刃は含まれず、幅広か横長の剥片が多く、打面の状況から打面調整がほとんどおこなわれていないことがわかる。60～69は石核である。60は凝灰岩製で小型の幅広な剥片を剥離している。61～66はチャート製である。自然面の状況から鶏卵からゴルフボール程度の転石を素材として、平坦剥離によって打面をつくり出し、小型の剥片を剥離しているものと思われる。67～69は無斑晶質安山岩製で、67は剥片を素材として小型の剥片を剥離している。68は２点が接合したものであるが、大型の剥片を剥離した後に折れている。69は３点の接合資料である。大型の石核として剥片剥離をおこなった後、３つに分割されたが、分割後は石核として利用されず、廃棄されたものと思われる。70～72は斧形石器で、70、71は刃部が研磨されていることから、特に局部磨製石斧と言えるものである。70は緑色凝灰岩、71、72は蛇紋岩を用いている。70は柄の方が広くなるが、71は刃部の方が広く、形態的に異なっている。72は二次加工が少なく、製作途中で廃棄された可能性がある。扁平な大型の礫が１点出土し、石皿状礫（73）とした。厚さが一定であるが特に加工痕は見られず、焼けた痕跡があることから、他の礫と同様に調理等に用いられたものと思われる。

D．旧石器時代の位置づけ

以上のような出土遺物の状況から上ノ原遺跡（帝石パイプライン地点）の旧石器時代について特徴をまとめると次のようになる。①細石刃核と局部磨製石斧が出土していることから２時期の遺物が混在する。細石器文化の遺物は２点のみで、ほかはナイフ形石器文化に位置づけられる。②出土層位はⅡ層からⅥ層まで分散しているが、Ⅳ～Ⅴ層に多数の遺物が含まれている。③ナイフ形石器文化の石器組成はナイフ形石器、掻器、彫器、局部磨製石斧である。石刃は組成しないが、石刃状の縦長剥片が含まれている。④使用石材は無斑晶質安山岩が約半数を占め、次いでチャート、凝灰岩が多用されている。⑤剥片の剥離技術は打面調整をほとんどおこなわず、自然面、または単剥離面を加撃して寸づまりで幅広の剥片を、打面を頻繁に変えて剥離する技術が多くみられる。このような状況からこの石器群の生活面と所属時期を推定すると、まず生活面はⅤ層にあったとしておきたい。地層間の変動が少ないと思われる石皿状礫がⅤ層から出土していることと、後期旧石器時代の前半に位置づけられる局

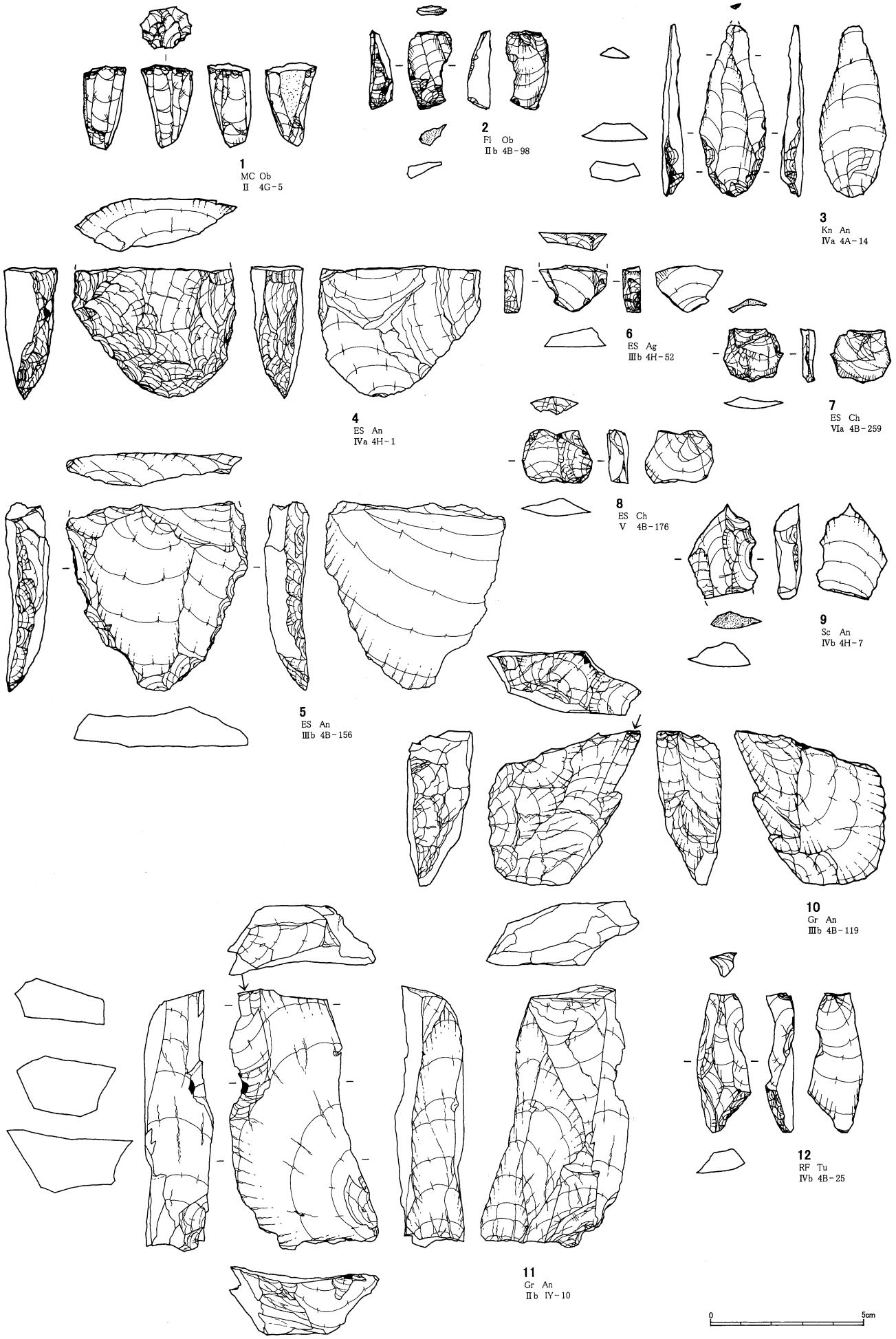


図17 上ノ原遺跡の主な出土遺物(1)（細石刃核、剥片、ナイフ形石器、掻器、削器、彫器、二次加工のある剥片）

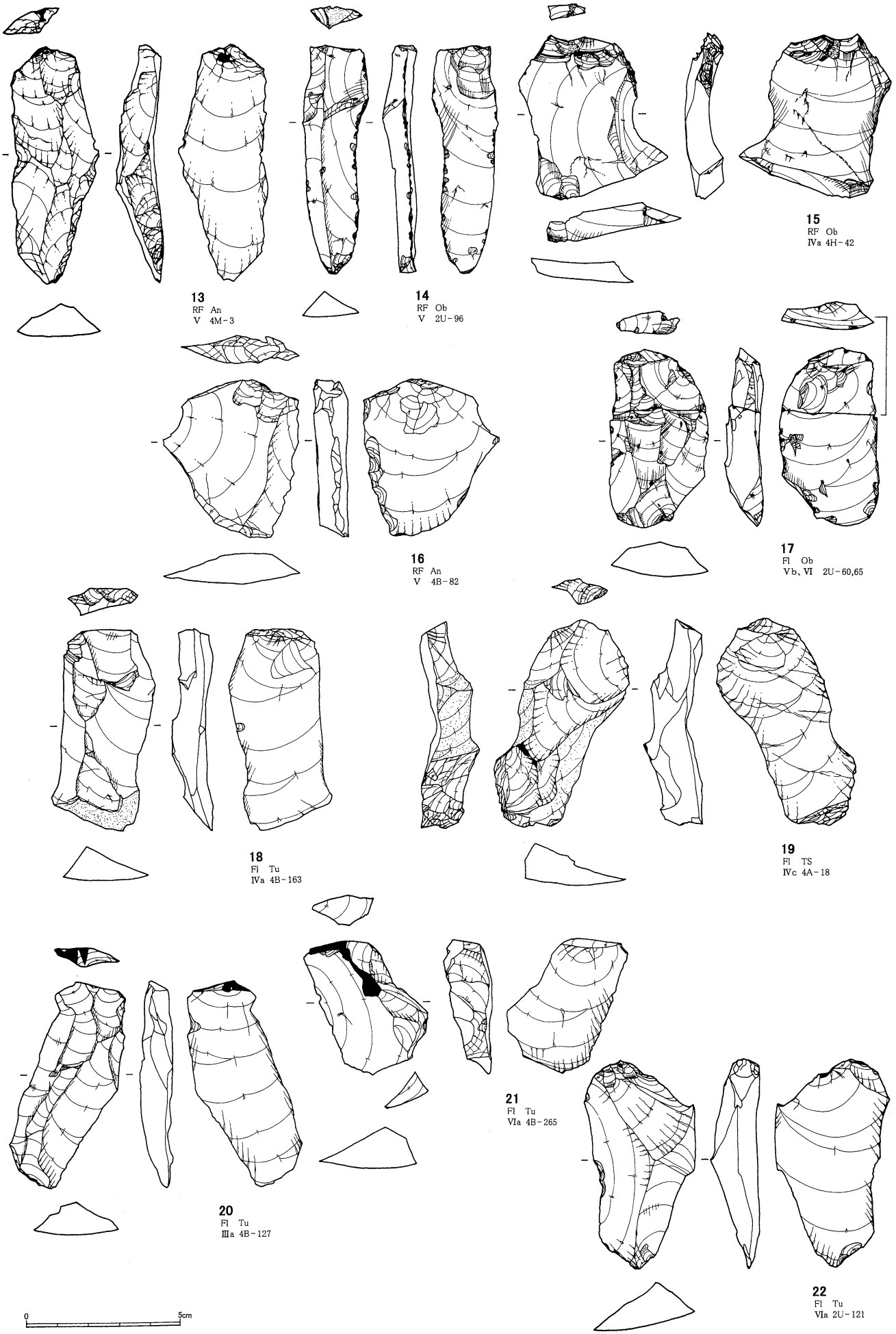


図18　上ノ原遺跡の主な出土遺物(2)（二次加工のある剥片、剥片）

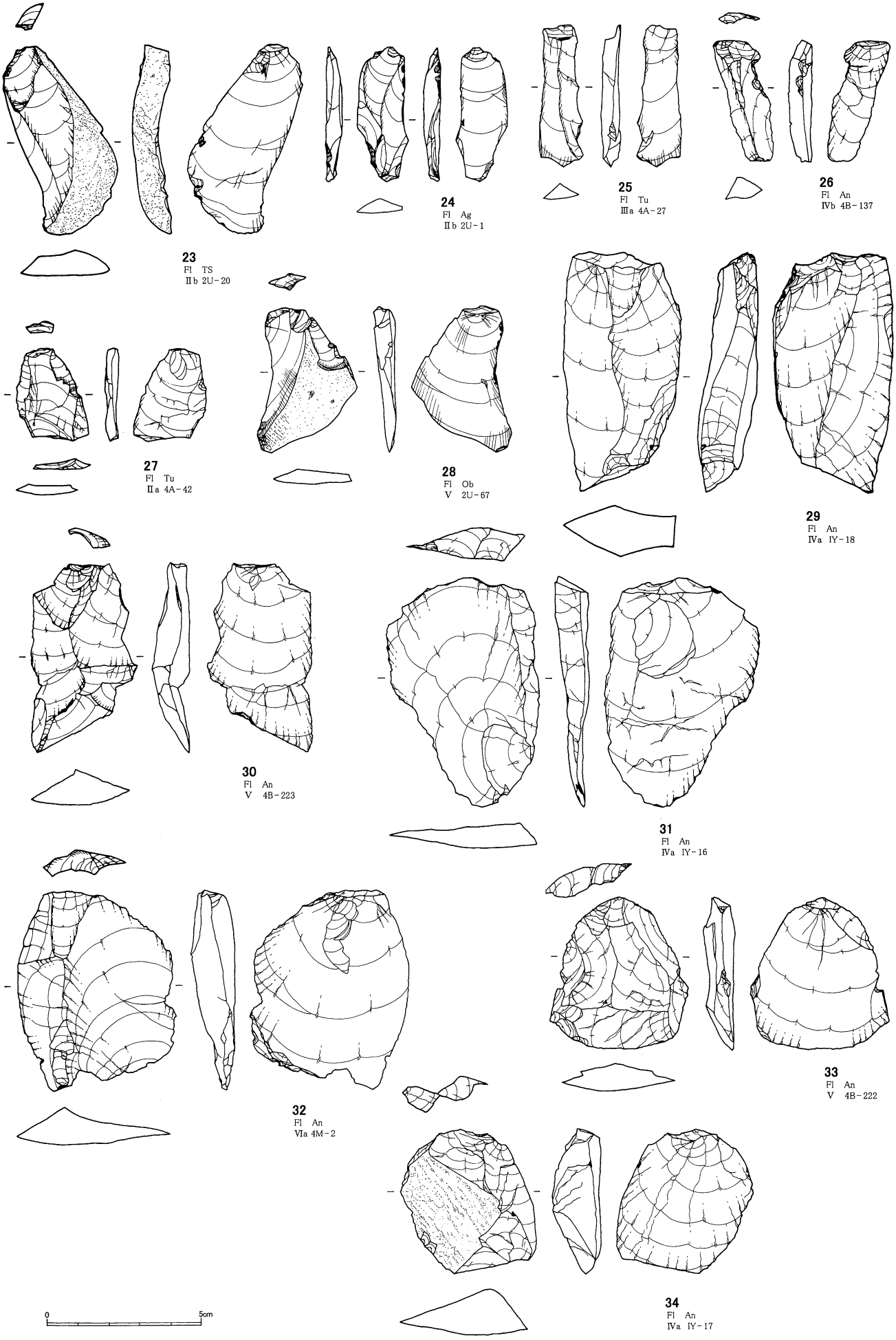


図19　上ノ原遺跡の主な出土遺物(3)（剥片）

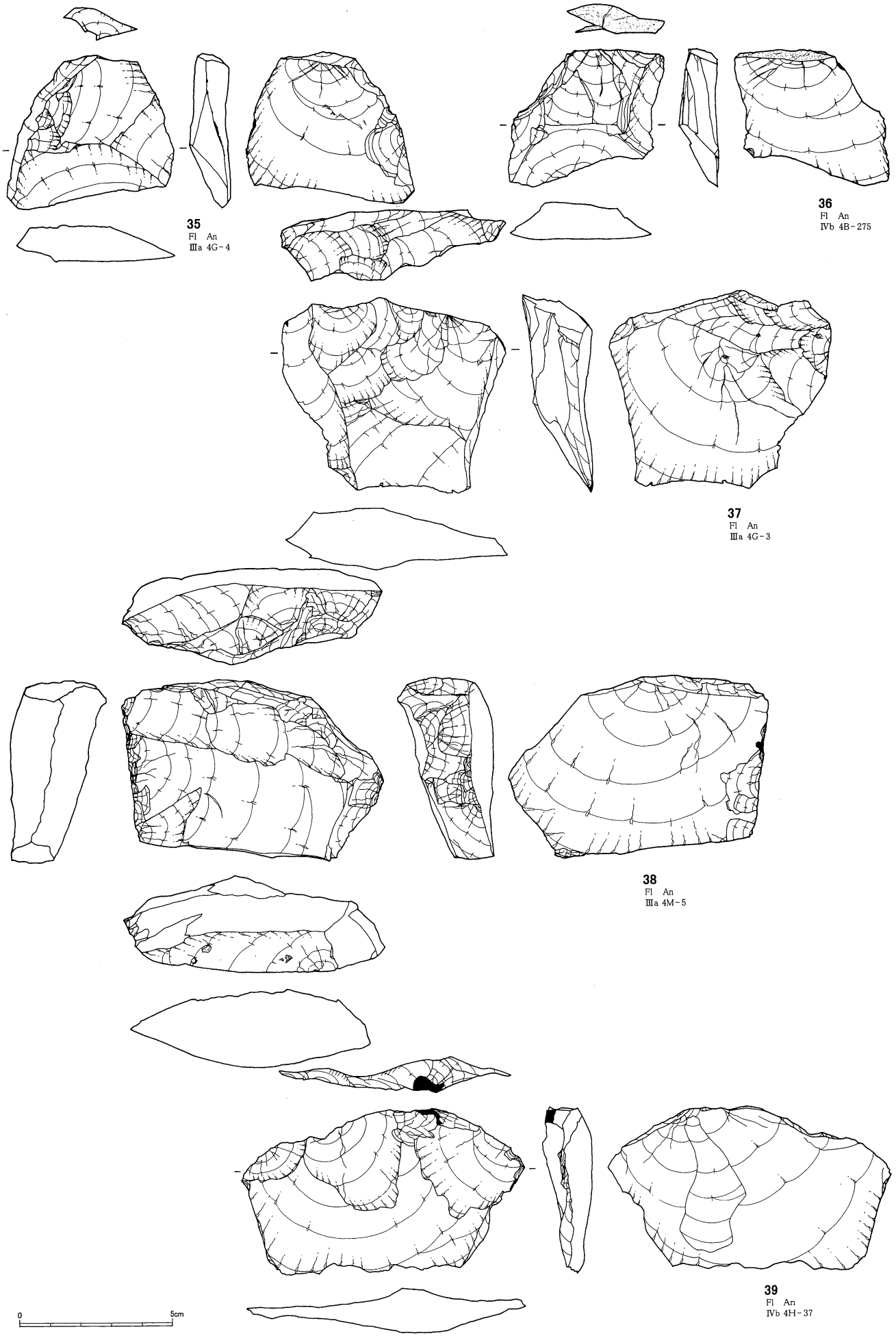


図20　上ノ原遺跡の主な出土遺物(4)（剥片）

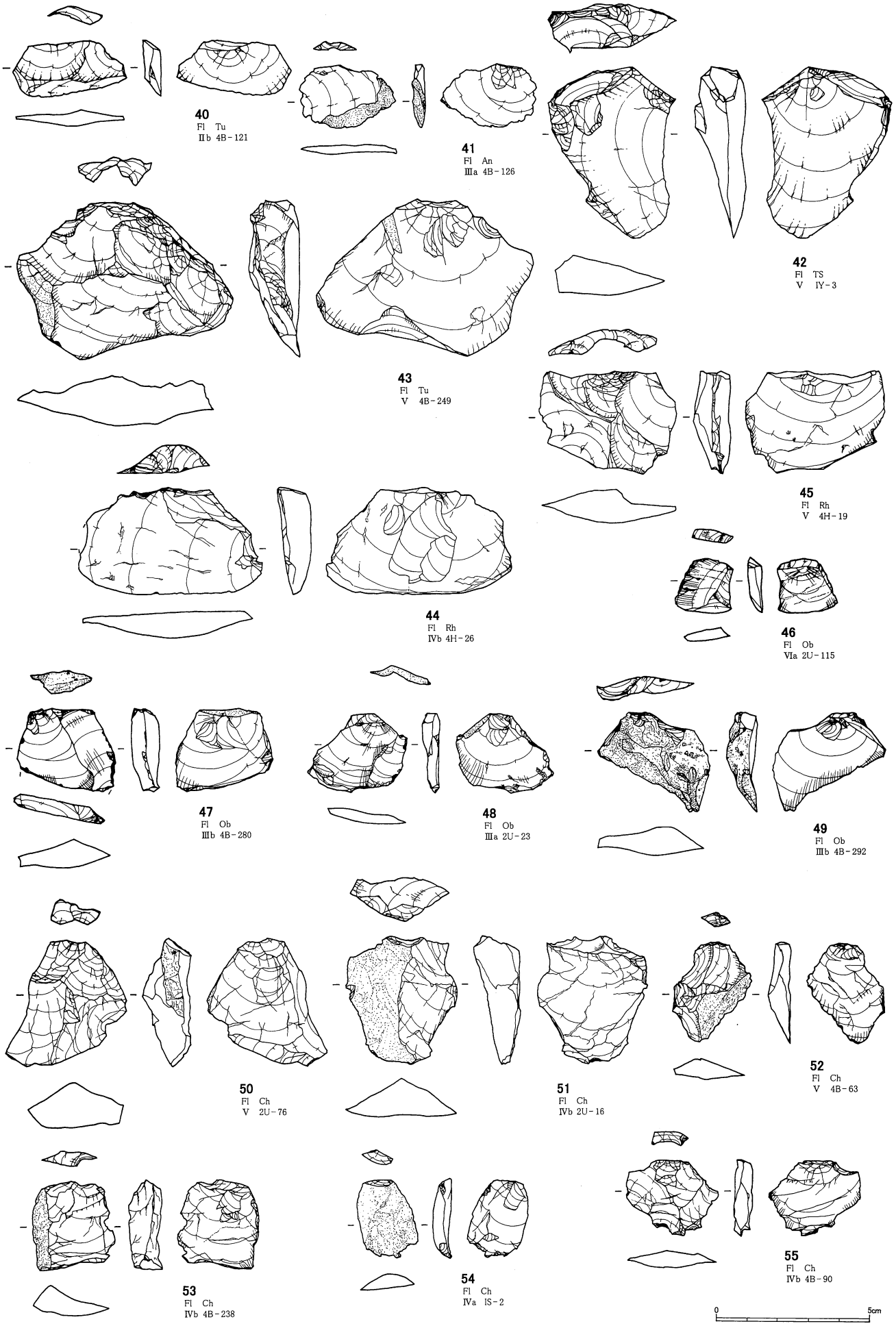


図21　上ノ原遺跡の主な出土遺物(5)（剥片）

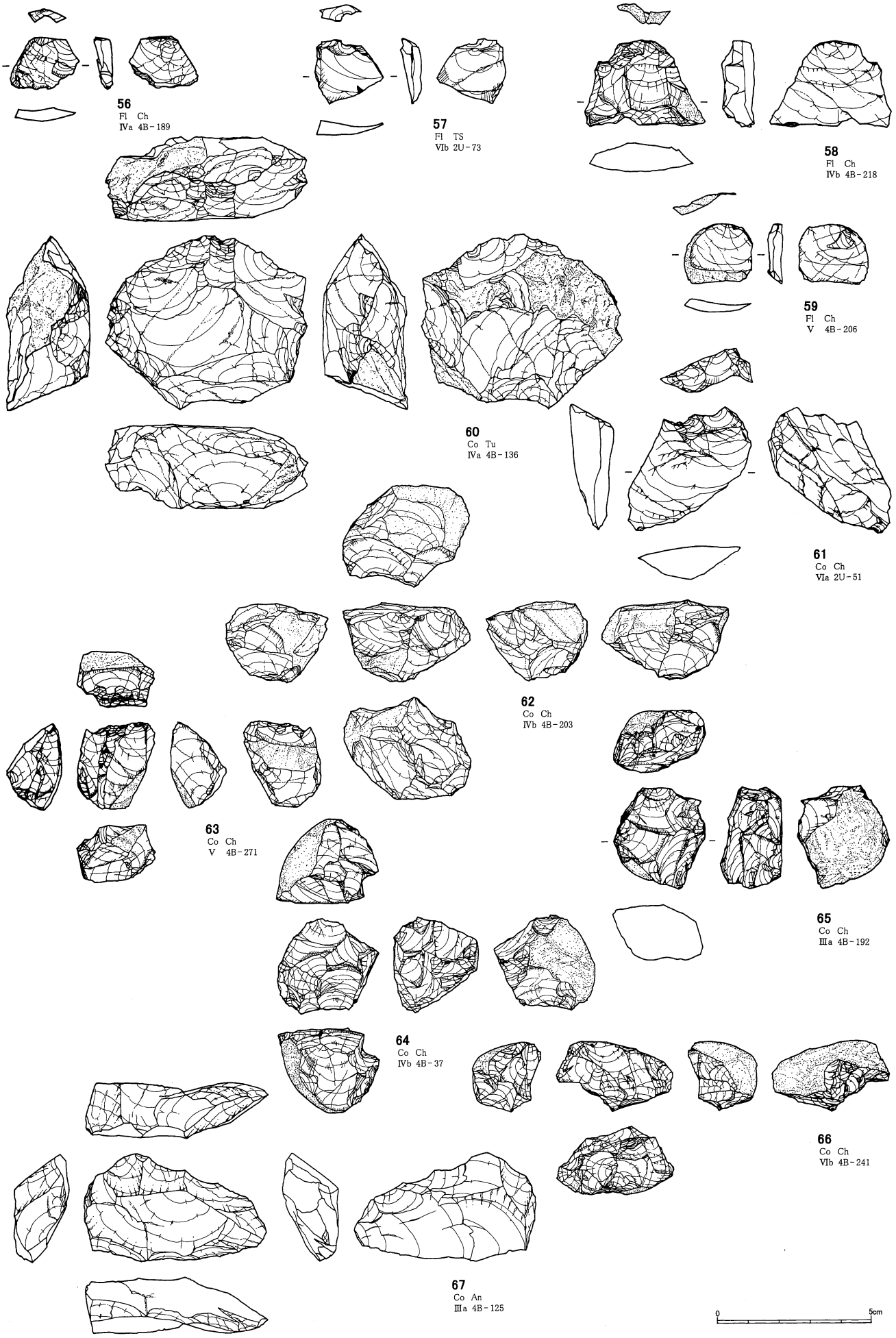


図22　上ノ原遺跡の主な出土遺物(6)（剥片、石核）

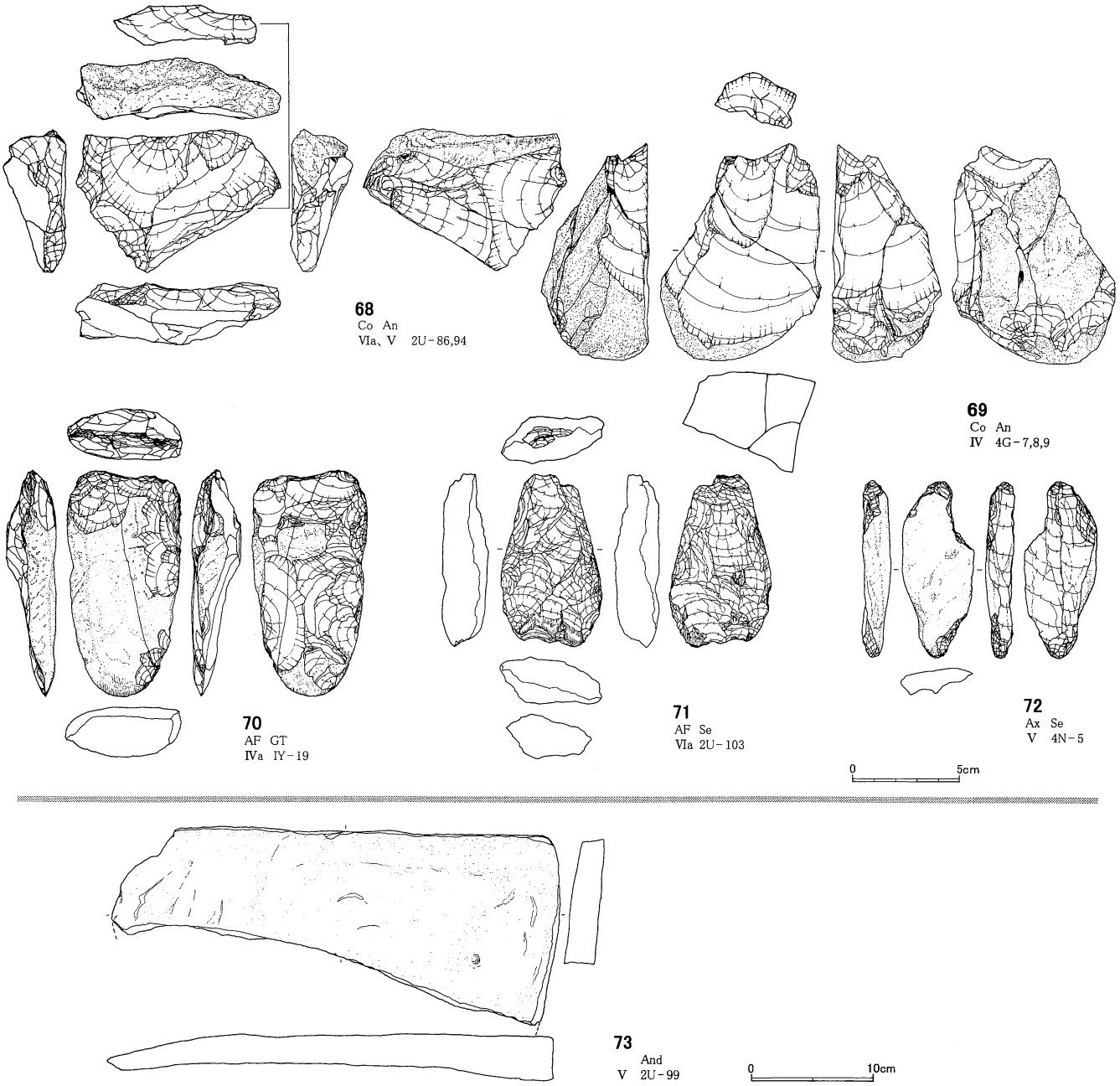


図23 上ノ原遺跡の主な出土遺物(7)（石核、局部磨製石斧、斧形石器、石皿状礫）

部磨製石斧が出土しているが、台形様石器が出土していないことなどから判断した。過去に町内で調査された遺跡から類例を求めると、上ノ原Ⅰ石器文化、大久保南Ⅰ石器文化、裏ノ山Ⅱ石器文化（長野県埋蔵文化財センター2000）が挙げられる。上ノ原Ⅰ石器文化と大久保南Ⅰ石器文化では、石刃状の縦長剥片を素材として基部の両側縁に二次加工を施すナイフ形石器と局部磨製石斧を組成する点では共通するが、台形様石器を組成しない点で異なっている。裏ノ山Ⅱ石器文化ではナイフ形石器や掻器を組成する点で共通するが、局部磨製石斧を組成する点で異なっている。よって今回出土した石器群の所属時期は、前者よりも新しく、後者の裏ノ山Ⅱ石器文化に近いものの、局部磨製石斧を組成に残している時期で、AT降灰前の、南関東との対比ではⅦ層段階としておきたい。

3．縄文時代以降

A．出土層位と遺物の分布

縄文時代以降の遺物は25点出土した。内訳は縄文土器が3点、須恵器6点、土師器8点、縄文時代の石器8点である。分布は図24に示したが、縄文時代の遺物は散漫に分布し、遺物間の距離も大きいことがわかる。石鏃は単独出土の状況である。須恵器、土師器はそれぞれ1ヶ所ずつのまとまりが見られた。いずれも遺物の集中度が低く、遺構も検出されなかったことから、この時期の遺跡の縁辺部であると考えられる。

B．出土遺物

縄文土器は出土した3点の内、図化に耐えられる1点のみを図示した。図25の74は繊維痕が多数見られ、器面

表3　主な出土遺物の観察表(1)

図番号	グリッド	遺物番号	遺物名	器種略号	石材略号	母岩	地層	分布図	石器の特徴
1	4G	5	細石刃核	MC	Ob	Ob-1	Ⅱ	6	円錐形の細石刃核。打面は入念な平坦剥離が施され、打面を固定して細石器を多数剥離。剥離角は95度～115度。石器の大きさから2.5cm前後の長さの細石刃が剥離されたと推測できる。
2	4B	98	剥片	Fl	Ob	Ob-6	Ⅱb	5	細石刃が複数剥離された痕跡を残す剥片で、裏面は反対側を打面として、複数の細石刃を剥離している。打面はいずれも平坦な単剥離面打面で、剥離角は95度前後。
3	4A	14	ナイフ形石器	Kn	An	An-8	Ⅳa	4	基部加工のナイフ形石器。先端が欠損する。素材は石刃状の縦長剥片で、点打面が残り、剥離角は94度。素材の打面側両側縁に調整角75～92度の二次加工で基部をつくり、左右対称に整形。
4	4H	1	掻器	ES	An	An-13	Ⅳa	8	大型の縦長剥片を素材とする掻器で、素材の打面側は欠損する。刃部は弧を描く。刃部の調整角は60度～85度。大剥離と小剥離を組み合わせ、入念な二次加工により整形。
5	4B	156	掻器	ES	An	An-3	Ⅲb	5	大型の剥片を素材とした掻器。素材の打面側は欠損する。素材の両側縁に二次加工が施され、刃部がつくられている。刃部の剥離の調整角は60度～75度のものが多く、90度前後の剥離もいくつか見られる。
6	4H	52	掻器	ES	Ag	Ag-2	Ⅲb	7	剥片を素材とし、縁辺に急角度の二次加工を施し、弧状の刃部をつくり出している。刃部の調整角は85～95度。上部は欠損する。
7	4B	259	掻器	ES	Ch	Ch-20	Ⅵa	5	幅広の剥片を素材とし、その末端に82度前後の調整角で二次加工を施し、刃部をつくり出す。素材は自然面打面を加撃し、剥離角103度で剥離されている。
8	4B	176	掻器	ES	Ch	Ch-10	Ⅴ	5	幅広の剥片を素材とし、その末端に77～90度の調整角で二次加工を施し、刃部をつくり出す。素材は、複剥離面打面を加撃し、剥離角112度で剥離されている。
9	4H	7	削器	Sc	An	An-7	Ⅳb	7	自然面打面を残す剥片を素材として、左側縁に二次加工が施されている。調整角は70～80度。素材の剥離角は101度。
10	4B	119	彫器	Gr	An	An-3	Ⅲb	5	両面ポジティヴな剥離面をもつ剥片を素材とし、折れ面を打面として、剥片の右側縁に刃部をつくり出している。刃部の剥離角は60度。
11	IY	10	彫器	Gr	An	An-13	Ⅱb	2	板状剥片を素材とし、平坦な自然面を加撃して、腹面に刃部をつくり出している。刃部の剥離角は77度。
12	4B	25	二次加工のある剥片	RF	Tu	Tu-10	Ⅳb	5	複剥離面打面をもつ縦長剥片の末端部右側縁に90度に近い角度の二次加工が連続して施されている。素材の剥片の剥離角は105度。
13	4M	3	二次加工のある剥片	RF	An	An-11	Ⅴ	8	縦長の剥片。複剥離面打面を加撃。剥離角は121度。右側縁下半に急角度の二次加工が施されている。調整角は70～85度。
14	2U	96	二次加工のある剥片	RF	Ob	Ob-3	Ⅴ	3	縦長の剥片の末端に急角度の二次加工が施されている。素材の打面は節理面から折れている。石刃状だが、背面の剥離痕の方向は横方向のものもあり、石刃打法ではない。
15	4H	42	二次加工のある剥片	RF	Ob	Ob-5	Ⅳa	7	縦長剥片を素材とし、背面の右側縁上方と腹面の素材の打点側に二次加工が施されている。背面側の調整角は80度前後の剥離が多く、腹面側は65～70度の剥離となっている。
16	4B	82	二次加工のある剥片	RF	An	An-13	Ⅴ	5	縦長の剥片の右側縁腹面の縁辺に、調整角70～75度で二次加工が施されている。素材は単剥離面打面を加撃して得られた剥片で、剥離角は103度。背面に頭部調整の剥離痕が見られる。
17	2U	60	剥片	Fl	Ob	Ob-3	Ⅴb	3	縦長の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は126度。背面は縦方向の剥離面で構成されている。
	2U	65	剥片	Fl	Ob	Ob-3	Ⅵb	3	
18	4B	163	剥片	Fl	Tu	Tu-14	Ⅳa	5	縦長の剥片（石刃状だが、石刃打法にはよらない）。複剥離面打面を加撃。剥離角は104度。背面に複数の縦長剥離の剥離痕あり。背面の末端に自然面あり。
19	4A	18	剥片	Fl	TS	TS-2	Ⅳc	4	縦長の剥片。背面に自然面、節理面あり。単剥離面打面を加撃。剥離角は114度。末端は階段状剥離となっている。
20	4B	127	剥片	Fl	Tu	Tu-14	Ⅲa	5	縦長の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は106度。背面の剥離面の構成から、縦長剥片を連続的に剥離されていることがわかる。
21	4B	265	剥片	Fl	Tu	Tu-5	Ⅵa	5	縦長の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は114度。背面に節理面あり。
22	2U	121	剥片	Fl	Tu	Tu-15	Ⅵa	3	縦長の剥片の背面左側縁にノッチ状の微細剥離痕あり。調整角は55度前後。素材の腹面の末端に微細な剥離痕あり。素材の剥片は、打面部が欠損する。
23	2U	20	剥片	Fl	TS	TS-1	Ⅱb	3	縦長の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は104度。背面に自然面を残し、円礫を用いていることがわかる。
24	2U	1	剥片	Fl	Ag	Ag-1	Ⅱb	3	縦長の剥片。点打面が残る。剥離角は90度。右側縁上部に微細剥離痕が見られる。
25	4A	27	剥片	Fl	Tu	Tu-5	Ⅲa	4	縦長剥片。打面部は欠損する。
26	4B	137	剥片	Fl	An	An-2	Ⅳb	5	石刃状の縦長の剥片。背面の剥離面の構成から、石刃打法によるものでないことがわかる。剥離角は111度。
27	4A	42	剥片	Fl	Tu	Tu-17	Ⅱa	4	縦長の剥片。複剥離面打面を加撃。剥離角は97度。末端部は折れている。
28	2U	67	剥片	Fl	Ob	Ob-6	Ⅴ	3	縦長の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は111度。背面に自然面あり。
29	IY	18	剥片	Fl	An	An-13	Ⅳa	2	両面ポジティヴな剥離面をもつ剥片で、左側縁に鋭い縁辺をもつ。
30	4B	223	剥片	Fl	An	An-13	Ⅴ	5	縦長の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は114度。
31	IY	16	剥片	Fl	An	An-13	Ⅳa	2	縦長の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は120度。背面はポジティヴな剥離面で、剥離の方向は腹面とは反対。
32	4M	2	剥片	Fl	An	An-2	Ⅵa	8	幅広の剥片。複剥離面打面を加撃。剥離角は104度。
33	4B	222	剥片	Fl	An	An-13	Ⅴ	5	縦長の剥片。複剥離面打面を加撃。剥離角は119度。背面には横位からの剥離が見られる。
34	IY	17	剥片	Fl	An	An-11	Ⅳa	2	縦長の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は113度。背面に自然面あり。
35	4G	4	剥片	Fl	An	An-9	Ⅲa	6	幅広の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は118度。側面に自然面あり。背面と腹面に小型で幅広の剥離痕あり。
36	4B	275	剥片	Fl	An	An-8	Ⅳb	5	幅広の剥片。自然面打面を加撃。剥離角は117度。
37	4G	3	剥片	Fl	An	An-9	Ⅲa	6	大型の板状の剥片。単剥離面に加撃。主要剥離面は打面付近がネガティヴになっており、末端部はポジティヴとなる。剥離角は162度。背面には幅広の剥片の剥離痕が複数ある。
38	4M	5	剥片	Fl	An	An-13	Ⅲa	8	大型で板状の剥片。複剥離面打面に加撃。剥離角114度。左側縁に背面、腹面ともに剥離痕が見られるが、これらは一連の剥離とは認められないことから、使用等によるものと思われる。

表4　主な出土遺物の観察表(2)

図番号	グリッド	遺物番号	遺物名	器種略号	石材略号	母岩	地層	分布図	石器の特徴
39	4H	37	剥片	Fl	An	An-11	Ⅳb	7	横長の大型剥片。複剥離面打面を加撃。剥離角は103度。
40	4B	121	剥片	Fl	Tu	Tu-16	Ⅱb	5	横長の剥片。単剥離面打面を加撃。背面の剥離痕から横長剥片の連続剥離がうかがえる。底面をもつことから、板状の剥片を素材とした石核から剥離されたものと思われる。剥離角は113度。
41	4B	126	剥片	Fl	An	An-4	Ⅲa	5	横長の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は93度。背面に自然面あり。
42	IY	3	剥片	Fl	TS	TS-3	Ⅴ	2	縦長の剥片。複剥離面打面を加撃。剥離角は113度。
43	4B	249	剥片	Fl	Tu	Tu-10	Ⅴ	5	幅広の剥片。複剥離面打面を加撃。剥離角は119度。背面には横方向からの剥離と節理面が見られる。
44	4H	26	剥片	Fl	Rh	Rh-4	Ⅳb	7	横長の剥片。複剥離面打面を加撃。剥離角は108度。末端部は蝶番剥離。背面は平坦で、古い剥離面。
45	4H	19	剥片	Fl	Rh	Rh-4	Ⅴ	7	横長の剥片。複剥離面打面を加撃。剥離角は105度。末端部は折れる。頭部調整が施されている。
46	2U	115	剥片	Fl	Ob	Ob-4	Ⅵa	3	縦長の小型の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は126度。
47	4B	280	剥片	Fl	Ob	Ob-4	Ⅲb	5	幅広の剥片。古い平坦な剥離面を加撃。剥離角は115度。末端部は折れている。右側縁に微細な剥離痕が見られる。
48	2U	23	剥片	Fl	Ob	Ob-6	Ⅲa	3	幅広の剥片。自然面打面の稜線付近を加撃。剥離角は105度。
49	4B	292	剥片	Fl	Ob	Ob-4	Ⅲb	5	横長の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は108度。背面はすべて自然面。
50	2U	76	剥片	Fl	Ch	Ch-4	Ⅴ	3	縦長の剥片。複剥離面打面を加撃。剥離角は128度。打面側に自然面あり。
51	2U	16	剥片	Fl	Ch	Ch-3	Ⅳb	3	縦長の剥片。打面は欠損する。背面に自然面あり。
52	4B	63	剥片	Fl	Ch	Ch-8	Ⅴ	5	縦長の剥片。複剥離面打面を加撃。剥離角は112度。背面に自然面あり。
53	4B	238	剥片	Fl	Ch	Ch-16	Ⅳb	5	背面に自然面あり。単剥離面打面を加撃。剥離角は115度。末端は折れている。
54	IS	2	剥片	Fl	Ch	Ch-18	Ⅳa	1	縦長の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は66度。背面はすべて自然面で、円礫を用いたことがわかる。
55	4B	90	剥片	Fl	Ch	Ch-7	Ⅳb	5	幅広の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は112度。末端部は階段状剥離となっている。
56	4B	189	剥片	Fl	Ch	Ch-11	Ⅳa	5	幅広の剥片。単剥離面打面を加撃。剥離角は106度。側面に自然面あり。
57	2U	73	剥片	Fl	TS	TS-4	Ⅵb	3	単剥離面打面を加撃。剥離角は126度。
58	4B	218	剥片	Fl	Ch	Ch-9	Ⅳb	5	幅広の剥片。頭部調整がおこなわれているが、打面は自然面で、剥離角は104度。
59	4B	206	剥片	Fl	Ch	Ch-2	Ⅴ	5	幅広の剥片。自然面打面を加撃。剥離角は91度。背面には幅広の剥片の剥離痕と自然面がある。
60	4B	136	石核	Co	Tu	Tu-4	Ⅳa	5	自然面が残る石核で、自然面の様子から円礫を素材としていることがわかる。自然面に平坦な剥離を施して打面をつくり出し、そこを加撃して幅広の剥片を剥離している。剥片は全周を回るように剥離している。剥離角は115度前後。
61	2U	51	石核	Co	Ch	Ch-6	Ⅵa	3	横長の剥片を素材とし、素材の打面側で剥片の剥離がおこなわれている。長さ0.9cm、幅1.1cm程の小型の剥片剥離が打点を横に移動しておこなわれている。打面は単剥離面打面で、剥離角は114度。
62	4B	203	石核	Co	Ch	Ch-7	Ⅳb	5	自然面を多く残しており、円礫を用いていることがわかる。平坦剥離によって打面部をつくり出し、そこを加撃して、幅広の剥片を剥離している。正面の剥離面の剥離角は104度。
63	4B	271	石核	Co	Ch	Ch-3	Ⅴ	5	打面部は自然面を平坦な剥離によって除去してつくられ、剥離角120度前後で打面を固定し、小型の縦長剥片を複数剥離している。
64	4B	37	石核	Co	Ch	Ch-9	Ⅳb	5	自然面の状況から、円礫を素材とすることがわかる。剥片を剥離した後、打面を90度変え、剥片剥離した面を打面に用いて、次の剥片剥離をおこなっており、打面の頻繁な移動が見られる。
65	4B	192	石核	Co	Ch	Ch-17	Ⅲa	5	打面を動かしながら、縁辺から石核の中心に向かって加撃し、幅広の剥片を剥離している。自然面が多く残り、円礫が用いられていることがわかる。剥片の剥離角は110度前後である。
66	4B	241	石核	Co	Ch	Ch-1	Ⅵb	5	円礫を素材とする。礫面を打面とし、剥離角109度で、小型の幅広な剥片を剥離している。さらに、打面を90度変え、剥片の剥離面を打面にして、小型の剥片を剥離している。
67	4B	125	石核	Co	An	An-3	Ⅲa	5	板状の剥片を素材として、剥片の側面を加撃して、幅広の剥片を打点を横方向に動かして剥離している。剥離角は85度前後である。
68	2U	86	石核	Co	An	An-5	Ⅵa	3	板状の剥片で、平坦な自然面を打面として、大型で幅広の剥片を剥離している。剥離角は105度。2点が接合しているが、剥片剥離の後、折れたと見られる。
	2U	94	石核	Co	An	An-5	Ⅴb	3	
69	4G	7	石核	Co	An	An-9	Ⅳ	6	自然面が残る石核で、素材は円礫であったことがわかる。3点の接合資料であるが、3点の分割後はそれぞれ単独で石核等に利用されてはいないため、大型の石核として使われ、分割されたのち廃棄されたものと思われる。この大型の石核からは単剥離面打面を加撃し、剥離角106度で長さ4.5cm程の剥片が剥離されている。
	4G	8	石核	Co	An	An-9	Ⅳ	6	
	4G	9	石核	Co	An	An-9	Ⅳ	6	
70	IY	19	局部磨製石斧	AF	GT		Ⅳa	2	外形は砲弾形で、刃部は両面研磨され、鋭利な刃部がつくり出されている。刃角は64度。背面の7割程度は自然面で、素材の形状をあまり変えていないことがうかがえる。背面の二次加工は縁辺からの平坦な剥離となっている。腹面にも一部自然面が残されていることから、厚さ約2cmの扁平な礫が素材となっていることがわかる。二次加工には大きな平坦剥離と縁辺の小さな剥離とが見られる。基部側は厚さを薄くする二次加工が施されている。背面左上から右下にかけてひび割れの線が一本入っているが、割れてはいない。
71	2U	103	局部磨製石斧	AF	Se	Se-1	Ⅵa	3	外形は撥形で、刃部は両面で研磨されているが、使用による破損のためか、2つの抉り状の剥離痕が見られる。残存する部分の刃角は40度。研磨以外の部分は縁辺から中心へ向かう方向の剥離によって整形されている。
72	4N	5	斧形石器	Ax	Se	Se-2	Ⅴ	8	扁平な礫が長軸方向に割れたもので、斧形石器の未製品と思われる。長軸の両端部には、末端部側からの剥離痕がある。腹面にはほとんど二次加工なし。研磨は両面ともにない。
73	2U	99	石皿状礫		And		Ⅴ	3	厚さが一定の扁平な大形の礫で、割れ面をもつ。表面、裏面ともに平坦な面であるが、特に加工は見られない。全体に橙褐色をしており、火を受けたと考えられる。

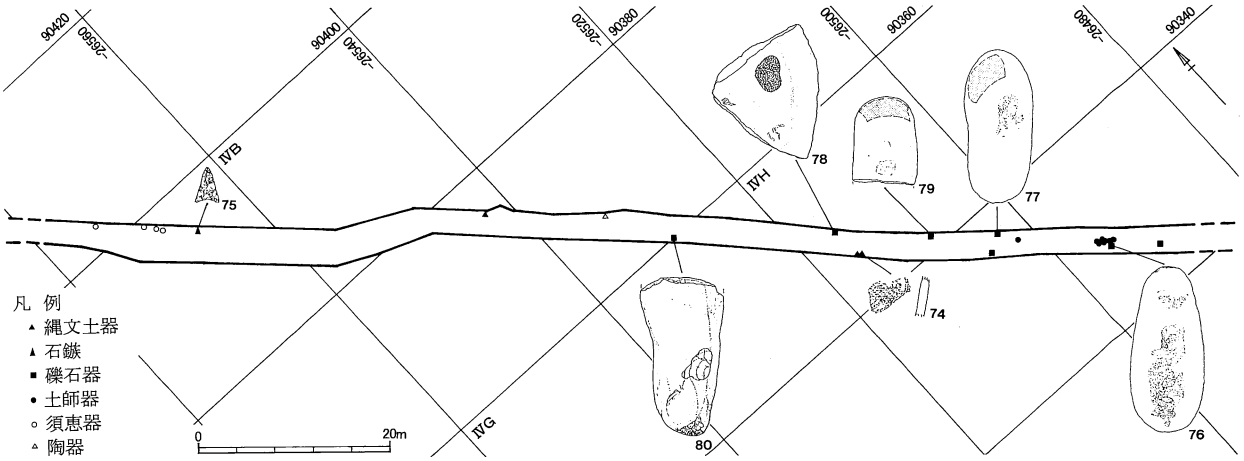


図24　縄文時代以降の遺物の分布

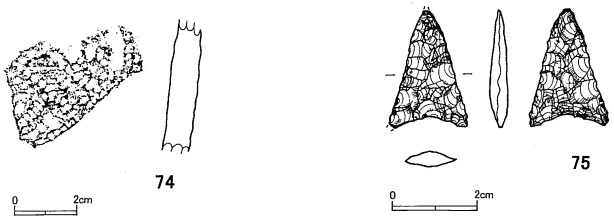


図25　上ノ原遺跡の主な出土遺物（縄文土器、石鏃）

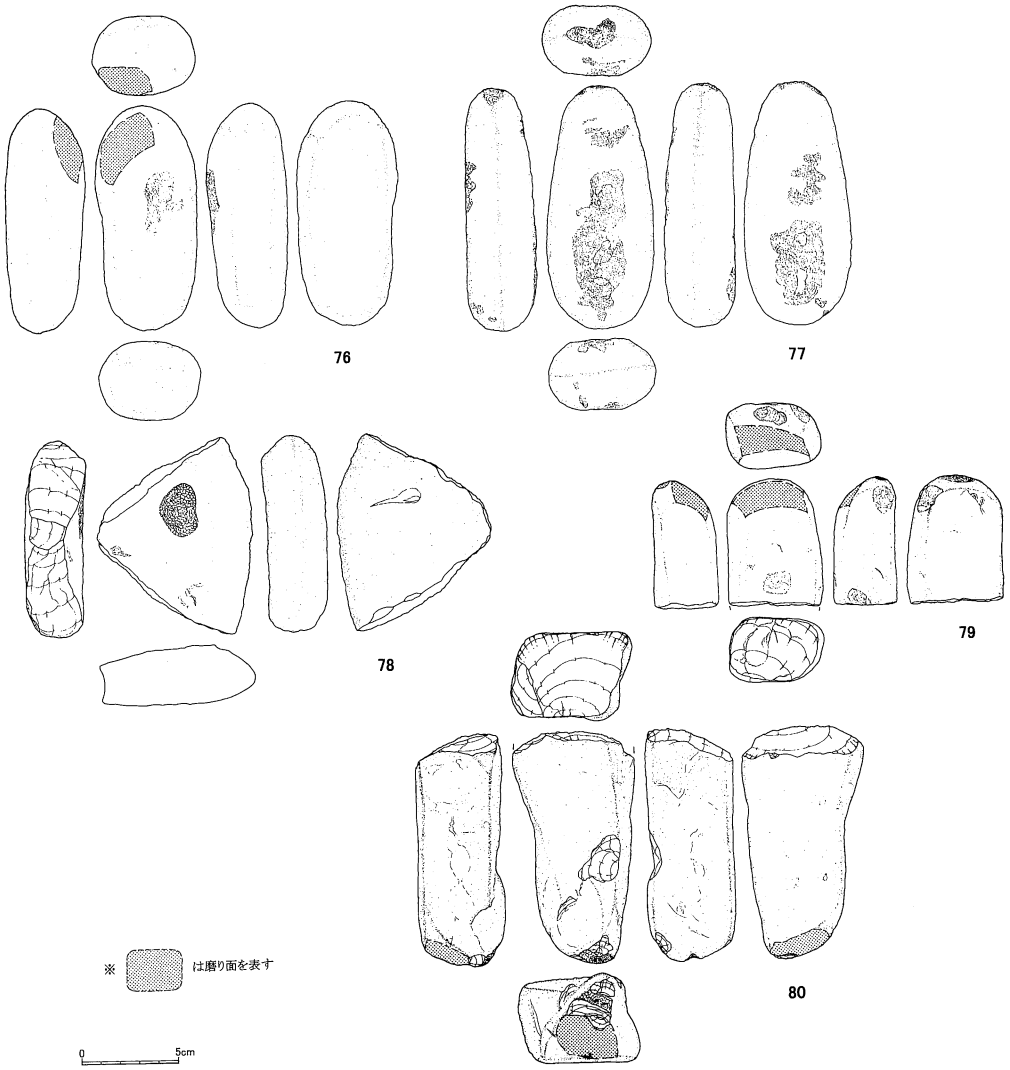


図26　上ノ原遺跡の主な出土遺物（凹石、スタンプ形石器、磨石）

表5　縄文時代以降の土器類の観察表

図番号	グリッド	遺物番号	枝番	遺物名	部位	地層	標高(m)	文様	炭化物	調整	含有物	繊維痕	色調 内面	色調 外面
74	ⅣH	4 H 44		縄文土器	胴	Ⅱ	708.930	縄文	—	ナデ	qt、ho、白、赤、小レキ	○	にぶい黄橙	にぶい橙
—	ⅣB	4 B 279		縄文土器	胴	Ⅲa	707.171	無文	—	ナデ	qt、bt、白、赤	—	褐灰	にぶい黄褐
—	ⅣH	4 H 45		縄文土器	胴	Ⅱ	708.821	無文	—	ナデ	qt、白、赤、小レキ	○	にぶい黄橙	橙
—	ⅡU	2 U 24		須恵器	胴	Ⅱa	706.203	—	—	ロクロナデ	白	—	オリーブ黒	黒
—	ⅣA	4 A 1		須恵器	胴	Ⅱa	706.536	—	—	ロクロナデ	qt、白	—	灰	灰
—	ⅣA	4 A 3		須恵器	胴	Ⅱa	706.539	—	—	ロクロナデ	qt、白	—	灰オリーブ	灰オリーブ
—	ⅣA	4 A 4		須恵器	口縁	Ⅱa	706.582	—	—	ロクロナデ	qt、白	—	灰オリーブ	灰オリーブ
—	ⅣN	4 N 2		須恵器	口縁	Ⅲb	708.755	—	—	ロクロナデ	qt、白	—	灰	灰
—	ⅣB	4 B 293		須恵器	胴	Ⅱ	707.713	—	—	ロクロナデ	白	—	赤灰	灰
—	ⅣH	4 H 23		土師器	胴	Ⅱ	709.010	—	○	ロクロナデ	qt、ho、bt、白、赤、小レキ	—	橙	にぶい褐
—	ⅣH	4 H 28		土師器	胴	Ⅱ	709.023	—	○	ナデ	qt、bt、白、赤、小レキ	—	にぶい橙	にぶい黄橙
—	ⅣH	4 H 29		土師器	胴	Ⅱ	709.012	—	—	ロクロナデ	qt、bt、白、赤、小レキ	—	にぶい褐	赤褐
—	ⅣH	4 H 30		土師器	胴	Ⅱ	709.012	—	○	ハケ	qt、ho、bt、白、赤、小レキ	—	橙	にぶい橙
—	ⅣH	4 H 31		土師器	胴	Ⅱ	708.930	—	○	ロクロナデ	qt、bt、白、赤、小レキ	—	にぶい橙	にぶい橙
—	ⅣH	4 H 32		土師器	胴	Ⅱ	709.010	—	○	ロクロナデ	qt、bt、白、赤、小レキ	—	にぶい黄橙	橙
—	ⅣH	4 H 33		土師器	胴	Ⅱ	708.981	—	○	ハケ	qt、bt、白、赤、小レキ	—	にぶい褐	にぶい橙
—	ⅣH	4 H 58	1	土師器	口縁	Ⅳa	708.978	—	—	ロクロナデ	qt、ho、白、赤、小レキ	—	浅黄橙	にぶい橙

qt:石英、ho:角閃石、bt:黒雲母、白:白色岩片、赤:赤色岩片、小レキ:小さな礫を表す

表6　縄文時代以降の石器の観察表

図番号	グリッド	遺物番号	遺物名	石材	地層	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
75	ⅣA	4 A 49	石　鏃	Ch	Ⅱb	706.176	2.8	1.9	0.4	1.4
76	ⅣH	4 H 51	凹　石	And	Ⅱb	709.117	6.9	5.3	4.1	381.0
77	ⅣH	4 H 24	凹　石	And	Ⅱ	708.969	7.8	5.6	3.5	306.0
78	ⅣH	4 H 54	凹　石	And	Ⅱb	708.861	10.1	8.1	3.2	250.0
79	ⅣH	4 H 53	スタンプ形石器	And	Ⅱb	709.045	6.9	5.0	3.2	171.0
80	ⅣG	4 G 1	磨　石	Sa	Ⅲa	707.970	12.3	6.3	4.5	513.0
-	ⅣH	4 H 10	敲　石	花崗岩	Ⅱ	708.893	11.5	6.6	5.8	647
-	ⅣH	4 H 41	磨　石	Sa	Ⅲb	709.089	7.0	5.3	2.6	113.0

には縄文が施されている。胎土の状況などから3点はいずれも縄文時代早期に位置づけておきたい。石器は石鏃が1点、凹石が3点、スタンプ形石器1点、磨石2点、敲石1点であった。75はチャート製の凹基無茎鏃である。図26の76は細長い円礫を素材とし、表面の中央付近に浅い凹みがある。先端付近に一部磨り面がある。77は細長い円礫を素材とし、表面に4ヶ所、裏面に4ヶ所の凹みがある。細い側の先端には敲打痕が見られる。78は扁平な円礫を素材とし、平坦な面の一部に凹みがある。79は細長い円礫を素材としていると思われ、平坦な割れ面をもつ。自然面の先端部には敲打痕があり、その周辺に磨り面が見られる。80は細長い亜円礫を素材とし、先端の一部に磨り面が見られる。これらの石器は共伴した土器と同様に縄文時代早期に位置づけておきたい。

須恵器、土師器は全て小片のため図化ができなかった。手がかりが少ないために時期を特定することは難しいが、須恵器が存在し、土師器に黒色土器が含まれていないことなどから、9世紀ころの所産と位置づけておきたい。

Ⅲ　東裏遺跡（帝石パイプライン地点）

1．調査の概要

東裏遺跡は野尻湖の南西1.3kmに位置し、北側の上ノ原遺跡から続き、北西から南東方向に1.3kmにわたって広がる広範囲の遺跡で、旧石器、縄文、弥生、平安、中世、近世の複合遺跡である。特別養護老人ホーム建設に伴う発掘調査では後期旧石器時代後半の杉久保型ナイフ形石器を伴う石器群や、瀬戸内系の石器群、尖頭器石器群などの遺物が検出されている。また、縄文時代草創期の土器もまとまって出土した（渡辺　1994）。また、上信越自動車道建設に伴って平成5年～7年に発掘調査が実施され、特に後期旧石器時代のまとまった資料が得られている（長野県埋蔵文化財センター　2000）。このときの調査と今回の調査の場所については図27に示した。パイプライン敷設のルートは伊勢見山から南西方向へ伸びる尾根を横断していて、比較的平坦な地形の地点を選定してトレンチを設定し、遺物が出土したところを拡張した（図28）。

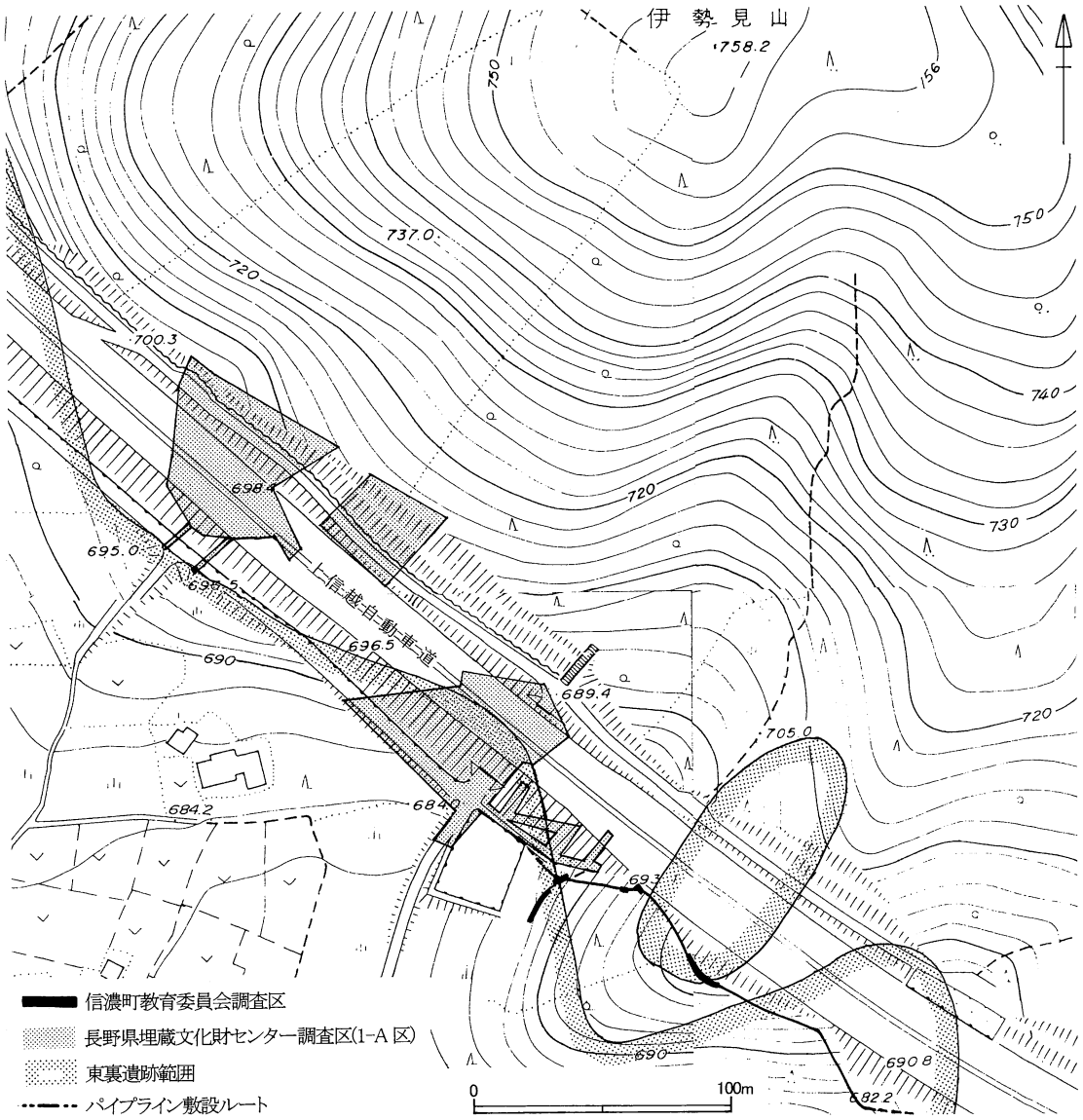


図27　東裏遺跡の範囲と調査地の位置

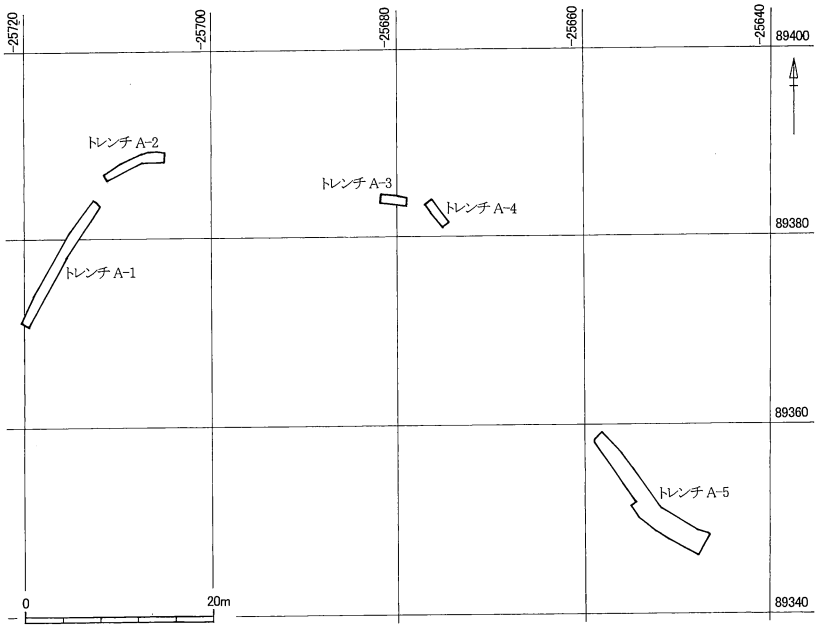


図28　東裏遺跡のトレンチの位置

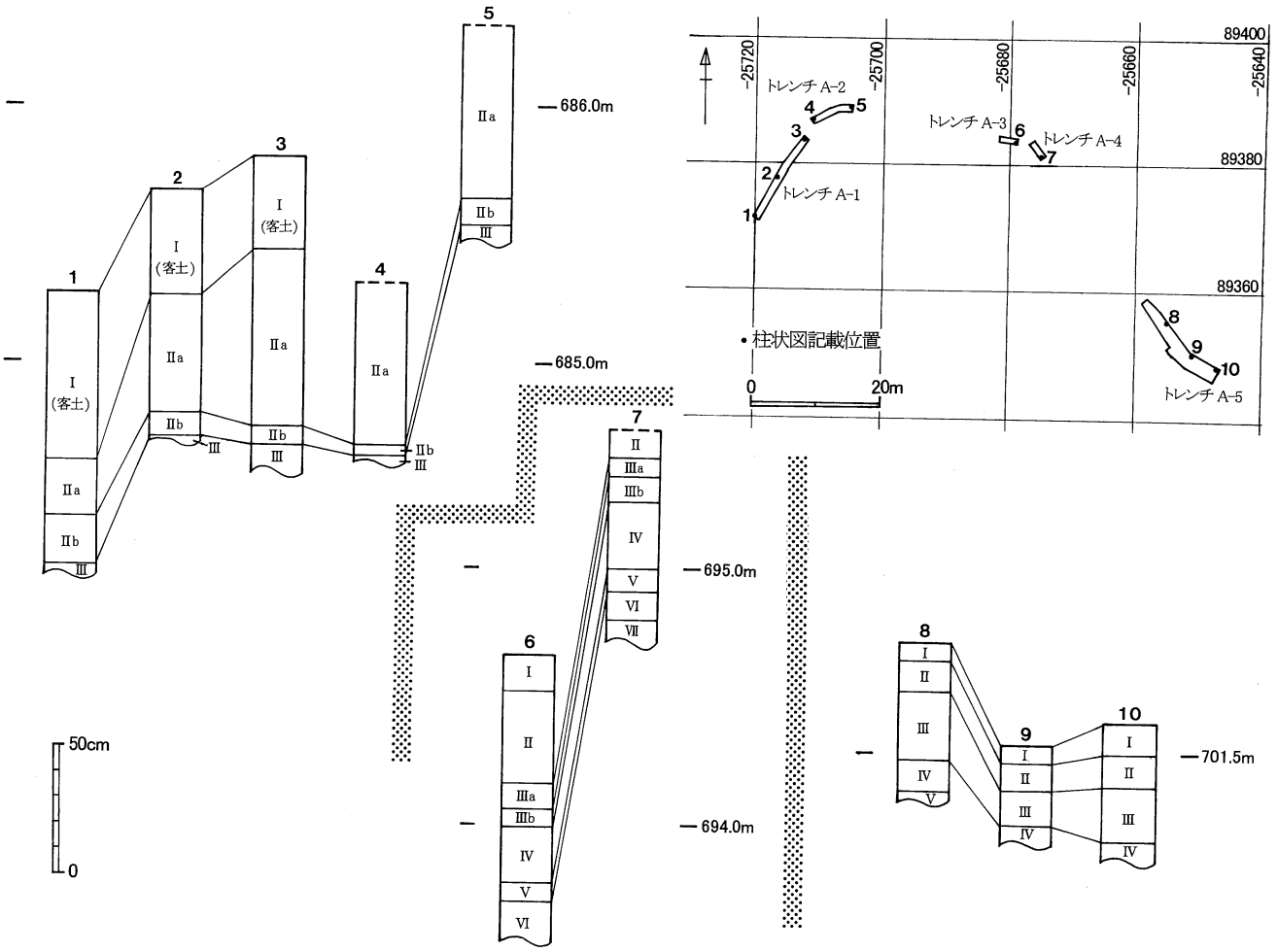


図29　東裏遺跡の土層

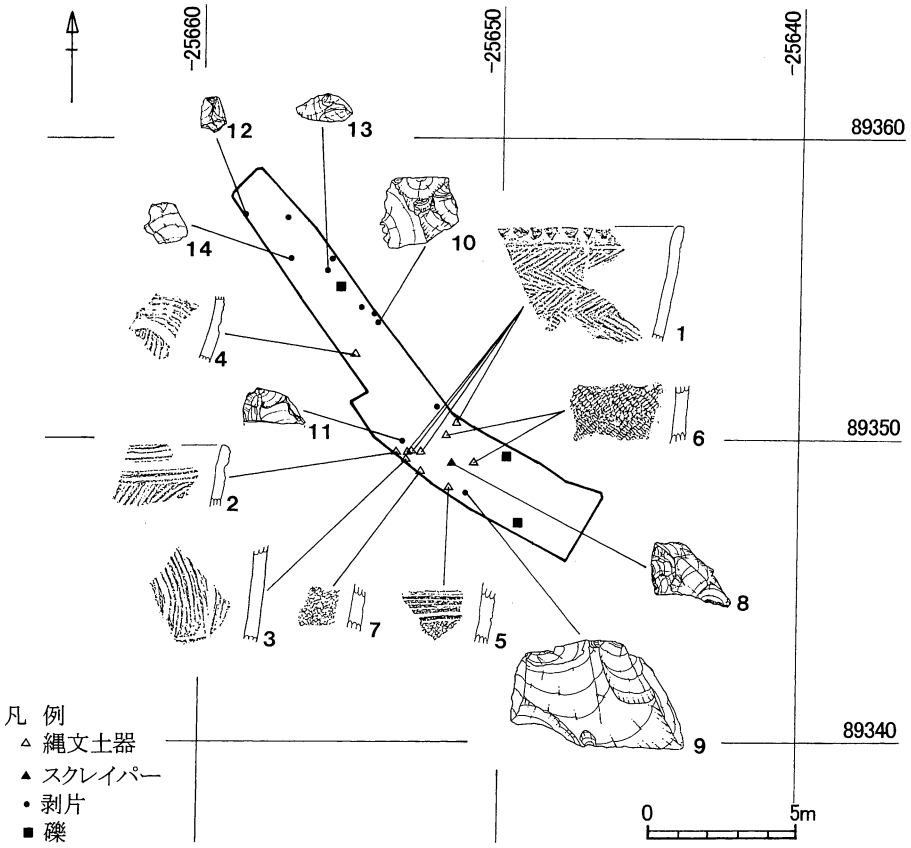


図30　東裏遺跡のトレンチA－5の遺物分布

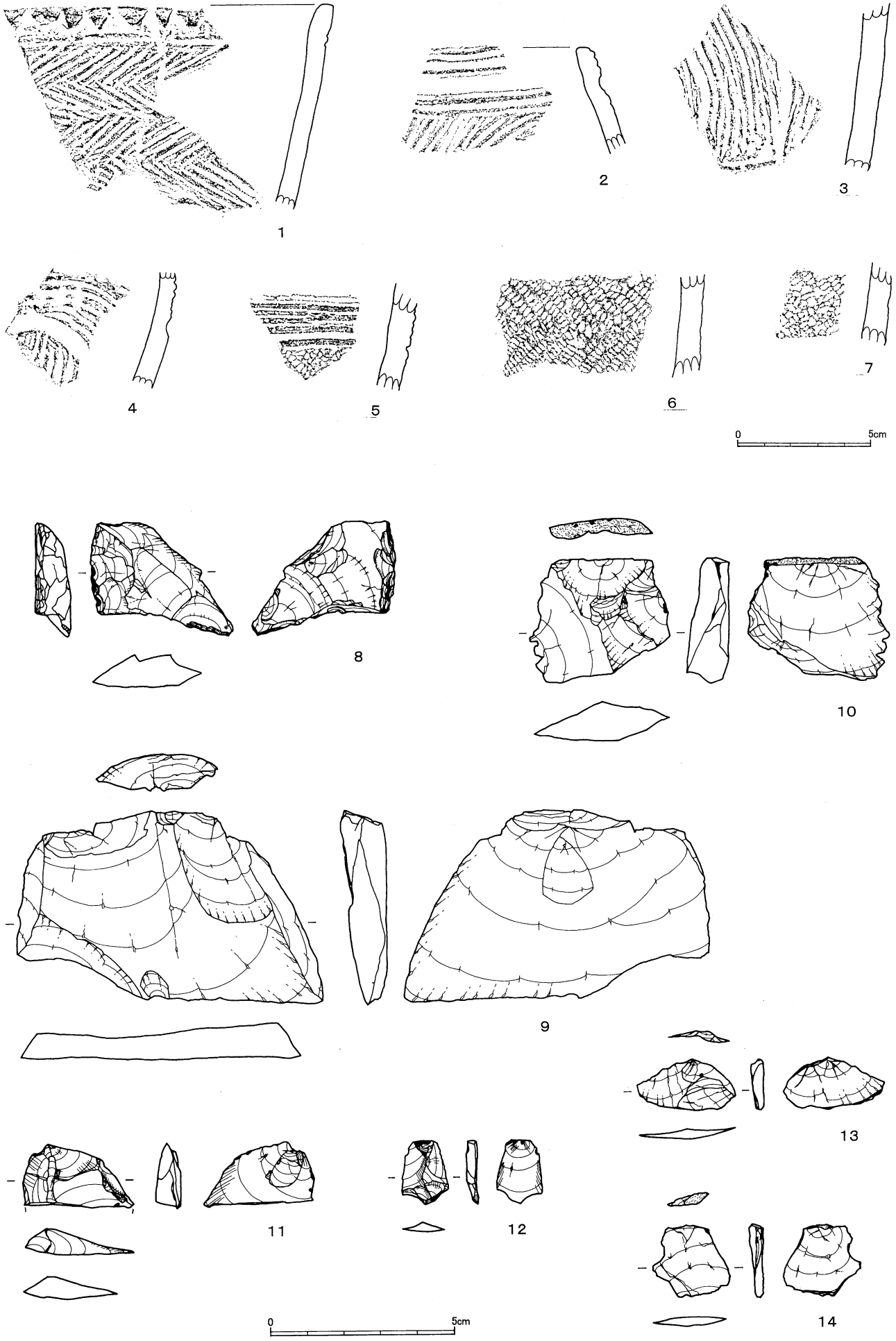


図31　東裏遺跡の主な出土遺物（縄文土器、掻器、剥片）

表7　土器類の観察表

図番号	トレンチ	遺物番号	遺物名	部位	地層	標高(m)	文様	調整	含有物	色調 内面	色調 外面
1	A 5	18	縄文土器	胴	Ⅱ	701.230	三角印刻文、矢羽状沈線文	ミガキ	qt、ho、白、赤、小レキ	にぶい橙	橙
	A 5	19	縄文土器	口縁	Ⅱ	701.219					
	A 5	20	縄文土器	胴	Ⅰ	701.288					
	A 5	23	縄文土器	胴	Ⅱ	701.320					
2	A 5	15	縄文土器	口縁	Ⅱ	701.240	平行沈線文、渦巻文	ミガキ	qt、bt、白、赤、小レキ	橙	橙
3	A 5	17	縄文土器	胴	Ⅱ	701.206	渦巻文	ナデ	qt、ho、白、赤、小レキ	にぶい橙	橙
4	A 5	14	縄文土器	胴	Ⅲ	701.315	渦巻文	ミガキ	qt、白、赤、小レキ	にぶい褐	黒
5	A 5	25	縄文土器	胴	Ⅱ	701.089	平行沈線文、縄文LR	ナデ	qt、ho、白、赤、小レキ	灰黄褐	褐灰
6	A 5	22	縄文土器	胴	Ⅲ	701.294	羽状縄文	ナデ	qt、ho、白、赤、小レキ	にぶい橙	浅黄橙
	A 5	27	縄文土器	胴	Ⅱ	701.340					
7	A 5	21	縄文土器	胴	Ⅱ	701.105	羽状縄文	ナデ	qt、ho、白、赤、小レキ	にぶい黄褐	橙
—	A 5	30	陶器		Ⅰ	700.975					
—	A 1	1	磁器		Ⅲa	685.323	染付				
—	A 1	2	陶器		Ⅲa	685.344					

qt:石英、ho:角閃石、bt:黒雲母、白:白色岩片、赤:赤色岩片、小レキ:小さな礫を表す。

2．出土層位と遺物の分布

遺物は29点出土したが、トレンチA－1から出土した陶器、磁器各1点以外はトレンチA－5から出土した。トレンチA－5ではⅡ層からⅢ層にかけて遺物が出土している。土器と石器の分布は隣接する関係にあり、一部重なっている。

3．遺物

縄文土器は11点出土した。図31の1は平口縁の深鉢形土器の一部と思われる。口縁部に三角印刻文が連続し、矢羽状沈線文が施される。2はキャリパー形の深鉢形土器の口縁部と思われる。口縁部に平行沈線文が施され、その下位に渦巻文が施文されている。3、4は胴部に渦巻文が施されている。5は平行沈線文の下位にLRの縄文が施されている。6、7は胴部に羽状縄文が施文されている。このような文様構成は晴ヶ峯式、鍋屋町式土器に類似性が認められることから縄文時代前期の終末期に位置づけられるものと思われる。石器は12点出土し、7点を図化した。図31の8は掻器で、剥片の縁辺に背面、腹面ともに平坦剥離によって刃部が作り出されている。刃部の調整角は49度である。9は幅広の剥片で、自然面打面を加撃して剥離角110度で剥離されていて、末端は蝶番剥離となっている。10は横長の剥片で、複剥離面打面を加撃し、剥離角112度で剥離されている。11は線打面の残る縦長の剥片で、末端側は欠損する。12は線打面の残る縦長の剥片で、末端部に微細な剥離痕がある。13は横長の剥片で、単剥離面打面を加撃し、剥離角76度で剥離され、末端が蝶番剥離となっている。14は自然面打面を加撃して剥離角79度で剥離され、末端が蝶番剥離となっている剥片である。これらの石器は縄文土器と出土地点が隣接し、一部重なっており、出土層位もほぼ同じことから、縄文土器と同様に縄文時代前期終末期の所産と考えておきたい。

表8　石器の観察表

図番号	トレンチ	遺物番号	遺物名	石材	地層	標高(m)	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)
8	A 5	24	掻器	An	Ⅲ	701.167	2.8	4.1	0.9	8.6
9	A 5	13	剥片	An	Ⅳ	701.338	3.3	3.8	1.2	13.0
10	A 5	26	剥片	An	Ⅲ	700.999	5.2	8.5	1.3	43.0
11	A 5	16	剥片	Ob	Ⅱ	701.263	1.8	3.0	0.6	2.5
12	A 5	10	剥片	Ob	Ⅰ	701.484	1.7	1.3	0.3	0.5
13	A 5	5	剥片	An	Ⅱ	701.572	1.4	2.7	0.6	0.8
14	A 5	12	剥片	An	Ⅱ	701.470	2.0	2.1	0.5	1.2
—	A 5	1	剥片	An	カクラン	701.483	1.4	0.8	0.4	0.5
—	A 5	4	剥片	An	Ⅱ	701.642	1.6	1.2	0.4	0.3
—	A 5	7	剥片	An	Ⅱ	701.664	2.5	3.5	0.7	6.8
—	A 5	8	剥片	An	Ⅲ	701.608	2.3	2.8	1.3	6.2
—	A 5	9	剥片	An	Ⅲ	701.372	3.2	1.5	0.8	2.8

Ⅳ　裏ノ山遺跡（帝石パイプライン地点）

1．調査の概要

裏ノ山遺跡は伊勢見山の南西側に位置する小高い山の山頂を中心に広がる遺跡で、上信越自動車道にともなう調査により後期旧石器時代の遺跡が確認されている（長野県埋蔵文化財センター　2000）。パイプラインの計画ルートに沿って山頂の平坦部分とふもとの緩傾斜地、山の中腹の傾斜地に試掘トレンチを設定し、遺物の出土があった場合は拡張し、遺物の分布を確認した。この地域は一連の調査の中でC地区とし、幅1mのトレンチを7ヶ所設置し、西からC－1～C－7とした。遺物はC－2でいくつか出土したことから、トレンチの長さを約43mまで延長し、調査面積の半分は幅を2mに拡張した（図33）。

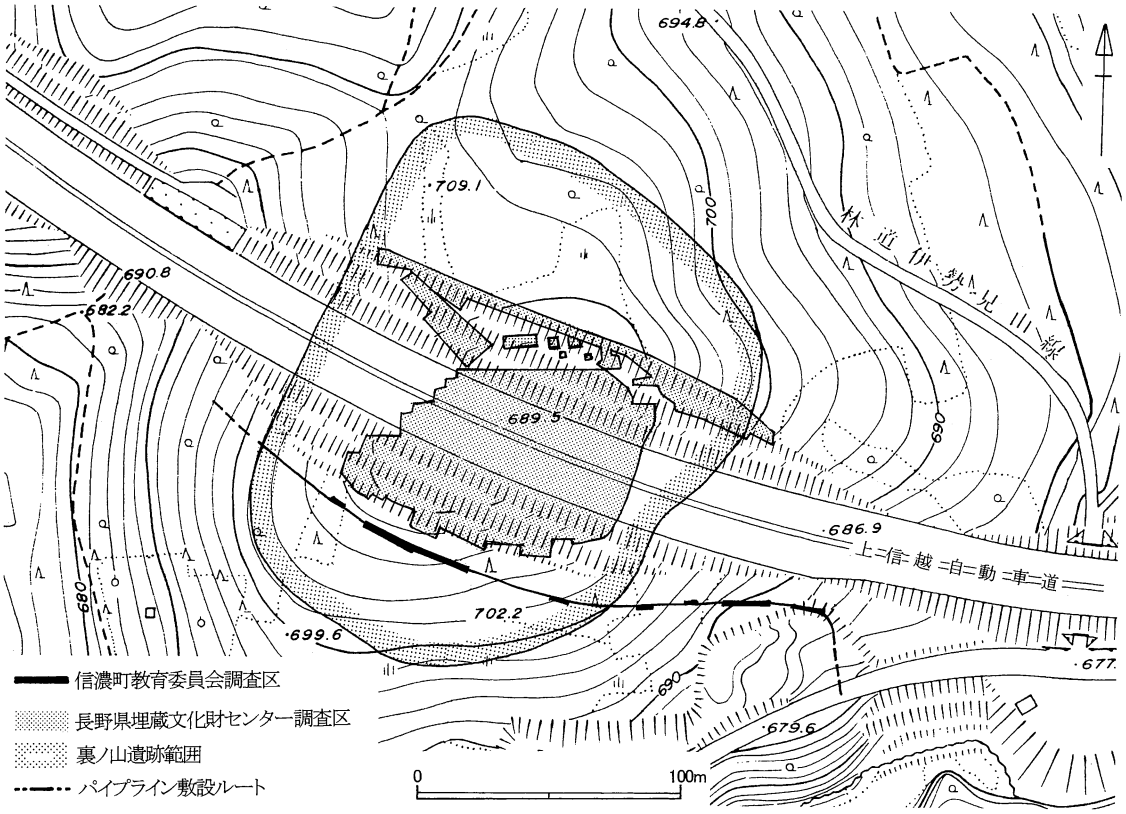


図32　裏ノ山遺跡の範囲と調査地の位置

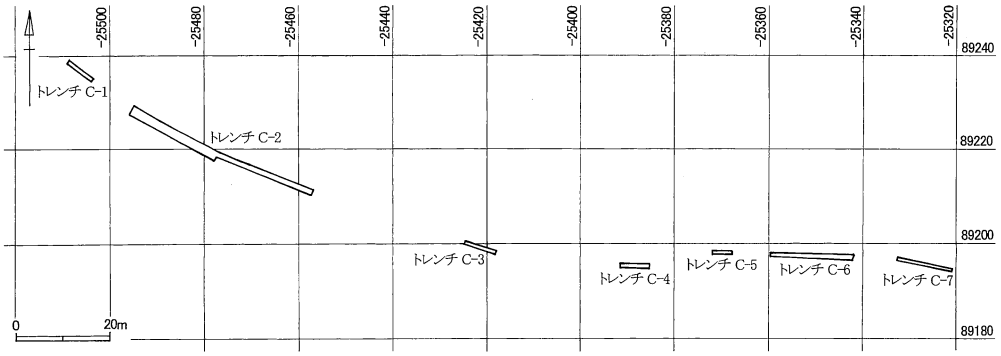


図33　裏ノ山遺跡のトレンチの位置

2．出土層位と遺物の分布

図34の柱状図からよみとれるように、C－2トレンチの中央部周辺（柱状図4）が最も高く、そこから両側へと下る地形となっている。この山頂部周辺のやや平坦な地形では、それぞれの地層は薄いものの、Ⅰ～Ⅵ層までが揃っている。傾斜地では地層の厚さが概して薄くなり、抜けている地層もある。なお、東側斜面はバックホウにより表土を20cm程度剥いだ上で手掘りによる発掘をおこなった。

遺物はトレンチC－2から18点、トレンチC－3、C－6、C－7から各1点が出土した。C－3からは陶器が出土した。C－6、C－7から出土した遺物は粗い安山岩（And）製の石片としたもので、自然にできた礫の可能性が高い。よって、確実な旧石器時代の遺物はトレンチC－2のみの出土である。ここからは剥片14点、礫2点が出土した。時期を特定できる石器は出土しなかった。出土層位ではⅣc層からの出土が多かった。

3．遺物

剥片14点はほとんどが小形で、剥片の内10点がチャートで占めている。図示した4点について以下に記述する。図36の1は剥片で、打点部は残されていない。背面には複数の剥離面が残され、周辺部から中心へ向う剥離痕が残る。2は幅広の剥片で、単剥離面打面を加撃し、剥離角110度で剥離されていて、末端部が折れる。3は縦長の剥片で、単剥離面打面を加撃して剥離角124度で剥離されている。自然面が残り、円礫を素材としていることがわかる。4は縦長の剥片で自然面打面を加撃し、剥離角は102度で剥離されている。右側縁の一部に微細な剥

文献

長野県埋蔵文化財センター　2000　『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書15　裏ノ山遺跡・東裏遺跡・大久保南遺跡・上ノ原遺跡』

中村敦子・中村由克　1994　「信濃町上ノ原遺跡の第2次調査」『第6回長野県旧石器文化研究交流会発表要旨』

中村由克　1992a　「＜速報＞長野県上ノ原遺跡における細石器文化の遺構（Ⅰ）」『考古学ジャーナル』№342

中村由克　1992b　「＜速報＞長野県上ノ原遺跡における細石器文化の遺構（Ⅱ）」『考古学ジャーナル』№344

野尻湖火山灰グループ　1993　「野尻湖の湖底ボーリング試料NJ88の火山灰層」『地団研専報41　中部日本における最終氷期の古環境―野尻湖底ボーリングコア分析―』

野尻湖人類考古グループ　1987　『野尻湖遺跡群の旧石器文化Ⅰ』

野尻湖人類考古グループ　1994　「野尻湖遺跡群における文化層と旧石器文化」『野尻湖博物館研究報告第2号』

野尻湖地質グループ　1990　「野尻湖発掘地とその周辺の地質　その6（1986―1988）」『地団研専報37　野尻湖の発掘5（1987―1989）』

渡辺哲也　1994　「信濃町東裏遺跡の調査」『第6回長野県旧石器文化研究交流会発表要旨』

表10　上ノ原遺跡の出土石器全リスト(1)

図番号	グリッド	遺物番号	枝番	遺物名	石材	母岩	地層	標高	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	接合
54	ⅠS	1 S 2		剥片	Ch	Ch-18	Ⅳa	704.12	2.7	1.9	0.6	2.9	
42	ⅠY	1 Y 3		剥片	TS	TS-3	Ⅴ	705.29	5.6	4.2	1.6	28.5	
	ⅠY	1 Y 4		剥片	An	An-3	Ⅱb	705.87	4.8	3.5	0.7	7.1	
	ⅠY	1 Y 7		剥片	An	An-2	Ⅳa	705.8	1.8	2.0	1.5	2.8	
	ⅠY	1 Y 8		剥片	An	An-5	不明	705.95	3.3	5.3	1.7	27.6	
	ⅠY	1 Y 9		剥片	An	An-2	不明	705.9	4.2	1.0	0.8	3.6	
11	ⅠY	1 Y 10		彫器	An	An-13	Ⅱb	706.17	8.5	4.6	2.0	85.4	
	ⅠY	1 Y 12		剥片	An	An-8	Ⅱ	706.07	2.8	2.4	0.9	4.3	
	ⅠY	1 Y 13		剥片	An	An-3	Ⅳa	706.08	4.2	4.3	0.9	15.0	1Y14
	ⅠY	1 Y 14		剥片	An	An-3	Ⅳa	706.07	2.4	2.5	0.8	4.0	1Y13
	ⅠY	1 Y 15		剥片	Ch	Ch-7	Ⅱ	706.06	0.7	1.3	0.4	0.3	
31	ⅠY	1 Y 16		剥片	An	An-13	Ⅳa	705.79	7.4	5.0	1.1	28.3	
34	ⅠY	1 Y 17		剥片	An	An-11	Ⅳa	705.96	5.1	4.0	1.6	28.1	
29	ⅠY	1 Y 18		剥片	An	An-13	Ⅳa	705.87	7.9	3.8	2.0	55.1	
70	ⅠY	1 Y 19		局部磨製石斧	GT		Ⅳa	705.89	10.5	5.4	2.3	138.6	
	ⅠY	1 Y 20		剥片	An	An-5	Ⅳa	705.9	4.3	4.9	1.6	21.9	
	ⅠY	1 Y 21		剥片	An	An-8	Ⅱb	705.97	1.9	1.6	0.6	1.3	
	ⅠY	1 Y 22		剥片	An	An-9	Ⅳa	705.76	3.8	2.0	1.0	5.4	
	ⅠY	1 Y 23		剥片	An	An-9	Ⅳa	705.86	1.7	2.3	0.7	1.4	
	ⅠY	1 Y 24		剥片	An	An-8	Ⅱb	705.79	3.0	1.7	1.1	3.2	
	ⅠY	1 Y 25		剥片	An	An-9	Ⅱb	705.65	3.2	1.7	0.5	1.6	
	ⅠY	1 Y 26		剥片	An	An-9	Ⅳa	705.54	1.2	1.6	1.0	1.9	
	ⅠY	1 Y 27		石片	And		Ⅴb	704.92	1.8	1.2	0.8	1.5	
24	ⅡU	2 U 1		剥片	Ag	Ag-1	Ⅱb	705.36	4.4	1.7	0.4	3.4	
	ⅡU	2 U 2		剥片	An	An-9	Ⅳb	704.89	4.3	2.4	1.1	8.1	
	ⅡU	2 U 3		剥片	An	An-4	Ⅳa	704.95	4.4	2.2	1.2	6.7	
	ⅡU	2 U 4		剥片	An	An-8	Ⅱb	705.18	2.8	3.3	1.2	7.1	
	ⅡU	2 U 5		剥片	An	An-9	Ⅴ	704.9	1.2	0.8	0.4	0.4	
	ⅡU	2 U 6		剥片	An	An-9	Ⅳb	704.96	1.6	1.0	0.4	0.4	
	ⅡU	2 U 7		剥片	Ob	Ob-6	Ⅳb	704.96	1.2	2.5	0.3	0.5	
	ⅡU	2 U 8		剥片	An	An-1	Ⅴ	704.82	2.9	0.9	1.0	1.7	
	ⅡU	2 U 9		剥片	An	An-8	Ⅴ	704.84	1.2	0.7	0.2	0.1	
	ⅡU	2 U 10		剥片	An	An-9	Ⅴ	704.88	2.5	2.5	0.7	1.5	
	ⅡU	2 U 11		剥片	Ob	Ob-6	Ⅲa	705.12	1.0	2.1	0.5	0.6	
	ⅡU	2 U 12		剥片	An	An-9	Ⅲa	705.17	1.1	1.7	0.4	0.3	
	ⅡU	2 U 13		剥片	An	An-9	Ⅳb	705.02	1.6	1.5	0.6	1.0	
	ⅡU	2 U 14		剥片	An	An-8	Ⅲa	705.1	2.2	1.5	0.2	0.6	
	ⅡU	2 U 15		剥片	An	An-1	Ⅳb	705.02	4.0	4.6	1.6	16.8	
51	ⅡU	2 U 16		剥片	Ch	Ch-3	Ⅳb	705.06	4.3	3.6	1.5	16.3	
	ⅡU	2 U 17		剥片	Tu	Tu-4	Ⅲb	705.37	3.5	2.3	0.7	4.4	
	ⅡU	2 U 19		剥片	An	An-2	Ⅳb	705.14	3.8	5.5	1.7	25.4	
23	ⅡU	2 U 20		剥片	TS	TS-1	Ⅱb	705.37	6.2	3.0	1.2	18.1	
	ⅡU	2 U 21		剥片	An	An-1	Ⅲb	705.25	4.1	1.3	0.9	3.3	
	ⅡU	2 U 22		剥片	Ch	Ch-12	Ⅳb	705.07	1.9	2.8	0.7	2.9	
48	ⅡU	2 U 23		剥片	Ob	Ob-6	Ⅲa	705.37	2.6	3.3	0.6	3.0	
	ⅡU	2 U 25		剥片	Tu	Tu-1	Ⅲa	705.89	2.2	2.1	0.6	1.8	
	ⅡU	2 U 26		剥片	An	An-9	Ⅳa	704.99	1.4	1.4	0.4	0.5	
	ⅡU	2 U 27		剥片	Tu	Tu-7	Ⅳb	704.92	1.1	1.4	0.5	0.5	
	ⅡU	2 U 28		砕片	An	An-9	Ⅳb	704.85	1.0	0.8	0.2	0.1	
	ⅡU	2 U 29		剥片	An	An-9	Ⅳb	704.87	3.0	4.8	1.3	13.0	
	ⅡU	2 U 30		剥片	An	An-9	Ⅳb	704.85	1.6	2.6	0.9	2.5	
	ⅡU	2 U 31		剥片	An	An-8	Ⅳb	704.85	3.2	2.5	0.7	3.8	
	ⅡU	2 U 32		剥片	An	An-9	Ⅳb	704.85	1.1	1.1	0.2	0.2	
	ⅡU	2 U 33		剥片	An	An-7	Ⅳa	704.93	1.9	2.2	0.7	2.2	
	ⅡU	2 U 34		剥片	An	An-2	Ⅳb	704.82	3.0	2.7	1.1	4.5	
	ⅡU	2 U 35		砕片	An	An-9	Ⅳb	704.83	0.8	0.6	0.3	0.1	
	ⅡU	2 U 36		剥片	Rh	Rh-3	Ⅳc	704.77	2.0	2.2	0.7	2.3	
	ⅡU	2 U 37		剥片	Rh	Rh-3	Ⅳc	704.79	2.3	3.7	1.1	4.9	
	ⅡU	2 U 38		剥片	An	An-8	Ⅳb	704.86	2.7	1.6	0.8	1.9	
	ⅡU	2 U 39		剥片	An	An-8	Ⅳc	704.77	1.9	1.9	0.9	1.6	
	ⅡU	2 U 41		剥片	An	An-9	Ⅳc	704.82	1.8	1.4	0.5	0.9	
	ⅡU	2 U 42		剥片	Tu	Tu-6	Ⅳb	704.97	2.7	2.7	1.2	5.0	
	ⅡU	2 U 43		剥片	Rh	Rh-2	Ⅳc	704.77	5.1	4.0	1.5	21.3	
	ⅡU	2 U 44		剥片	Ch	Ch-12	Ⅴa	704.71	2.2	1.6	0.7	2.1	
	ⅡU	2 U 45		剥片	An	An-4	Ⅲa	705.47	3.3	4.1	1.2	13.8	
	ⅡU	2 U 46		剥片	Rh	Rh-1	Ⅴa	704.82	3.6	1.6	0.7	3.1	
	ⅡU	2 U 47		剥片	An	An-4	Ⅴa	704.9	3.3	3.5	0.7	6.6	
	ⅡU	2 U 48		剥片	Ob	Ob-3	Ⅳc	705.04	2.3	1.1	0.8	1.2	
	ⅡU	2 U 49		剥片	Rh	Rh-1	Ⅳc	704.95	1.7	1.6	0.7	1.1	
	ⅡU	2 U 50		剥片	Rh	Rh-2	Ⅴa	704.95	3.1	2.6	1.7	7.0	2U101
61	ⅡU	2 U 51		石核	Ch	Ch-6	Ⅵa	704.82	4.6	3.5	1.6	14.8	
	ⅡU	2 U 52		剥片	An	An-1	Ⅴ	704.96	4.7	4.1	1.2	17.2	
	ⅡU	2 U 53		剥片	Rh	Rh-2	Ⅵa	704.9	2.2	3.8	1.5	7.3	
	ⅡU	2 U 54		剥片	Rh	Rh-1	Ⅴ	704.97	6.3	4.3	1.5	28.1	
	ⅡU	2 U 56		剥片	Rh	Rh-1	Ⅴb	704.88	3.9	4.1	1.6	17.8	
	ⅡU	2 U 57		砕片	Ch	Ch-13	Ⅳc	704.91	0.9	0.5	0.3	0.2	
	ⅡU	2 U 58		剥片	An	An-9	Ⅵa	704.6	2.7	3.7	1.3	8.2	
	ⅡU	2 U 59		剥片	An	An-9	Ⅳc	704.83	1.4	1.0	0.4	0.3	
17	ⅡU	2 U 60		剥片	Ob	Ob-3	Ⅴb	704.52	4.0	3.2	1.3	15.2	2U65
	ⅡU	2 U 61		剥片	An	An-9	Ⅳc	704.79	3.1	2.0	0.7	2.3	
	ⅡU	2 U 62		剥片	An	An-4	Ⅴ	704.67	2.6	1.8	0.7	2.9	
	ⅡU	2 U 63		剥片	Ob	Ob-6	Ⅴ	704.6	2.0	1.8	0.6	1.1	
	ⅡU	2 U 64		剥片	An	An-9	Ⅴ	704.64	1.9	3.4	0.7	1.7	
17	ⅡU	2 U 65		剥片	Ob	Ob-3	Ⅵb	704.46	2.3	2.9	1.1	6.5	2U60
	ⅡU	2 U 66		剥片	An	An-8	Ⅳc	704.8	2.5	2.6	0.7	3.0	
28	ⅡU	2 U 67		剥片	Ob	Ob-6	Ⅴ	704.59	4.6	3.4	0.6	5.9	
	ⅡU	2 U 69		剥片	TS	TS-1	Ⅵa	704.55	1.3	1.8	0.8	1.0	
	ⅡU	2 U 70		剥片	An	An-9	Ⅴa	704.69	3.6	4.1	1.3	9.8	
	ⅡU	2 U 71		剥片	Tu	Tu-5	Ⅴa	704.65	2.1	1.6	0.5	0.8	
	ⅡU	2 U 72		剥片	Tu	Tu-7	Ⅳc	704.76	3.0	2.4	0.6	2.3	2U90
57	ⅡU	2 U 73		剥片	TS	TS-4	Ⅵb	704.47	2.2	2.4	0.7	2.1	
	ⅡU	2 U 74		剥片	An	An-9	Ⅳc	704.74	3.3	5.3	1.0	7.9	
	ⅡU	2 U 75		剥片	An	An-8	Ⅳc	704.74	2.4	2.0	0.8	2.6	
50	ⅡU	2 U 76		剥片	Ch	Ch-4	Ⅴ	704.55	4.5	3.3	1.6	18.2	
	ⅡU	2 U 77		剥片	An	An-9	Ⅵa	704.51	2.2	2.2	0.6	1.8	
	ⅡU	2 U 78		剥片	An	An-9	Ⅳb	704.85	2.5	4.5	1.1	10.6	
	ⅡU	2 U 79		剥片	An	An-9	Ⅵa	704.52	4.1	3.1	1.2	12.9	
	ⅡU	2 U 80		剥片	An	An-9	Ⅵa	704.52	3.7	3.7	1.1	11.2	
	ⅡU	2 U 81		剥片	An	An-9	Ⅴb	704.59	2.7	5.0	1.6	14.4	
	ⅡU	2 U 82		剥片	Tu	Tu-6	Ⅳc	704.77	3.2	4.2	1.4	11.1	
	ⅡU	2 U 83		剥片	Rh	Rh-1	Ⅳc	704.67	2.2	1.7	0.6	1.4	
	ⅡU	2 U 84		剥片	An	An-9	Ⅴa	704.64	1.1	1.4	0.5	0.5	
	ⅡU	2 U 85		剥片	TS	TS-1	Ⅴa	704.62	1.9	1.8	0.5	1.5	
68	ⅡU	2 U 86		剥片	An	An-5	Ⅵa	704.52	6.7	2.6	1.7	23.8	2U94
	ⅡU	2 U 88		石片	And		Ⅴb	704.53	1.5	1.3	0.5	0.9	
	ⅡU	2 U 90		剥片	Tu	Tu-7	Ⅴ	704.59	3.1	2.7	0.9	4.2	2U72
	ⅡU	2 U 92		石片	And		Ⅶa	704.41	1.6	1.3	0.4	0.6	
68	ⅡU	2 U 94		石核	An	An-5	Ⅴb	704.53	4.7	9.6	3.7	118.9	2U86
	ⅡU	2 U 95		剥片	Tu	Tu-14	Ⅴ	704.59	1.7	3.1	1.1	3.3	
14	ⅡU	2 U 96		二次加工のある剥片	Ob	Ob-3	Ⅴ	704.68	7.5	2.1	1.1	11.1	
	ⅡU	2 U 97		剥片	Rh	Rh-2	Ⅴb	704.81	3.4	3.3	1.0	9.2	2U98
	ⅡU	2 U 98		剥片	Rh	Rh-2	Ⅴ	704.92	1.6	2.2	0.9	1.6	2U97
	ⅡU	2 U 100		石核	Rh	Rh-1	Ⅵa	704.82	4.6	6.3	2.2	40.8	
	ⅡU	2 U 101		剥片	Rh	Rh-2	Ⅵa	704.77	3.2	3.8	1.5	11.5	2U50
	ⅡU	2 U 102		剥片	Ob	Ob-2	Ⅴ	704.93	2.2	2.9	1.1	4.4	
71	ⅡU	2 U 103		局部磨製石斧	Se	Se-1	Ⅵa	704.81	8.3	4.7	2.2	88.5	
	ⅡU	2 U 104		剥片	Rh	Rh-1	Ⅴb	704.84	2.8	1.6	0.8	2.8	
	ⅡU	2 U 105		剥片	Ob	Ob-2	Ⅵa	704.79	1.9	1.7	0.8	1.7	
	ⅡU	2 U 106		石核	Rh	Rh-1	Ⅵa	704.85	4.9	4.5	4.2	92.8	
	ⅡU	2 U 108		剥片	An	An-1	Ⅴb	704.9	3.4	5.2	0.9	12.6	2U111
	ⅡU	2 U 109		剥片	Rh	Rh-2	Ⅵa	704.86	1.7	1.8	0.6	1.6	
	ⅡU	2 U 110		剥片(遺物不明)			Ⅴa	705.05					
	ⅡU	2 U 111		剥片	An	An-1	Ⅵa	704.89	4.2	4.9	1.4	20.9	2U108
	ⅡU	2 U 113		剥片	Ob	Ob-2	Ⅵa	704.91	4.8	1.8	1.0	5.3	
	ⅡU	2 U 114		剥片	Rh	Rh-1	Ⅵa	704.89	2.1	2.0	1.1	3.1	
46	ⅡU	2 U 115		剥片	Ob	Ob-4	Ⅵa	704.85	1.8	2.0	0.5	1.3	
	ⅡU	2 U 116		剥片	Rh	Rh-2	Ⅵa	704.91	4.8	5.8	1.6	32.0	
	ⅡU	2 U 117		剥片	Rh	Rh-2	Ⅴb	705	2.9	3.9	1.7	8.3	
	ⅡU	2 U 118		剥片	Rh	Rh-2	Ⅴb	705.04	5.0	6.1	2.4	51.0	
	ⅡU	2 U 119		剥片	An	An-9	Ⅵa	704.49	4.6	5.0	1.3	20.3	
	ⅡU	2 U 120		剥片	Tu	Tu-7	Ⅴ	704.64	2.9	2.2	0.4	2.0	
22	ⅡU	2 U 121		剥片	Tu	Tu-12	Ⅵa	704.47	6.8	3.7	1.5	26.0	
	ⅡU	2 U 122		剥片	Rh	Rh-2	Ⅵb	704.76	2.6	3.2	1.1	6.1	
	ⅡU	2 U 123		剥片	An	An-10	Ⅴa	705.05	2.0	3.5	0.6	3.5	
	ⅡU	2 U 124		剥片	Rh	Rh-2	Ⅵb	704.86	3.3	2.8	1.1	7.9	
	ⅡU	2 U 125		剥片	Tu	Tu-5	Ⅴ	705.35	3.1	2.8	1.0	6.4	
	ⅣA	4 A 2		剥片	Tu	Tu-5	Ⅳa	705.99	1.9	1.8	0.5	1.2	
	ⅣA	4 A 6		剥片	Tu	Tu-2	Ⅳa	705.95	3.8	3.6	1.6	19.1	
	ⅣA	4 A 7		剥片	Ch	Ch-7	Ⅱb	706.28	2.4	2.1	0.6	2.3	
	ⅣA	4 A 8		剥片	Tu	Tu-1	Ⅳa	706.04	2.2	3.8	1.3	8.2	
	ⅣA	4 A 9		剥片	Tu	Tu-4	Ⅳa	706.14	2.2	3.0	1.0	5.5	
	ⅣA	4 A 12		剥片	Tu	Tu-4	Ⅳa	706.13	4.6	1.6	0.9	4.5	
	ⅣA	4 A 13		剥片	Tu	Tu-14	Ⅳa	706.14	4.3	2.5	1.1	8.3	
3	ⅣA	4 A 14		ナイフ形石器	An	An-8	Ⅳa	706.24	5.6	2.1	0.6	6.9	
	ⅣA	4 A 15		剥片	Tu	Tu-9	Ⅲb	706.25	4.0	4.2	1.4	17.0	
	ⅣA	4 A 17		石核	Tu	Tu-9	Ⅳb	706.1	5.2	5.3	2.4	58.8	
19	ⅣA	4 A 18		剥片	TS	TS-2	Ⅳc	706.06	7.1	3.3	1.9	30.3	
	ⅣA	4 A 19		剥片	Tu	Tu-2	Ⅳa	706.17	5.4	6.4	2.2	48.2	4B291
	ⅣA	4 A 25		剥片(遺物不明)			Ⅳa	706.23					
25	ⅣA	4 A 27		剥片	Tu	Tu-5	Ⅲa	706.38	4.6	1.4	0.5	3.0	
	ⅣA	4 A 28		石片	And		Ⅳa	706.22	2.8	1.2	0.7	3.1	
	ⅣA	4 A 30		剥片	Ch	Ch-10	Ⅴ	706.21	0.8	1.6	0.5	0.5	
	ⅣA	4 A 31		石核	Ch	Ch-16	Ⅳc	706.25	2.5	2.6	1.6	7.9	
	ⅣA	4 A 32		剥片	Ch	Ch-9	Ⅵb	706.15	1.7	0.8	0.6	0.5	
	ⅣA	4 A 33		剥片	An	An-12	Ⅵb	706.16	1.2	1.4	0.5	0.6	
	ⅣA	4 A 34		剥片	Ch	Ch-16	Ⅵa	706.21	1.4	1.3	0.6	1.0	
	ⅣA	4 A 35		剥片	Ch	Ch-17	Ⅳa	706.42	1.5	1.8	0.6	1.1	
	ⅣA	4 A 36		剥片	An	An-9	Ⅲa	706.51	2.0	2.9	0.8	2.7	
	ⅣA	4 A 37		剥片	Ch	Ch-17	Ⅳa	706.43	2.3	1.4	0.5	1.0	
	ⅣA	4 A 38		剥片	Ch	Ch-3	Ⅳa	706.47	1.3	1.8	0.8	1.1	
	ⅣA	4 A 39		剥片	Ch	Ch-16	Ⅳa	706.43	1.9	2.1	0.7	2.3	
	ⅣA	4 A 40		剥片	Ch	Ch-7	Ⅳa	706.5	2.1	2.0	0.8	2.3	
	ⅣA	4 A 41		剥片	Ch	Ch-5	Ⅳa	706.43	2.5	3.1	1.2	7.9	
27	ⅣA	4 A 42		剥片	Tu	Tu-14	Ⅱa	706.15	3.1	2.1	0.5	2.8	
	ⅣA	4 A 44		剥片	Tu	Tu-11	Ⅳb	705.91	2.9	3.1	0.6	3.2	
	ⅣA	4 A 45		剥片	Tu	Tu-5	Ⅳb	705.92	4.0	2.5	0.3	2.8	
	ⅣA	4 A 46		剥片	Tu	Tu-5	Ⅲa	706.2	2.0	1.6	0.7	1.5	
	ⅣA	4 A 47		剥片	Tu	Tu-1	Ⅳc	705.97	1.3	2.2	0.3	0.6	
	ⅣA	4 A 48		剥片	Tu	Tu-14	Ⅳc	705.87	1.0	1.3	0.4	0.4	
	ⅣA	4 A 51		剥片	Tu	Tu-1	Ⅱb	706.21	0.5	3.9	1.0	5.9	
	ⅣA	4 A 53		剥片	Tu	Tu-1	Ⅳb	706.02	3.4	3.3	1.0	9.1	
	ⅣA	4 A 54		剥片	Tu	Tu-1	Ⅱb	706.31	4.1	2.8	1.1	9.4	
	ⅣA	4 A 55		剥片	Tu	Tu-10	Ⅳb	706.04	3.8	4.8	1.8	18.5	
	ⅣA	4 A 57		剥片	Tu	Tu-9	Ⅳb	706.01	3.4	2.7	1.1	9.5	
	ⅣA	4 A 58		剥片(遺物不明)			Ⅳc	706.1					
	ⅣA	4 A 59		剥片	Tu	Tu-1	Ⅲb	705.94	2.7	3.5	1.6	9.3	
	ⅣA	4 A 60		剥片	Ch	Ch-15	Ⅳb	706.31	3.1	2.6	1.6	13.2	
	ⅣB	4 B 1		剥片	Ch	Ch-4	Ⅴ	706.22	1.5	1.2	0.5	0.8	
	ⅣB	4 B 2		剥片	An	An-11	Ⅴ	706.22	1.7	1.9	0.7	1.9	
	ⅣB	4 B 3		剥片	Ch	Ch-20	Ⅴ	706.18	1.8	2.2	0.7	1.6	
	ⅣB	4 B 4		剥片	Ch	Ch-7	Ⅴ	706.19	0.8	1.9	0.6	1.1	
	ⅣB	4 B 5		剥片	Ch	Ch-5	Ⅴ	706.18	3.0	2.7	0.9	5.7	
	ⅣB	4 B 6		剥片	Ch	Ch-9	Ⅴ	706.16	1.2	1.8	0.5	0.8	
	ⅣB	4 B 7		剥片	Ch	Ch-5	Ⅴ	706.18	1.8	1.2	0.7	1.4	
	ⅣB	4 B 9		剥片	Ch	Ch-15	Ⅴ	706.19	0.9	2.3	0.7	1.4	
	ⅣB	4 B 10		剥片	Ch	Ch-16	Ⅳb	706.33	2.3	1.3	0.6	1.6	
	ⅣB	4 B 11		剥片	Ch	Ch-11	Ⅴ	706.24	2.1	2.1	0.7	3.7	
	ⅣB	4 B 12		剥片	Ch	Ch-3	Ⅳb	706.35	1.7	3.0	0.9	3.8	
	ⅣB	4 B 13		剥片	Ch	Ch-20	Ⅴ	706.21	3.2	3.4	1.5	14.6	4B93
	ⅣB	4 B 14		剥片	Ch	Ch-17	Ⅱ	706.58	1.5	0.9	0.5	0.5	
	ⅣB	4 B 15		剥片	Ch	Ch-7	Ⅱ	706.59	1.5	1.7	0.8	2.2	
	ⅣB	4 B 16		剥片	Ch	Ch-7	Ⅳc	706.33	1.1	2.6	0.9	1.3	
	ⅣB	4 B 17		剥片	Ch	Ch-3	Ⅳb	706.42	1.2	1.8	0.5	0.6	
	ⅣB	4 B 18		剥片	Ch	Ch-17	Ⅲb	706.51	1.6	2.3	0.7	1.7	
	ⅣB	4 B 19		剥片	Ch	Ch-19	Ⅲb	706.53	1.3	2.6	0.5	1.5	
	ⅣB	4 B 20		剥片	Ch	Ch-11	Ⅴ	706.27	2.2	2.1	0.7	2.0	
	ⅣB	4 B 21		剥片	An	An-10	Ⅳb	706.28	1.9	2.2	0.7	2.8	
	ⅣB	4 B 22		剥片	An	An-11	Ⅳa	706.36	1.7	2.3	0.8	1.9	

表11　上ノ原遺跡の出土石器全リスト(2)

図番号	グリッド	遺物番号	枝番	遺物名	石材	母岩	地層	標高	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	接合
	IVB	4 B 23		剥片	An	An-11	IVa	706.48	1.5	2.2	0.7	1.0	
	IVB	4 B 24	1	剥片	Ch	Ch-7	IVb	706.47	1.4	0.9	0.4	0.4	
	IVB	24	2	剥片	Ch	Ch-7	IVb	706.47	1.4	0.8	0.3	0.4	
12	IVB	4 B 25	1	二次加工のある剥片	Tu	Tu-10	IVb	706.42	4.5	1.7	0.9	5.5	
	IVB	25	2	剥片	Ch	Ch-17	IVb	706.42	2.1	2.6	1.0	2.8	
	IVB	4 B 26		剥片	Ch	Ch-15	IVb	706.4	2.5	1.4	1.0	3.3	
	IVB	4 B 27		剥片	Ch	Ch-15	IVb	706.37	2.9	2.3	1.5	6.1	
	IVB	4 B 28		剥片	Ch	Ch-20	IVb	706.38	2.0	2.0	0.9	2.1	
	IVB	4 B 29		砕片	An	An-12	IVb	706.38	0.6	0.7	0.2	0.1	
	IVB	4 B 30		剥片	Ch	Ch-3	IIIb	706.59	1.9	2.1	0.7	0.9	
	IVB	4 B 31		砕片(遺物不明)			V	706.25					
	IVB	4 B 32		剥片	Ch	Ch-3	IVc	706.3	1.7	1.4	0.5	0.8	
	IVB	4 B 33		剥片	An	An-11	IVc	706.3	1.6	1.8	0.4	0.7	
	IVB	4 B 34		剥片	Ch	Ch-20	IIIb	706.54	1.1	1.7	0.6	0.5	
	IVB	4 B 35		剥片	Ch	Ch-9	IVb	706.43	1.0	2.0	0.6	0.9	
	IVB	4 B 36		剥片	Ch	Ch-9	IVb	706.43	1.6	0.8	0.3	0.2	
64	IVB	4 B 37		石核	Ch	Ch-9	IVb	706.45	3.0	3.3	2.7	28.6	
	IVB	4 B 38		剥片	Ch	Ch-2	IVc	706.31	2.2	2.1	1.6	6.3	
	IVB	4 B 39		剥片	Ch	Ch-15	IVb	706.36	2.2	2.8	1.5	7.9	
	IVB	4 B 40		剥片	Ch	Ch-15	IVc	706.32	2.4	1.8	1.0	2.0	
	IVB	4 B 41		剥片	Ch	Ch-12	V	706.26	2.6	2.0	0.7	3.1	
	IVB	4 B 42		剥片	Ch	Ch-20	IIIb	706.53	2.1	2.7	0.6	2.8	
	IVB	4 B 43		剥片	Ch	Ch-18	IVc	706.26	1.9	2.0	1.0	1.6	
	IVB	4 B 44		剥片	Ch	Ch-16	IVc	706.3	2.2	1.3	1.2	2.2	
	IVB	4 B 45		剥片	An	An-12	V	706.26	2.1	3.5	1.1	4.3	
	IVB	4 B 46		剥片	Ch	Ch-3	V	706.24	1.7	1.1	0.5	0.6	
	IVB	4 B 47		剥片	Ch	Ch-11	V	706.27	1.3	1.3	0.4	0.5	
	IVB	4 B 48		剥片	Ch	Ch-18	IVa	706.5	1.4	2.2	1.7	4.6	
	IVB	4 B 49		剥片	Ch	Ch-17	IVa	706.51	2.1	1.8	0.8	2.3	
	IVB	4 B 50		剥片	Ch	Ch-8	IVa	706.5	0.7	1.4	0.4	0.2	
	IVB	4 B 51		剥片	Ch	Ch-18	IVa	706.51	2.5	3.0	0.9	5.7	
	IVB	4 B 52		剥片	Ch	Ch-18	IVa	706.53	2.0	1.4	0.4	1.0	
	IVB	4 B 53		剥片	Ch	Ch-2	IVa	706.5	2.8	2.3	1.5	9.6	
	IVB	4 B 54		剥片	An	An-11	IVa	706.52	1.6	1.1	0.4	0.5	
	IVB	4 B 55		剥片	Ch	Ch-2	IVa	706.51	1.8	1.1	0.7	1.1	
	IVB	4 B 56		剥片	Ch	Ch-17	IVa	706.5	1.5	2.0	0.6	1.2	
	IVB	4 B 57		剥片	Ch	Ch-3	IVa	706.51	1.5	1.8	0.7	1.5	
	IVB	4 B 58		剥片	Ch	Ch-17	V	706.26	1.6	1.6	0.5	0.7	
	IVB	4 B 59		剥片	Ch	Ch-17	IVc	706.37	2.6	2.0	1.0	3.3	
	IVB	4 B 60		剥片	Ch	Ch-13	IVa	706.52	1.6	1.8	0.6	1.4	
	IVB	4 B 61		剥片	Ch	Ch-16	IIb	706.68	1.5	1.5	0.5	0.8	
	IVB	4 B 62		剥片	An	An-11	IVc	706.32	1.0	1.2	0.5	0.4	
52	IVB	4 B 63		剥片	Ch	Ch-8	V	706.3	3.3	2.3	0.7	4.0	
	IVB	4 B 64		剥片	Ch	Ch-16	V	706.3	1.5	1.4	0.4	0.7	
	IVB	4 B 65		剥片	Ch	Ch-18	V	706.29	1.4	1.5	0.7	0.9	
	IVB	4 B 66		石核	Ch	Ch-16	IVc	706.36	3.0	3.3	2.2	22.5	
	IVB	4 B 67		剥片	An	An-11	IVc	706.36	1.7	2.7	0.9	2.3	
	IVB	4 B 68		石核	Ch	Ch-8	IVb	706.4	2.9	3.8	2.0	13.6	4B287
	IVB	4 B 69		剥片	An	An-7	V	706.24	4.3	2.8	1.1	12.3	
	IVB	4 B 70		剥片	Ch	Ch-16	IVa	706.48	1.6	0.8	0.6	0.5	
	IVB	4 B 71		剥片	Ch	Ch-17	IVa	706.5	1.8	2.0	1.3	2.6	
	IVB	4 B 72		剥片	An	An-11	IVa	706.49	3.9	4.0	1.7	14.4	
	IVB	4 B 73		剥片	Ch	Ch-16	V	706.26	1.7	0.7	0.5	0.4	
	IVB	4 B 74		剥片	Ch	Ch-8	IVc	706.33	2.1	2.5	0.9	3.3	
	IVB	4 B 75		剥片	Ch	Ch-18	IVc	706.39	2.8	2.3	0.8	1.9	
	IVB	4 B 76		剥片	Ch	Ch-17	IIIb	706.55	1.2	2.0	0.7	0.9	
	IVB	4 B 77		剥片	Ch	Ch-18	V	706.3	1.8	1.6	1.0	1.9	
	IVB	4 B 78		剥片	Ch	Ch-9	IVa	706.52	2.2	3.1	1.3	5.9	
	IVB	4 B 79		剥片	Ch	Ch-17	IVb	706.45	2.6	2.6	1.0	3.5	
	IVB	4 B 80		剥片	Ch	Ch-17	IIIa	706.64	1.3	1.4	0.5	0.6	
	IVB	4 B 81		剥片	Ch	Ch-17	IVa	706.53	1.7	2.2	1.2	2.9	
16	IVB	4 B 82		二次加工のある剥片	An	An-13	V	706.27	5.3	4.6	1.2	26.8	
	IVB	4 B 83		剥片	Ch	Ch-7	IIIa	706.62	1.5	2.7	0.7	2.3	
	IVB	4 B 84		剥片	An	An-7	IVa	706.53	1.8	1.9	0.9	2.3	
	IVB	4 B 85		剥片	Ch	Ch-7	V	706.42	2.9	3.0	1.2	5.0	
	IVB	4 B 86		剥片	Ch	Ch-9	V	706.3	2.2	2.4	0.9	3.6	
	IVB	4 B 87		剥片	Ch	Ch-17	IIb	706.29	2.7	2.6	1.4	6.2	
	IVB	4 B 88		剥片	An	An-9	IIIb	706.71	1.6	2.7	0.7	3.7	
	IVB	4 B 89		剥片	Ch	Ch-14	IVc	706.61	1.0	1.0	0.3	0.2	
55	IVB	4 B 90		剥片	Ch	Ch-7	IVb	706.41	2.4	3.0	0.6	3.7	
	IVB	4 B 91		剥片	An	An-11	IVa	706.54	3.2	3.4	1.0	7.0	
	IVB	4 B 92		剥片	Ch	Ch-16	IVb	706.41	1.8	0.8	0.5	0.7	
	IVB	4 B 93		剥片	Ch	Ch-20	V	706.3	3.4	3.2	1.2	13.1	4B13
	IVB	4 B 94		剥片	Ch	Ch-15	V	706.25	1.0	1.2	0.2	0.2	
	IVB	4 B 95		剥片	Ch	Ch-9	IVa	706.43	1.2	0.7	0.6	0.4	
	IVB	4 B 96		剥片	Ch	Ch-18	IVa	706.47	2.2	2.4	1.0	5.5	
	IVB	4 B 97		剥片	Ch	Ch-11	IVa	706.5	1.9	2.1	0.9	2.2	
2	IVB	4 B 98		剥片	Ob	Ob-6	IIb	706.69	2.5	1.5	0.7	1.5	
	IVB	4 B 99		剥片	An	An-11	IIIb	706.62	3.3	1.8	1.9	5.2	
	IVB	4 B 100		剥片	Ob	Ob-2	IVa	706.67	1.6	1.2	0.7	1.1	
	IVB	4 B 101		石核	Ch	Ch-20	IVb	706.61	2.6	3.2	1.9	13.5	
	IVB	4 B 102		剥片	An	An-4	IIIb	706.75	1.3	1.3	0.4	0.4	
	IVB	4 B 103		剥片	Ob	Ob-4	IIb	706.82	1.7	1.2	0.5	0.4	
	IVB	4 B 104		剥片	Ch	Ch-8	IVc	706.57	2.1	2.2	0.8	3.8	
	IVB	4 B 105		剥片	Ch	Ch-3	IVa	706.72	1.6	1.7	1.0	1.9	
	IVB	4 B 106		剥片	Ch	Ch-8	IVb	706.58	2.4	2.6	0.9	2.9	
	IVB	4 B 107		剥片	Ch	Ch-18	IIb	706.8	2.1	3.0	0.8	2.4	
	IVB	4 B 108		剥片	Ob	Ob-2	IIb	706.78	1.7	1.8	0.8	1.7	
	IVB	4 B 109		剥片	An	An-1	IIIa	706.76	2.2	1.9	0.8	2.3	
	IVB	4 B 110		剥片	An	An-4	IIIb	706.72	2.1	1.7	0.8	1.3	
	IVB	4 B 111		剥片	Ch	Ch-18	IIb	706.82	2.7	2.6	1.8	13.4	
	IVB	4 B 112		剥片	An	An-1	IIb	706.82	1.8	2.4	0.8	1.4	
	IVB	4 B 113		剥片	Tu	Tu-13	IVb	706.58	1.5	1.5	0.7	1.2	
	IVB	4 B 114		剥片	Ch	Ch-7	IVa	706.65	2.9	2.9	1.4	7.0	
	IVB	4 B 115		剥片	Ob	Ob-2	IVa	706.73	1.8	1.7	0.3	0.9	
	IVB	4 B 116		剥片	An	An-14	IVc	706.62	4.1	4.6	1.4	12.9	
	IVB	4 B 117		剥片	An	An-4	IVa	706.68	2.2	1.2	0.6	1.3	
	IVB	4 B 118		砕片	Ob	Ob-4	IIIb	706.85	0.6	1.0	0.2	0.1	
10	IVB	4 B 119		彫器	An	An-3	IIIb	706.85	5.5	4.6	2.2	45.0	
40	IVB	4 B 121		剥片	Tu	Tu-13	IIb	706.86	1.8	3.7	0.6	2.7	
	IVB	4 B 123		剥片	Ob	Ob-3	IVb	706.67	1.2	1.0	0.3	0.3	
67	IVB	4 B 125		石核	An	An-3	IIIa	706.87	3.5	6.1	1.9	29.4	
41	IVB	4 B 126		剥片	An	An-4	IIIa	706.8	2.0	3.0	0.4	1.9	
20	IVB	4 B 127		剥片	Tu	Tu-11	IIIa	706.87	6.8	2.9	1.0	17.2	
	IVB	4 B 128		剥片	An	An-2	IIIa	706.83	1.7	2.4	0.6	1.6	
	IVB	4 B 131		剥片	An	An-11	IVc	706.62	1.7	2.1	1.1	1.7	
	IVB	4 B 132		剥片	Tu	Tu-4	IIIa	706.86	6.3	3.7	2.0	40.5	
	IVB	4 B 133		剥片	An	An-4	IVc	706.66	2.1	1.8	0.8	2.1	
60	IVB	4 B 136		石核	Tu	Tu-4	IVa	706.79	5.7	6.5	2.8	109.1	
26	IVB	4 B 137		剥片	An	An-2	IVb	706.69	4.1	1.4	0.7	3.8	
	IVB	4 B 138		剥片	Ob	Ob-5	IIIb	706.91	1.8	1.4	0.4	0.5	
	IVB	4 B 139		剥片	Tu	Tu-11	IVa	706.85	2.5	1.7	0.7	2.6	
	IVB	4 B 140		剥片	Tu	Tu-14	IVa	706.96	2.9	3.4	0.6	3.8	
	IVB	4 B 141		剥片	Ch	Ch-15	V	706.25	1.5	1.3	0.7	1.1	
	IVB	4 B 142		砕片	Ch	Ch-17	VIa	706.2	1.7	1.6	0.5	1.0	
	IVB	4 B 143		剥片	Ch	Ch-16	VIa	706.24	1.2	1.8	0.5	1.0	
	IVB	4 B 144		剥片	Ch	Ch-7	VIa	706.24	2.9	1.4	0.5	1.6	
	IVB	4 B 145		砕片	An	An-13	VIa	706.25	1.0	1.0	0.4	0.4	
	IVB	4 B 146		剥片	Ch	Ch-17	VIa	706.25	1.4	1.6	0.5	0.9	
	IVB	4 B 147		砕片	Ch	Ch-20	VIa	706.27	1.6	1.7	0.7	1.0	
	IVB	4 B 148		剥片	Ch	Ch-9	IVb	706.38	1.5	1.6	0.4	0.3	
	IVB	4 B 149		剥片	Ch	Ch-11	IVa	706.56	2.3	1.6	0.8	2.2	
	IVB	4 B 150		剥片	Ch	Ch-11	V	706.28	3.1	1.3	0.7	1.4	
	IVB	4 B 151		剥片	An	An-11	IVb	706.41	2.1	3.9	1.0	5.1	
	IVB	4 B 152		剥片	Ob	Ob-3	IIIb	706.67	1.3	1.6	1.0	1.3	
	IVB	4 B 153		剥片	Tu	Tu-8	IIIb	706.73	2.6	1.7	1.2	3.2	
	IVB	4 B 154		剥片	Tu	Tu-1	IVa	706.67	1.7	2.6	0.6	1.5	
	IVB	4 B 155		剥片	Rh	Rh-3	IVa	706.67	1.3	1.2	0.5	0.5	
5	IVB	4 B 156		掻器	An	An-3	IIIb	706.85	6.2	5.8	1.5	48.5	
	IVB	4 B 157		剥片	An	An-2	IVc	706.58	1.4	1.0	0.5	0.5	
	IVB	4 B 158		剥片	Tu	Tu-3	IIIb	706.79	3.5	4.6	1.0	9.0	
	IVB	4 B 160		剥片	Ch	Ch-11	IIIb	706.41	0.6	1.8	0.7	0.5	
	IVB	4 B 161		剥片	Ch	Ch-3	II	706.77	1.7	3.2	1.0	4.7	
	IVB	4 B 162		剥片	Ch	Ch-16	IVa	706.4	1.7	1.4	0.6	0.6	
18	IVB	4 B 163		剥片	Tu	Tu-11	IVa	706.31	6.7	3.2	1.3	21.6	
	IVB	4 B 164		剥片	An	An-12	IVa	706.39	2.4	1.1	0.8	1.5	
	IVB	4 B 165		剥片	Ch	Ch-7	IVb	706.36	1.5	2.1	1.0	2.1	
	IVB	4 B 166		石片	Tu		V	706.13	2.2	2.6	1.4	7.0	
	IVB	4 B 168		剥片	Ch	Ch-17	VIa	706.21	2.0	1.9	1.0	2.0	
	IVB	4 B 169		剥片	Ch	Ch-6	IVc	706.32	1.1	1.7	1.0	1.4	
	IVB	4 B 170		剥片	An	An-11	IIIb	706.52	3.2	0.7	0.9	1.2	
	IVB	4 B 171		剥片	Ch	Ch-10	IVc	706.32	1.4	0.9	0.2	0.2	
	IVB	4 B 173		剥片	An	An-11	IVa	706.4	1.8	4.1	1.0	7.4	
	IVB	4 B 174		剥片	An	An-2	IVa	706.42	1.7	1.3	0.6	0.8	
	IVB	4 B 175		剥片	Ch	Ch-2	IIIb	706.55	1.9	2.8	1.0	2.7	
8	IVB	4 B 176		掻器	Ch	Ch-10	V	706.29	1.9	2.3	0.8	2.7	
	IVB	4 B 177		砕片	An	An-11	IVa	706.43	0.8	1.3	0.3	0.2	
	IVB	4 B 178		剥片	Ch	Ch-12	VIa	706.15	1.9	1.6	0.5	1.0	
	IVB	4 B 179		剥片	Ch	Ch-1	IVc	706.24	1.5	3.2	1.1	4.3	
	IVB	4 B 180		剥片	Ch	Ch-7	IVc	706.26	1.4	1.5	0.3	0.3	
	IVB	4 B 181		剥片	Ch	Ch-7	IVc	706.24	2.5	2.0	0.8	3.2	
	IVB	4 B 182		剥片	Ch	Ch-11	IVc	706.27	2.2	1.7	0.6	1.9	
	IVB	4 B 183		剥片	Ch	Ch-9	IVc	706.27	1.4	1.6	0.3	0.6	
	IVB	4 B 184		剥片	Ch	Ch-7	IVc	706.26	2.8	2.9	1.2	7.8	
	IVB	4 B 185		剥片	Ch	Ch-9	VIa	706.19	1.4	1.8	0.6	0.9	
	IVB	4 B 186		剥片	An	An-10	V	706.17	4.0	4.2	0.8	13.0	
	IVB	4 B 187		剥片	Ch	Ch-17	V	706.22	1.7	2.0	0.9	1.1	
	IVB	4 B 188		剥片	An	An-10	V	706.24	5.5	3.6	1.8	28.9	
56	IVB	4 B 189		剥片	Ch	Ch-11	IVa	706.39	1.8	2.1	0.5	1.8	
	IVB	4 B 191		剥片	An	An-8	IIb	706.62	3.3	2.8	1.2	7.9	
65	IVB	4 B 192		石核	Ch	Ch-17	IIIa	706.58	3.2	3.0	1.7	21.1	
	IVB	4 B 193		剥片	An	An-10	IIIb	706.55	0.7	2.6	0.2	0.3	
	IVB	4 B 195		剥片	Ch	Ch-7	IVa	706.5	1.2	1.0	0.2	0.2	
	IVB	4 B 196		剥片	Ch	Ch-8	V	706.27	2.6	1.5	0.4	0.8	
	IVB	4 B 197		剥片	Ch	Ch-19	IVb	706.44	2.1	1.9	1.4	4.3	
	IVB	4 B 198		剥片	An	An-12	V	706.27	1.4	1.2	0.5	0.5	
	IVB	4 B 199		剥片	Ch	Ch-11	IVb	706.42	1.5	2.0	0.5	1.0	
	IVB	4 B 200		砕片	Ch	Ch-7	IVb	706.4	1.1	0.7	0.3	0.2	
	IVB	4 B 201		剥片	An	An-12	V	706.25	1.0	1.3	0.7	0.7	
	IVB	4 B 202		剥片	An	An-12	IVb	706.34	2.3	3.4	0.8	3.6	
62	IVB	4 B 203		石核	Ch	Ch-7	IVb	706.37	2.7	4.4	3.3	32.7	
	IVB	4 B 204		石核	Ch	Ch-16	IVc	706.28	3.0	4.5	1.8	19.7	
	IVB	4 B 205		剥片	An	An-12	V	706.19	2.1	2.1	0.6	1.3	
59	IVB	4 B 206		剥片	Ch	Ch-2	V	706.2	1.9	2.2	0.5	1.9	
	IVB	4 B 207		剥片	Ch	Ch-11	IVc	706.32	1.3	2.4	0.9	1.8	
	IVB	4 B 208		剥片	An	An-12	IVb	706.34	1.6	1.1	0.5	0.9	
	IVB	4 B 209		剥片	An	An-14	IVb	706.3	1.4	3.2	1.2	4.7	
	IVB	4 B 210		剥片	Ch	Ch-12	V	706.22	2.2	2.0	0.7	2.2	
	IVB	4 B 211		剥片	Ch	Ch-2	V	706.29	1.6	0.7	0.5	0.4	
	IVB	4 B 212		剥片	Ch	Ch-2	IVa	706.54	1.7	1.5	0.4	0.9	
	IVB	4 B 213		剥片	Ch	Ch-3	V	706.3	2.4	1.4	0.8	2.1	
	IVB	4 B 214		剥片	Ch	Ch-2	V	706.29	1.3	1.3	0.6	0.8	
	IVB	4 B 215		剥片	An	An-10	V	706.25	2.3	2.7	1.2	7.3	
	IVB	4 B 216		剥片	Ob	Ob-3	IIIa	706.64	1.9	1.4	0.8	1.4	
	IVB	4 B 217		剥片	Ch	Ch-17	IVb	706.46	1.9	2.2	0.7	2.1	
58	IVB	4 B 218		剥片	Ch	Ch-9	IVb	706.42	2.9	3.9	1.0	10.9	
	IVB	4 B 219		剥片	An	An-12	V	706.28	1.8	1.2	0.5	0.8	
	IVB	4 B 220		剥片	An	An-11	IIIa	706.64	1.7	1.6	0.5	0.9	
	IVB	4 B 221		剥片	An	An-11	IIIb	706.6	2.1	3.1	1.1	4.3	
33	IVB	4 B 222		剥片	An	An-13	V	706.35	5.0	4.6	1.0	19.7	
30	IVB	4 B 223		剥片	An	An-13	V	706.37	6.3	3.7	1.3	16.7	
	IVB	4 B 224		剥片	Ch	Ch-7	IVb	706.43	2.2	2.3	1.1	3.6	
	IVB	4 B 225		剥片	An	An-6	IVc	706.34	2.9	2.5	0.9	4.2	
	IVB	4 B 226		剥片	An	An-12	V	706.27	1.4	2.1	0.6	1.2	
	IVB	4 B 230		剥片	An	An-12	V	706.3	1.7	1.4	0.6	1.2	
	IVB	4 B 231		剥片	An	An-10	IVb	706.48	2.0	2.8	1.0	4.1	
	IVB	4 B 232		剥片	An	An-11	IVa	706.56	1.3	1.7	0.2	0.4	
	IVB	4 B 233		剥片	Ch	Ch-1	IVa	706.5	3.7	2.3	1.7	9.9	

表12　上ノ原遺跡の出土石器全リスト(3)

図番号	グリッド	遺物番号	枝番	遺物名	石材	母岩	地層	標高	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	接合
	IVB	4 B 234		剥片	Ch	Ch-18	IIb	706.79	3.2	3.6	1.5	11.9	
	IVB	4 B 235		剥片	Ob	Ob-3	IVa	706.55	1.0	1.0	0.7	0.6	
	IVB	4 B 236		剥片	Ch	Ch-1	V	706.37	1.9	2.9	1.4	6.7	
	IVB	4 B 237		剥片	Ch	Ch-8	IVb	706.53	1.9	1.9	0.9	2.5	
53	IVB	4 B 238		剥片	Ch	Ch-16	IVb	706.55	2.8	2.7	1.1	7.3	
	IVB	4 B 239		砕片	Ch	Ch-2	VIb	706.23	1.4	0.7	0.5	0.3	
	IVB	4 B 240		剥片	Ch	Ch-9	IIIa	706.81	1.5	2.0	0.6	2.0	
66	IVB	4 B 241		石核	Ch	Ch-1	VIb	706.26	2.3	3.8	2.2	17.9	
	IVB	4 B 242		剥片	Ch	Ch-17	IVb	706.56	2.5	2.2	0.8	3.1	
	IVB	4 B 243		剥片	Ch	Ch-2	IVc	706.5	1.4	1.3	0.3	0.5	
	IVB	4 B 244		剥片	An	An-12	IVc	706.46	2.7	2.0	0.7	3.4	
	IVB	4 B 245		剥片	Ch	Ch-7	IVc	706.48	3.7	3.5	0.9	7.6	
	IVB	4 B 246		剥片	An	An-14	IVa	706.71	3.6	4.5	1.7	15.1	
	IVB	4 B 247		剥片	Ch	Ch-11	Va	706.46	1.0	2.2	0.7	1.5	
	IVB	4 B 248		剥片	Ch	Ch-20	V	706.43	1.9	2.0	0.9	2.7	
43	IVB	4 B 249		剥片	Tu	Tu-10	V	706.39	5.3	6.3	1.7	49.6	
	IVB	4 B 250		剥片	An	An-11	VIa	706.28	3.5	6.3	2.5	30.1	
	IVB	4 B 251		剥片	An	An-10	IVb	706.48	4.5	2.7	1.1	11.0	
	IVB	4 B 252		剥片	An	An-12	VIa	706.31	2.5	2.8	0.8	5.0	
	IVB	4 B 253		剥片	Ch	Ch-9	IVb	706.44	1.9	1.3	0.5	1.4	
	IVB	4 B 254		剥片	Ch	Ch-1	V	706.34	3.7	2.8	2.0	15.9	
	IVB	4 B 255		剥片	An	An-12	IVb	706.45	2.8	4.2	2.7	15.3	
	IVB	4 B 256		剥片	Tu	Tu-13	IVa	706.53	1.8	2.0	0.9	1.9	
	IVB	4 B 257		剥片	Ch	Ch-17	IVa	706.57	1.3	2.0	0.9	1.8	
	IVB	4 B 258		剥片	An	An-6	VIa	706.26	2.1	2.6	0.6	1.7	
7	IVB	4 B 259		掻器	Ch	Ch-20	VIa	706.3	1.8	2.0	0.5	1.3	
	IVB	4 B 260		剥片	An	An-12	VIa	706.35	1.6	1.0	0.4	0.5	
	IVB	4 B 261		剥片	Ch	Ch-18	VIa	706.37	2.8	2.2	0.9	4.4	
	IVB	4 B 262		剥片	An	An-8	IVb	706.59	1.6	1.9	1.0	2.5	
	IVB	4 B 263		剥片	An	An-12	IVb	706.6	2.2	1.2	0.3	0.7	
21	IVB	4 B 265		剥片	Tu	Tu-5	VIa	706.41	4.7	3.2	1.5	17.4	
	IVB	4 B 266		剥片	Ch	Ch-7	IVa	706.61	3.5	2.8	1.1	12.1	
	IVB	4 B 268		剥片	Ch	Ch-11	Vb	706.35	1.6	2.4	0.9	2.4	
	IVB	4 B 269		剥片	Ob	Ob-3	IVb	706.55	1.7	2.2	0.9	1.6	
	IVB	4 B 270		砕片	Ch	Ch-9	VIa	706.35	1.2	1.1	0.3	0.3	
63	IVB	4 B 271		石核	Ch	Ch-3	V	706.47	2.8	2.5	1.8	13.2	
	IVB	4 B 272		剥片	Tu	Tu-14	IVc	706.58	1.9	2.7	0.8	3.9	
	IVB	4 B 273		剥片	An	An-7	IVb	706.62	1.8	1.9	0.6	1.2	
	IVB	4 B 274		剥片	Ch	Ch-11	IVb	706.66	1.8	1.4	0.4	0.7	
36	IVB	4 B 275		剥片	An	An-8	IVb	706.63	4.8	4.6	1.2	24.2	
	IVB	4 B 276		剥片	Ch	Ch-9	VIa	706.42	1.2	1.5	0.8	1.4	
	IVB	4 B 277		石片	And		VIa	706.51	2.2	2.9	1.7	9.1	
	IVB	4 B 278		剥片	An	An-11	V	706.64	1.9	0.8	0.5	0.6	
47	IVB	4 B 280		剥片	Ob	Ob-4	IIIb	707.2	2.2	3.2	0.8	7.2	
	IVB	4 B 281		剥片	Ch	Ch-17	IIb	706.47	2.9	2.4	0.9	5.3	
	IVB	4 B 282		剥片	Ch	Ch-16	IIb	706.46	1.8	1.0	0.7	1.0	
	IVB	4 B 283		砕片	Ch	Ch-8	IIb	706.46	0.8	1.1	0.4	0.2	
	IVB	4 B 284		剥片	Ch	Ch-15	IVc	706.26	0.8	1.9	0.5	0.7	
	IVB	4 B 285		剥片	Ch	Ch-15	VIa	706.15	1.2	2.4	1.4	2.7	
	IVB	4 B 286		剥片	Ch	Ch-11	IVc	706.24	1.2	1.1	0.3	0.3	
	IVB	4 B 287		剥片	Ch	Ch-8	VIb	706.13	2.2	2.0	1.1	4.8	4B68
	IVB	4 B 289		剥片	Ch	Ch-7	VIb	706.15	2.8	2.6	0.7	2.9	
	IVB	4 B 290		剥片	Ch	Ch-15	VIb	706.15	2.9	1.9	1.5	5.2	
	IVB	4 B 291		剥片	Tu	Tu-2	VIb	706.15	2.9	3.9	1.2	9.6	4A19
49	IVB	4 B 292		剥片	Ob	Ob-4	IIIb	707.4	2.4	3.8	1.0	7.0	
	IVB	4 B 294		剥片	Tu	Tu-3	IIIb	707.79	3.7	4.0	1.1	14.9	

図番号	グリッド	遺物番号	枝番	遺物名	石材	母岩	地層	標高	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	接合
	IVB	4 B 296		剥片	Ch	Ch-9	VIb	706.21	1.2	1.5	0.9	1.1	
	IVB	4 B 297		剥片	Ch	Ch-9	VIb	706.2	1.4	0.8	0.4	0.5	
	IVB	4 B 298		剥片	An	An-10	VIb	706.14	3.0	1.3	0.4	1.3	
	IVG	4 G 2		剥片	Tu	Tu-9	IIIa	707.94	4.0	4.3	1.7	25.0	
37	IVG	4 G 3		剥片	An	An-9	IIIa	708.08	6.4	7.3	2.3	81.5	
35	IVG	4 G 4		剥片	An	An-9	IIIa	708.07	5.2	5.4	1.3	31.6	
1	IVG	4 G 5		細石刃核	Ob	Ob-1	II	708.11	2.7	1.7	1.4	5.8	
69	IVG	4 G 7		剥片	An	An-9	IV	708.07	3.6	6.5	2.7	46.7	4G8.4G9
69	IVG	4 G 8		石核	An	An-9	IV	708.1	6.8	7.7	4.9	217.0	4G7.4G9
69	IVG	4 G 9		石核	An	An-9	IV	708.17	7.4	5.0	3.7	98.8	4G7.4G8
	IVG	4 G 11		剥片	An	An-6	IIIa	708.41	2.9	5.2	1.3	14.2	
4	IVH	4 H 1		掻器	An	An-13	IVa	708.72	4.3	5.3	1.6	41.3	
	IVH	4 H 2		剥片	An	An-14	IVa	708.57	2.8	3.2	0.8	4.2	
	IVH	4 H 3		剥片	An	An-3	IIIa	708.78	1.3	2.5	0.6	1.1	
	IVH	4 H 4		剥片	An	An-14	IIIa	708.75	1.5	0.7	0.3	0.2	
	IVH	4 H 5		剥片	An	An-7	IVa	708.67	1.2	2.7	0.4	1.1	
	IVH	4 H 6		剥片	Ob	Ob-6	IVa	708.7	1.4	1.6	0.4	0.6	
9	IVH	4 H 7		削器	An	An-7	IVb	708.57	3.0	2.2	0.8	5.6	
	IVH	4 H 8		剥片	An	An-9	IVb	708.56	1.7	1.4	0.2	0.3	
	IVH	4 H 9		石核	Tu	Tu-14	IVa	708.66	2.6	5.0	2.6	37.1	
	IVH	4 H 11		剥片	Tu	Tu-14	V	708.43	1.9	1.7	0.7	1.6	
	IVH	4 H 12		石核	An	An-10	IVa	708.71	4.2	3.7	1.5	18.2	
	IVH	4 H 13		剥片	An	An-7	II	708.8	3.5	2.5	0.4	2.7	
	IVH	4 H 14		剥片	Tu	Tu-14	IIIa	708.79	2.7	5.1	0.6	5.2	
	IVH	4 H 15		剥片	Ob	Ob-1	IVa	708.73	3.5	1.8	1.0	4.4	
	IVH	4 H 16		剥片	Rh	Rh-4	IVb	708.71	3.7	1.9	0.7	2.6	
	IVH	4 H 17		剥片	Rh	Rh-4	IVa	708.72	2.6	2.0	0.7	2.1	
	IVH	4 H 18		剥片	Ch	Ch-5	II	708.96	2.7	3.2	1.1	5.0	
45	IVH	4 H 19		剥片	Rh	Rh-4	V	708.56	3.3	4.6	1.2	13.4	
	IVH	4 H 20		剥片	Ch	Ch-12	II	708.97	2.1	2.1	1.1	5.3	
	IVH	4 H 21		剥片	Tu	Tu-4	II	708.92	1.7	2.1	0.4	0.9	
	IVH	4 H 22		剥片	An	An-8	IVa	708.82	1.5	1.9	0.6	1.4	
	IVH	4 H 25		剥片	An	An-5	II	708.97	3.3	3.9	1.3	10.7	
44	IVH	4 H 26		剥片	Rh	Rh-4	IVb	708.7	3.6	6.0	1.1	16.2	
	IVH	4 H 27		剥片	An	An-8	IVb	708.71	4.2	4.0	1.0	10.8	
	IVH	4 H 35		剥片	Tu	Tu-5	II	709.05	5.3	3.2	1.8	32.7	
39	IVH	4 H 37		剥片	An	An-11	IVb	708.81	5.5	9.4	1.6	55.4	
	IVH	4 H 38		剥片	Ch	Ch-10	IIIa	709.05	1.2	1.2	0.5	0.5	
15	IVH	4 H 42		二次加工のある剥片	Ob	Ob-5	IVa	708.94	5.3	4.4	1.2	19.4	
	IVH	4 H 43		剥片	Tu	Tu-3	IIIa	708.95	2.5	3.0	1.2	4.4	
	IVH	4 H 47		剥片	An	An-5	IIb	709.09	1.8	1.8	0.3	0.7	
	IVH	4 H 48		剥片	Ch	Ch-15	IVb	708.92	2.0	2.2	1.3	6.6	
	IVH	4 H 49		剥片	Rh	Rh-4	IVb	708.74	2.6	4.2	1.0	4.7	
6	IVH	4 H 52		掻器	Ag	Ag-2	IIIb	709.12	1.5	2.2	0.6	2.1	
	IVH	4 H 55		剥片	Tu	Tu-4	IVa	708.95	4.5	2.5	0.6	4.3	
	IVH	4 H 56		剥片	Ob	Ob-5	IIIb	709.01	1.4	2.4	0.5	0.9	
	IVH	4 H 58	2	剥片	Ob	Ob-4	IVa	708.98	5.5	2.5	1.5	13.0	
	IVM	4 M 1		剥片(遺物不明)			V	708.66					
32	IVM	4 M 2		剥片	An	An-2	VIa	708.6	6.4	5.1	1.4	32.7	
13	IVM	4 M 3		二次加工のある剥片	An	An-11	V	708.71	7.7	2.8	1.5	24.2	
	IVM	4 M 4		剥片	An	An-9	IIIa	708.93	2.8	3.0	1.4	9.0	
38	IVM	4 M 5		剥片	An	An-13	IIIa	708.95	5.9	8.8	3.0	150.5	
	IVM	4 M 6		剥片	Tu	Tu-5	IIIb	708.86	1.8	3.4	1.0	3.6	
	IVM	4 M 7		剥片	An	An-14	IIIb	708.77	5.7	3.5	1.2	13.2	
	IVN	4 N 3		剥片	Ob	Ob-4	VIa	708.43	2.7	3.6	1.7	13.8	
72	IVN	4 N 5		斧形石器	Se	Se-2	V	708.5	8.3	3.3	1.3	37.7	

表13　上ノ原遺跡の出土礫の属性表

グリッド	遺物番号			地層	標高	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	割れあり○なし×	割れの割合 %	焼けあり○なし×	焼け(3段階)	自然面の焼け	自然面の焼け%	割れ面の焼け	割れ面の焼け%	平面形(長短)	平面形(角丸)
IS	1	S	1	IIb	703.540	8.5	2.7	2.0	32	○	50	○	3	○	80	○	20	長	角
IY	1	Y	1	V	705.298	16.0	18.0	9.5	2800	○	70	○	3	○	60	○	60	短	角
IY	1	Y	2	V	705.331	9.5	14.5	6.5	1000	○	40	○	3	○	50	○	10	長	角
IY	1	Y	5	V	705.484	5.2	3.6	1.2	20	○	70	○	1	○	90	○	90	長	角
IY	1	Y	6	V	705.498	6.7	4.7	1.2	30	○	70	○	1	○	90	○	50	長	角
IY	1	Y	11	IIb	705.884	10.8	12.1	4.0	610	○	40	○	1	○	30	×		短	角
IIU	2	U	18	IIIb	705.324	2.7	2.3	0.7	2	○	60	○	1	○	60	○	20	短	角
IIU	2	U	40	IVc	704.867	3.4	2.4	1.3	10	○	40	×						短	角
IIU	2	U	55	V	704.903	2.8	2.8	1.7	10	○	60	○	2	○	50	○	80	短	角
IIU	2	U	68	IVc	704.685	1.4	1.1	0.5	1	○	50	○	1	○	40	○	20	短	角
IIU	2	U	87	Vb	704.524	2.0	1.5	0.8	3	○	60	○	1	○	40	○	40	短	角
IIU	2	U	89	Va	704.657	4.0	2.5	1.1	10	○	60	×						短	角
IIU	2	U	91	VIIa	704.365	1.4	1.3	0.5	1	○	50	×						短	角
IIU	2	U	93	VIa	704.473	2.2	1.5	0.6	3	○	80	○	2	○	60	○	50	短	角
IIU	2	U	99	V	704.789	37.0	15.6	3.6	2600	○	20	○	2	○	100	○	100	長	角
IIU	2	U	107	VIa	704.817	8.0	6.0	4.5	195	○	70	○	3	○	80	○	30	短	角
IIU	2	U	112	VIa	704.798	16.5	15.5	11.0	3600	○	40	○	3	○	80	○	70	短	角
IIU	2	U	126	VIa	705.406	2.7	2.0	0.9	2	○	60	○	1	○	80	○	70	短	角
IVA	4	A	5	IVa	905.900	3.6	2.6	2.0	20	×		○	1	○	10	×		短	角
IVA	4	A	10	V	705.886	3.4	2.7	1.4	17	○	10	○	2	○	90	○	90	短	丸
IVA	4	A	11	V	705.914	4.8	4.5	2.7	53	○	60	○	2	○	20	○	10	短	角
IVA	4	A	16	IVc	706.032	5.4	3.5	2.1	26	×		○	3	○	90	×		長	丸
IVA	4	A	20	IVc	706.044	5.5	4.3	3.1	70	○	40	○	2	○	80	○	80	短	角
IVA	4	A	21	V	706.002	2.8	2.2	1.6	8	○	30	×						短	角
IVA	4	A	22	V	706.004	6.0	4.4	3.1	87	×		○	1	○	10	×		長	角
IVA	4	A	23	V	706.017	6.2	4.5	3.6	65	○	60	○	1	○	80	○	10	短	角
IVA	4	A	24	IVb	706.164	4.9	3.7	2.7	50	○	60	○	3	○	80	○	60	短	角
IVA	4	A	26	IVc	706.093	5.2	3.3	2.5	40	○	30	○	3	○	90	○	10	長	角
IVA	4	A	29	IVa	706.146	6.0	4.8	1.9	68	○	40	○	1	○	60	○	10	短	角
IVA	4	A	43	VIb	705.671	3.7	1.6	1.4	7	○	30	×						長	角
IVA	4	A	50	II	706.624	8.9	4.3	1.6	37	○	50	○	3	○	50	×		長	角

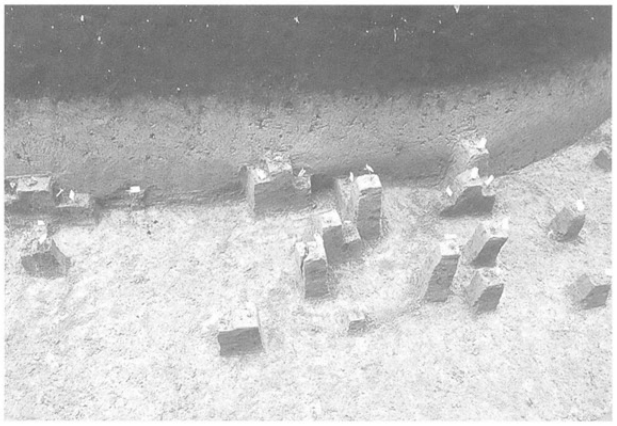
グリッド	遺物番号			地層	標高	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	割れあり○なし×	割れの割合 %	焼けあり○なし×	焼け(3段階)	自然面の焼け	自然面の焼け%	割れ面の焼け	割れ面の焼け%	平面形(長短)	平面形(角丸)
IVA	4	A	52	IVb	705.997	6.5	5.5	3.7	122	○	30	○	3	○	60	○	40	短	角
IVA	4	A	56	IVb	706.003	3.5	2.3	1.6	10	○	40	○	1	○	20	○	10	短	丸
IVB	4	B	8	V	706.175	2.4	1.9	0.7	2	○	80	×						短	角
IVB	4	B	120	IIIb	706.757	10.5	12.5	7.5	1400	○	20	○	2	○	70	○	70	短	角
IVB	4	B	122	IIb	706.846	4.7	3.2	1.4	12	○	80	○	1	○	80	○	50	長	角
IVB	4	B	124	IVb	706.636	5.0	3.1	2.8	47	○	50	×						長	角
IVB	4	B	129	IIIa	706.832	2.9	2.8	0.9	8	○	60	×						短	角
IVB	4	B	130	IIIa	706.822	18.0	29.0	12.0	8600	×		○	3	○	90	×		長	丸
IVB	4	B	134	IVa	706.739	3.8	1.9	1.7	10	○	40	○	1	○	30	○	30	長	角
IVB	4	B	135	IIb	706.898	7.5	7.5	4.7	290	×		○	2	○	70	×		短	角
IVB	4	B	159	IIIb	不明	10	15	7	1600	○	10	×						長	角
IVB	4	B	167	V	706.142	2.4	1.5	1.0	2	○	70	×						短	角
IVB	4	B	172	VIa	706.116	2.0	1.6	0.9	2	○	40	○	2	○	30	○	20	短	丸
IVB	4	B	194	IVa	706.428	3.0	2.4	1.7	11	×		○	1	○	20	×		短	丸
IVB	4	B	227	V	706.267	6.0	4.2	3.2	80	○	30	○	2	○	70	○	90	長	角
IVB	4	B	228	IVc	706.376	7.6	5.2	3.6	123	○	70	○	3	○	60	○	70	長	角
IVB	4	B	229	IVa	706.459	4.0	3.3	2.6	36	○	40	○	1	○	70	○	50	短	角
IVB	4	B	264	IIIa	706.836	3.0	2.4	1.3	8	○	70	○	2	○	20	×		短	角
IVB	4	B	267	V	706.419	10.0	14.0	5.0	800	○	60	○	1	○	10	×		長	丸
IVB	4	B	288	VIb	706.118	3.3	2.2	1.0	9	○	50	×						短	角
IVB	4	B	295	IIIa	707.901	20.0	29.0	15.0	5200	○	50	○	2	○	20	○	70	長	角
IVG	4	G	6	IIIb	708.124	4.7	2.2	1.7	23	○	20	○	1	○	20	×		長	角
IVG	4	G	10	IV	708.185	4.7	3.4	2.4	38	×		○	1	○	70	×		長	丸
IVH	4	H	34	IVa	708.791	3.4	2.0	0.7	2	○	40	×						短	角
IVH	4	H	36	VIa	708.666	4.5	4.2	1.0	30	×		○	3	○	60	×		短	丸
IVH	4	H	39	IIb	709.048	9.6	10.5	8.0	1200	×		○	1	○	20	×		短	丸
IVH	4	H	40	IVb	708.872	4.3	1.9	1.8	14	○	40	○	1	○	30	○	20	長	丸
IVH	4	H	46	II	708.875	7.6	3.8	4.0	78	○	90	○	2	○	80	×		長	角
IVH	4	H	50	IIb	709.079	8.0	5.2	3.2	130	○	40	○	1	○	80	○	50	長	丸
IVH	4	H	57	IVa	709.027	4.4	4.2	1.9	28	○	40	○	2	○	90	×		短	角
IVN	4	N	4	V	708.466	15.0	18.0	5.0	2800	○	40	○	2	○	80	○	80	長	角

写真図版 1

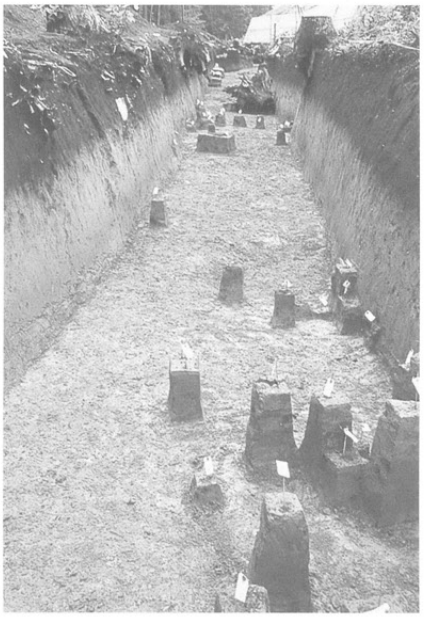
1．上ノ原遺跡　調査の様子（ⅣMグリッド周辺）

2．上ノ原遺跡　調査の様子（ⅣBグリッド周辺）

3．上ノ原遺跡　遺物の出土状況（ⅣBグリッド周辺・北西から）



4．上ノ原遺跡　遺物の出土状況（ⅣBグリッド周辺・東南から）

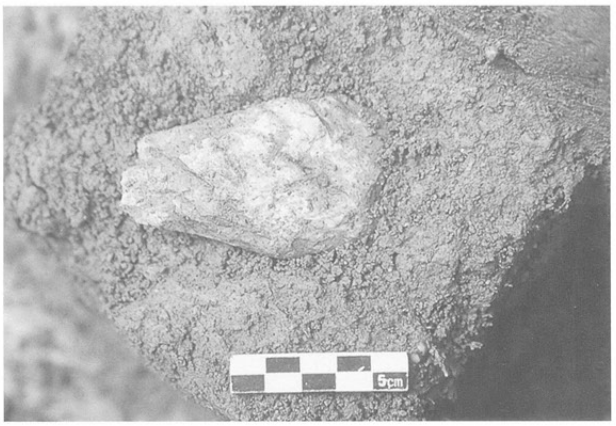


5．上ノ原遺跡　遺物の出土状況（ⅡUグリッド周辺・北東から）

6．上ノ原遺跡　遺物の出土状況（石皿状礫・図番号73周辺）

7．上ノ原遺跡　石皿状礫（図番号73）の出土状況

1．上ノ原遺跡　局部磨製石斧（図番号71）の出土状況（遠景）



2．上ノ原遺跡　局部磨製石斧（図番号71）の出土状況（近景）

3．上ノ原遺跡　二次加工のある剥片（図番号14）の出土状況

4．東裏遺跡　トレンチA－1の調査の様子

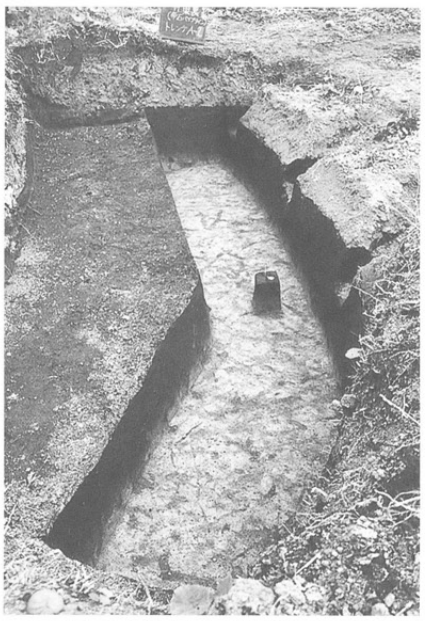
5．東裏遺跡　トレンチA－5の調査の様子（西から）

6．東裏遺跡　トレンチA－5の調査の様子（東から）

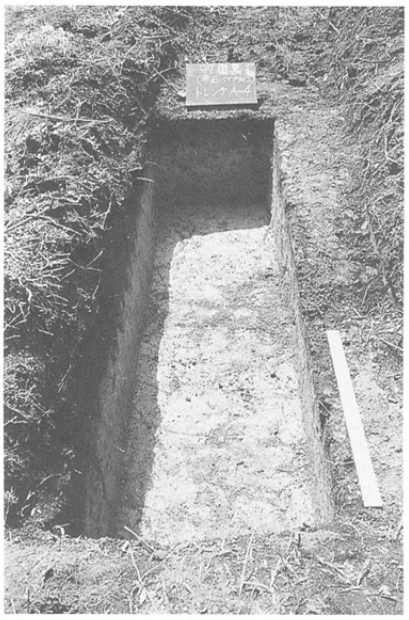
7．東裏遺跡　トレンチA－5の調査の様子（東から）

写真図版 3

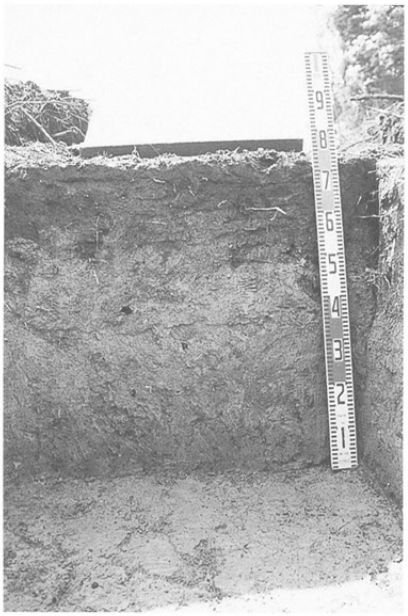
1．東裏遺跡　トレンチA－1の遺物の出土状況



2．東裏遺跡　トレンチA－2の遺物の出土状況



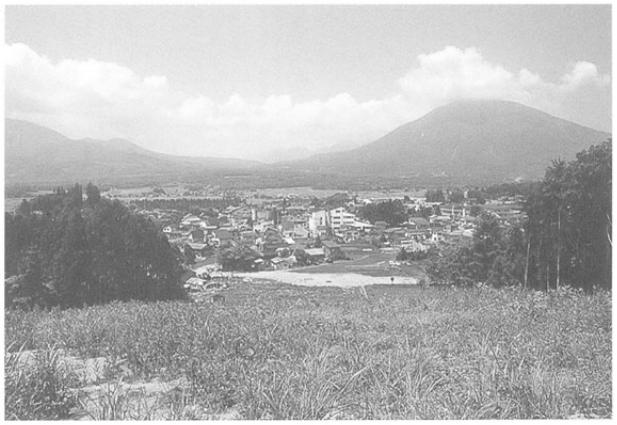
3．東裏遺跡　トレンチA－4の完掘状況



4．東裏遺跡　土層

5．東裏遺跡　トレンチA－5の遺物の出土状況（遠景）

6．東裏遺跡　トレンチA－5の遺物の出土状況（近景）



１．裏ノ山遺跡　調査地より黒姫山を望む

２．裏ノ山遺跡　トレンチＣ－２の調査の様子

３．裏ノ山遺跡　トレンチＣ－１の完掘状況

４．裏ノ山遺跡　トレンチＣ－３の遺物の出土状況

５．裏ノ山遺跡　トレンチＣ－２の遺物の出土状況（西から）

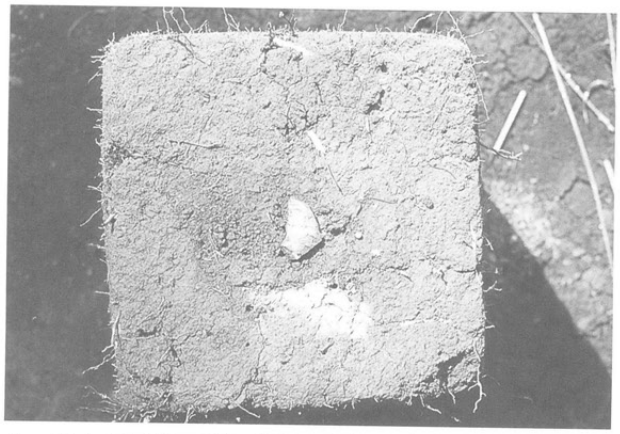
６．裏ノ山遺跡　トレンチＣ－２の遺物の出土状況（東から）

写真図版５

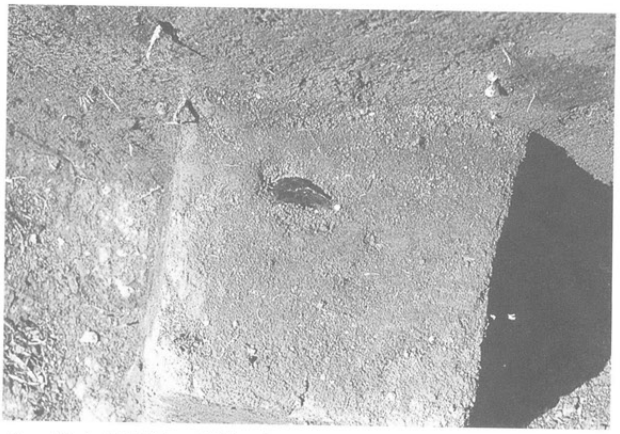
１．裏ノ山遺跡　トレンチＣ－４の完掘状況

２．裏ノ山遺跡　トレンチＣ－５の完掘状況

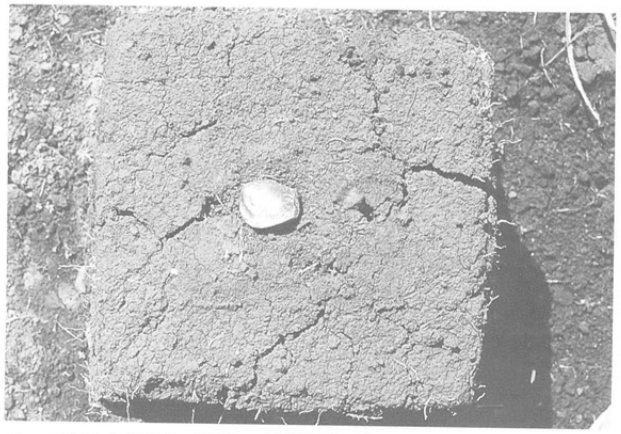
３．裏ノ山遺跡　トレンチＣ－７の遺物の出土状況



４．裏ノ山遺跡　剥片（Ｃ２－１）の出土状況



５．裏ノ山遺跡　剥片（Ｃ２-16）の出土状況

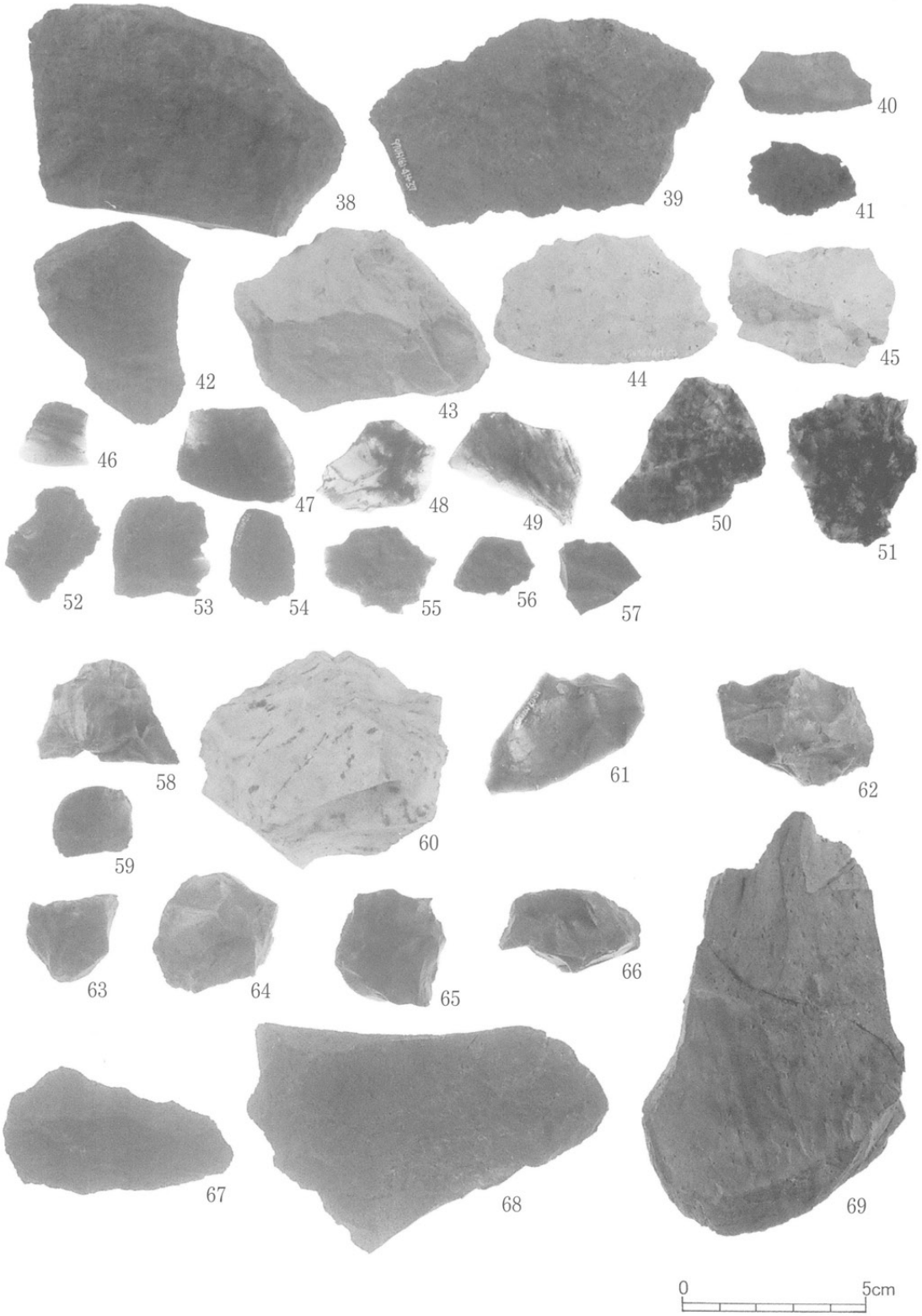


６．裏ノ山遺跡　剥片（図番号３）の出土状況

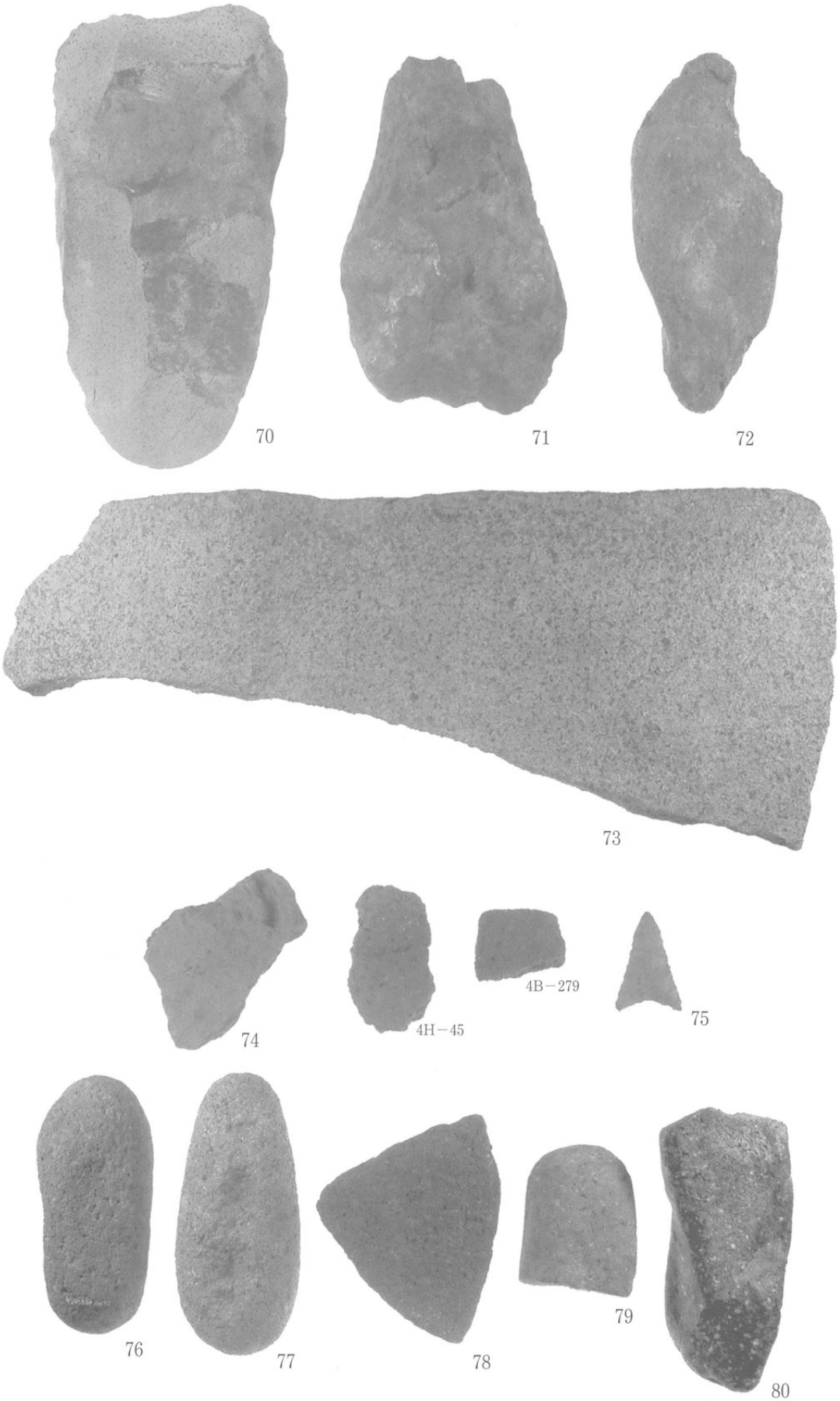
７．裏ノ山遺跡　剥片（Ｃ２－４）の出土状況

上ノ原遺跡の主な出土遺物(1)

写真図版 7



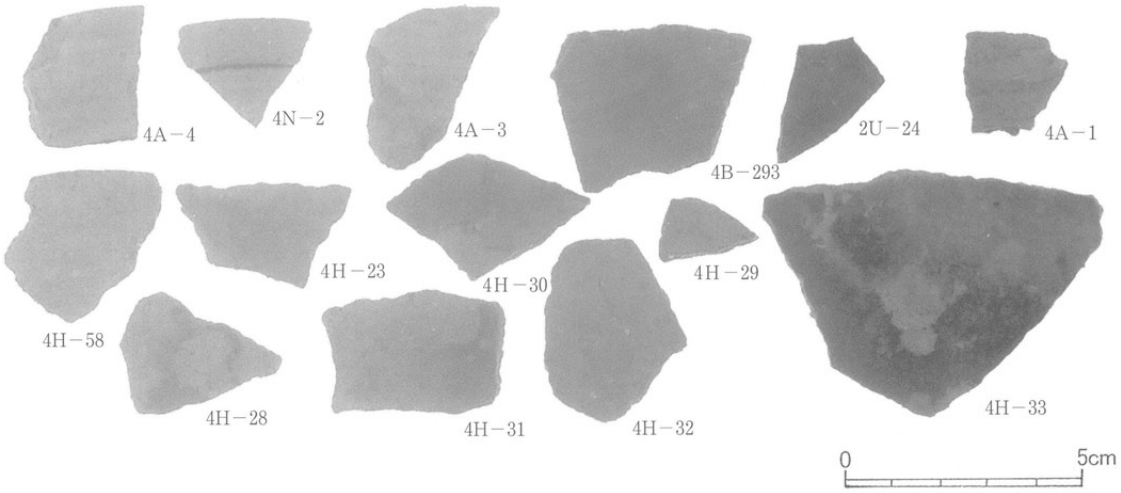
上ノ原遺跡の主な出土遺物(2)



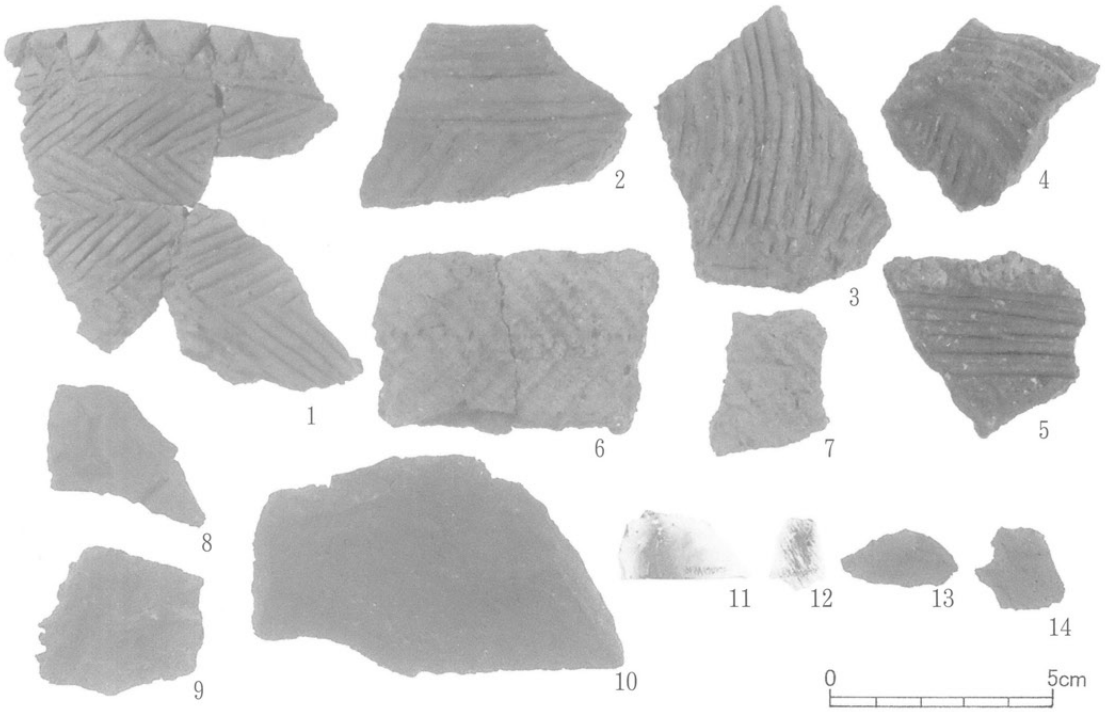
70〜72：0 5cm　73・76〜80：0 5cm　74・75 土器 2 点：0 5cm

上ノ原遺跡の主な出土遺物(3)

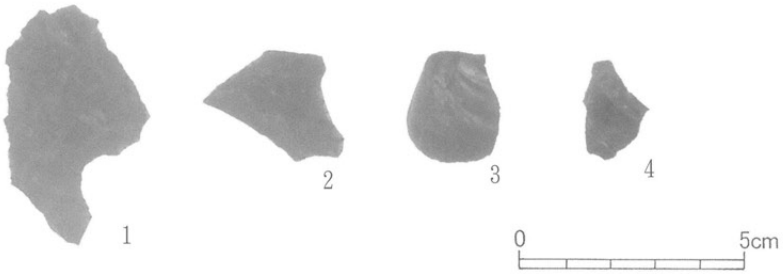
写真図版 9



上ノ原遺跡出土の須恵器・土師器（番号は遺物の注記番号）



東裏遺跡の主な出土遺物



裏ノ山遺跡の主な出土遺物

報 告 書 抄 録

書　　名	上ノ原遺跡・東裏遺跡・裏ノ山遺跡
ふ り が な	うえのはらいせき・ひがしうらいせき・うらのやまいせき
副　書　名	帝国石油天然ガスパイプライン敷設事業に伴う発掘調査報告書
シ リ ー ズ 名	信濃町の埋蔵文化財
シリーズ番号	
編 著 者 名	渡辺哲也
編 集 機 関	信濃町教育委員会
所　在　地	〒389-1305　長野県上水内郡信濃町柏原428-2　TEL：026-255-5923
発 行 年 月 日	2007年（平成19年）3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所　在　地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
上ノ原（うえのはら）	長野県上水内郡信濃町（ながのけんかみみのちぐんしなのまち） 大字柏原字岡実1,177-10ほか（おおあざかしわばらあざおかみ）	205834	65	36度49分3秒	138度11分55秒	19970621～19970902	720	天然ガスパイプライン敷設
東裏（ひがしうら）	長野県上水内郡信濃町（ながのけんかみみのちぐんしなのまち） 大字柏原字裏ノ山409-1ほか（おおあざかしわばらあざうらのやま）	205834	70	36度48分30秒	138度12分32秒	19970519～19970605	44	天然ガスパイプライン敷設
裏ノ山（うらのやま）	長野県上水内郡信濃町（ながのけんかみみのちぐんしなのまち） 大字柏原字裏ノ山525-1ほか（おおあざかしわばらあざうらのやま）	205834	71	36度48分23秒	138度12分44秒	19970506～19970627	115	天然ガスパイプライン敷設

所収遺跡名	種別	主な時代	遺構	主な遺物	特　記　事　項
上ノ原	散布地			出土総点数595点	
		旧石器時代	なし	ナイフ形石器・掻器・彫器・局部磨製石斧など	局部磨製石斧を含む後期旧石器時代前半期の石器群を検出した。
		縄文時代早期	なし	縄文土器・石鏃など	
		平安時代	なし	須恵器・土師器など	
東　裏	散布地	縄文時代前期末	なし	縄文土器など　29点	
裏ノ山	散布地	旧石器時代	なし	石器剥片など　21点	

上ノ原遺跡・東裏遺跡・裏ノ山遺跡

帝国石油天然ガスパイプライン敷設事業に伴う発掘調査報告書

発　行　平成19年（2007）3月31日

発行者　信濃町教育委員会

〒389-1305

長野県上水内郡信濃町大字柏原428-2

TEL　026-255-5923

印　刷　信毎書籍印刷株式会社

〒381-0037

長野県長野市西和田1-30-3

TEL　026-243-2105

Archaeological Reports of Shinano-machi

Uenohara Site, Higashiura Site, Uranoyama Site

2007

Shinano-machi Board of Education,
Kamiminochi-gun,Nagano, 389-1305 Japan.